

# 消防年報

## 令和2年版



弘前地区消防事務組合

令和3年8月発行



表 紙

### 弘前地区消防事務組合 高度救助隊発隊

これまで弘前地区消防事務組合には、弘前消防署、東消防署、黒石消防署及び平川消防署に4隊の特別救助隊を配置していましたが、令和3年4月1日より弘前消防署の特別救助隊を高度救助隊に格上げしました。

全国的に、災害の複雑多様化、大規模な自然災害及びテロ等武力攻撃の懸念の高まり等により、消防への地域住民の期待は高まりを見せています。より高度で専門的な知識・技術を必要とする災害には、高度救助隊という精鋭部隊に対応させることで、地域住民の安心安全を守るという負託に応えたいと思っています。

高度救助隊の創設に向けては、救助技術に関する一定水準以上の能力及び知識を保有する職員を認定することにより、組織全体の救助技術の向上及び知識の拡充を図るため、救助技術認定制度を導入しました。難関な試験を突破した15名（令和3年4月1日現在）の精鋭部隊により、いつでも、どこでも、どんな災害にも対応可能な消防体制の構築に、不断の努力をし「災害に強い、安全で安心なまちづくり」を実現します。

## はじめに

平成25年7月1日に弘前地区消防事務組合、黒石地区消防事務組合、平川市消防本部及び板柳町消防本部が統合し、3市3町2村(弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村)を管轄する新たな弘前地区消防事務組合としてスタートしました。

この年報は、弘前地区消防事務組合の消防事情を広く紹介するとともに、今後の消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに令和2年中の消防業務等の実態を編集したものです。

当組合の消防行政について、地域住民の認識と理解を深めていただく一助となれば幸いです。

令和3年8月

弘前地区消防事務組合消防本部

# 目 次

1 総務	
弘前地区消防事務組合の沿革（統合後）	1
弘前地区消防事務組合管内図 及び消防本部等配置図	組合関係市町村の 面積・人口・世帯数 2
弘前地区消防事務組合組織図	3
消防本部及び消防署の事務分掌	4
消防庁舎一覧表	1 1
消防職員階級別配置状況	1 2
消防職員階級別年齢調	1 3
消防職員階級別勤続年数調	1 4
職員の免許資格取得状況	1 5
職員研修等実施状況	1 6
当初予算歳入歳出比較表	1 7
関係市町村負担金状況／消防予算等の推移（5ヶ年間）	1 8
2 予防	
市町村別防火対象物の状況	1 9
防火対象物の階数別状況	2 0
予防査察の実施状況	2 1
違反処理状況	2 2
防火管理者資格取得状況／防火管理者選任及び消防計画届出状況	2 3
訓練指導・講話・広報等状況／東消防署防災教育室利用状況	2 4
届出受付状況	2 5
令和2年度避難行動要支援者防火防災診断実施状況	2 6
市町村別危険物施設の状況	2 7
危険物施設の状況／規模別危険物施設の状況	2 8
危険物施設の推移（5ヶ年間）／危険物関係各種届出・申請件数	2 9
危険物製造所等の処理状況	3 0
3 警防	
消防車両等の保有状況	3 1
車両配置状況	3 2
主要資機材配置状況	3 4
林野火災対策機材保有状況	3 5
消防水利状況（市町村別）	3 6
消防水利状況（所属別）	3 7
4 通信指令	
指令センターの機能について	3 8
通信設備状況	4 0

1 1 9番通報状況（月別）	4 1
1 1 9番通報状況（時間帯別）	4 2
1 1 9番通報件数の推移（5ヶ年間）／医療機関紹介状況（科目別・月別）／ 医療機関紹介状況（5ヶ年間）	4 3
5 火災	
令和2年における火災概要	4 4
火災の概況／火災の種別	4 5
住宅用火災警報器の普及	4 6
市町村別火災件数等の推移（5ヶ年間）	4 7
管内火災件数等の推移（5ヶ年間）	4 9
出火原因の状況	5 0
月別発生状況	5 1
市町村別、月別の火災件数／市町村別、曜日別の火災件数	5 2
市町村別、時間帯別の火災件数	5 3
覚知別火災件数	5 4
火災種別ごとの初期消火状況／初期消火の状況	5 5
6 救急	
救急業務の概況／署別救急出動件数の比較（対前年比）	5 6
救急出動件数の推移（5ヶ年間）／市町村別救急出動件数の比較（対前年比）	5 7
市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員	5 8
署別、事故種別救急業務実施状況	5 9
事故種別救急出動件数／月別救急出動件数及び搬送人員	6 0
事故種別、覚知方法別出動件数／現場到着所要時間別出動件数／ 収容所要時間別、事故種別搬送人員	6 1
事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員	6 2
傷病程度別搬送人員／年齢区分別搬送人員／発生場所別搬送人員	6 3
時間帯別救急出動件数／応急手当の普及啓発活動の状況	6 4
津軽圏域救急告示医療機関一覧表	6 5
津軽地域小児救急病院等一覧表	6 6
医療機関別救急搬送状況	6 7
7 救助	
事故種別救助業務実施状況（対前年比）	6 8
8 消防団	
管内市町村消防団長	6 9
管内市町村消防副団長	7 0
管内市町村消防団車両配備状況	7 1
管内市町村階級別消防団員数	7 2
管内市町村在職年数別消防団員数／管内市町村年齢別消防団員数	7 3
管内市町村階級別消防団員年報酬／管内市町村消防団員出動手当	7 4
9 地域防災組織	

幼・少年消防クラブと婦人（女性）防火クラブ	7 5
令和2年度の活動状況（幼年消防クラブ／少年消防クラブ／婦人（女性）防火クラブ）	7 6
幼年消防クラブの状況	7 7
少年消防クラブの状況	7 9
婦人（女性）防火クラブの状況	8 0
弘前地区消防防災協会	8 1
弘前地区消防防災協会役員事業所名簿	8 2
弘前地区消防防災協会事業	8 3
10 議会	8 4
11 付録	
明治以降の主な火災	8 7
明治以降の主な災害（火災を除く）	8 9
歴代消防長等	9 2
旧弘前地区消防事務組合の沿革	1 0 2
旧黒石地区消防事務組合の沿革	1 0 6
旧平川市消防本部の沿革	1 0 7
旧板柳町消防本部の沿革	1 0 8

# 総務





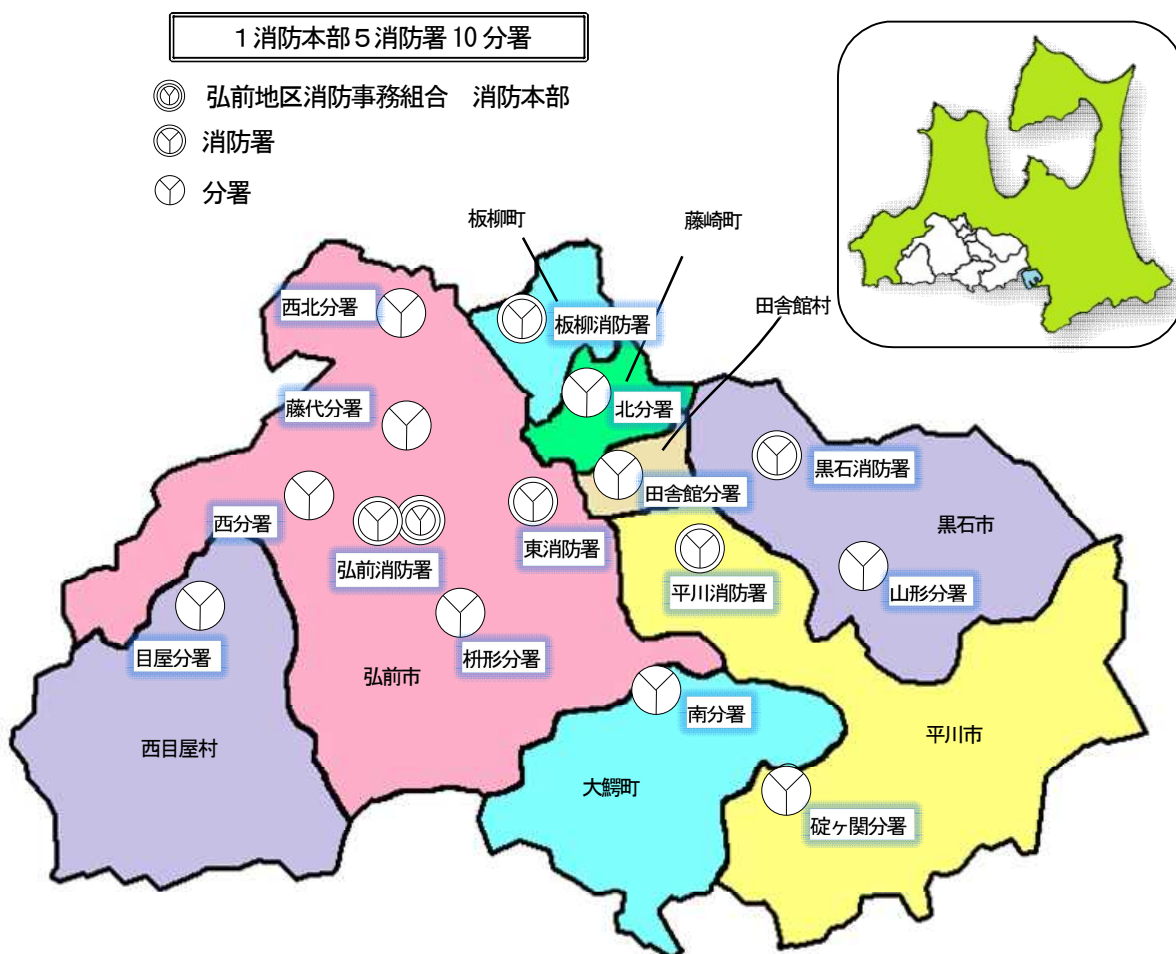


## 弘前地区消防事務組合の沿革（統合後）

年 月	状 況
平成 25 年 7 月	<p>弘前地区消防事務組合に黒石地区消防事務組合、平川市消防本部、板柳町消防本部の 3 消防本部が統合、関係市町村が 3 市 3 町 2 村、職員定数が 476 名となった。</p> <p>消防署組織規程改正により、弘前消防署、東消防署、黒石消防署、平川消防署へ「予防調査係」を、板柳消防署へ「総務警防係」と「予防救急係」を設置した。「東消防署碓ヶ関分署」を「平川消防署碓ヶ関分署」へ、分署の「警防係」を「総務警防係」へ改め、目屋分署、西北分署、碓ヶ関分署へ「予防救急係」を置いた。</p> <p>黒石消防署に指揮隊車を配備</p>
平成 26 年 3 月	弘前地区消防事務組合マスコットキャラクターが「消防犬 火けしくん」に決定
4 月	消防本部組織規則改正により人材育成課を新設し、「人事係」と「研修厚生係」を設け、消防本部 5 課制とした。
5 月	東消防署新消防庁舎での業務開始
12 月	北分署新消防庁舎での業務開始（平成 26 年 12 月 1 日全面供用開始）
	東消防署、平川消防署に指揮隊車を配備
平成 27 年 3 月	東消防署に小型動力ポンプ付水槽車を柘形分署から移動更新配備
4 月	東消防署に防災教育室を開設し、全面供用開始
10 月	高機能消防指令センター運用開始
	消防本部組織規則改正により通信指令課の「通信係」を「通信統制係」、「情報管理係」、「システム管理係」に改めた。
平成 28 年 3 月	黒石消防署に資機材搬送車を東消防署から移動配備
	東消防署に重機及び重機搬送車を配備（国有財産等無償使用）
令和 2 年 7 月	碓ヶ関分署新消防庁舎での業務開始
令和 3 年 2 月	山形分署新消防庁舎での業務開始
3 月	藤代分署新消防庁舎での業務開始
	板柳消防署消防新庁舎での業務開始
4 月	消防本部組織規則改正により、人材育成課の、「人事係」を「人事研修係」へ、「研修厚生係」を「給与厚生係」と改め、警防課の「装備係」を廃止した。
	消防署組織規程改正により、藤代分署及び柘形分署の「予防救急係」を「予防係」「救急係」に改めた。

# 弘前地区消防事務組合管内図及び消防本部等配置図

(令和3年4月1日現在)



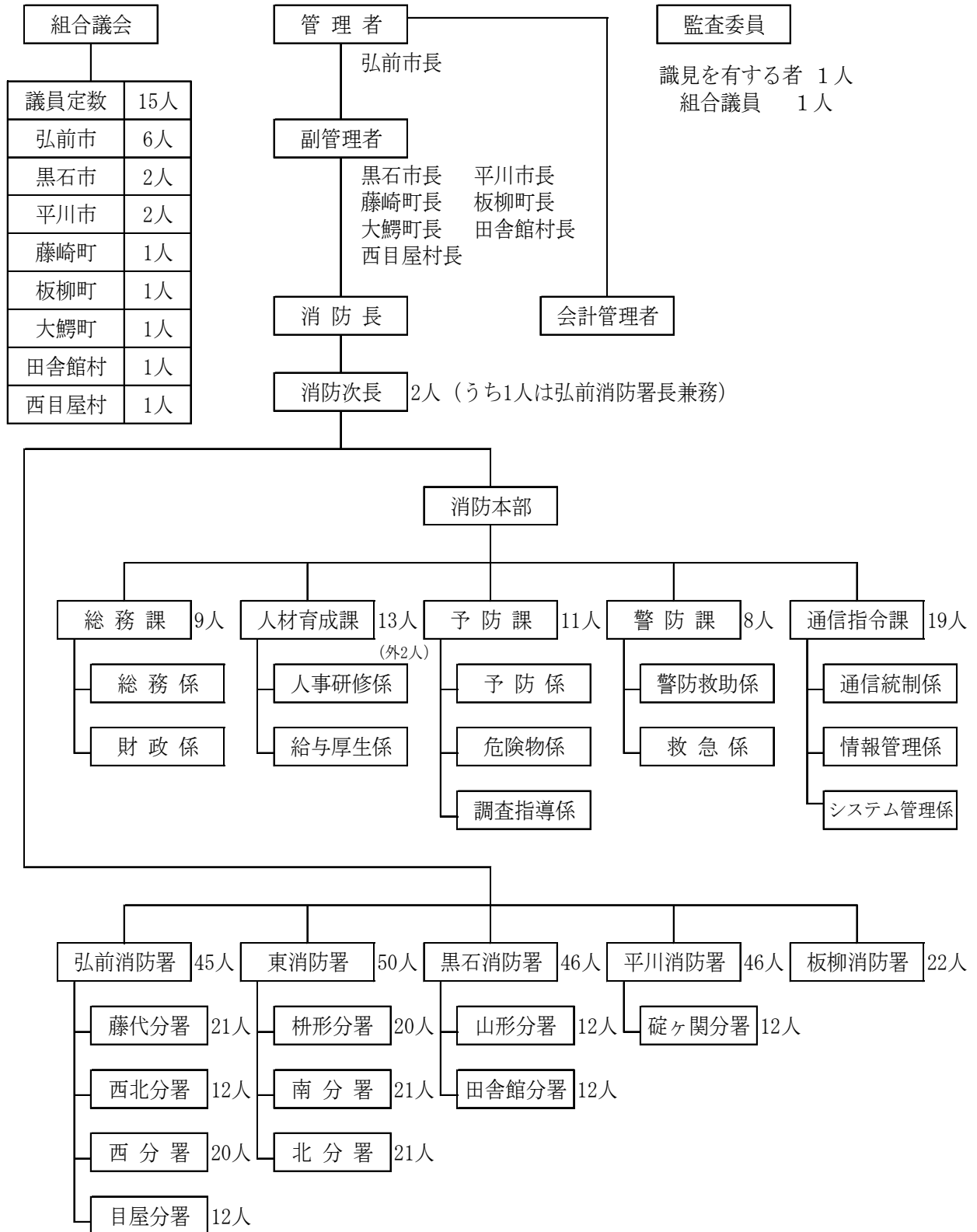
## 組合関係市町村の面積・人口・世帯数

(令和3年4月1日現在 住民基本台帳調)

市町村	区分	面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯数
合 計		1,598.23	275,936	125,284
弘 前 市		524.20	167,061	80,187
黒 石 市		217.05	32,327	13,838
平 川 市		346.01	30,616	12,120
藤 崎 町		37.29	14,761	6,123
板 柳 町		41.88	13,109	5,455
大 鰐 町		163.43	9,106	4,174
田 舎 館 村		22.35	7,639	2,833
西 目 屋 村		246.02	1,317	554

# 弘前地区消防事務組合組織図

(令和3年4月1日現在)



※職員数は、令和3年4月1日現在の配置人員。

# 消防本部及び消防署の事務分掌

## 消防本部の事務分掌

### 総務課 総務係

- 1 消防本部の企画調整、その他重要事項の調査研究に関すること。
- 2 儀式及び行事に関すること。
- 3 物品等の調達に関すること。
- 4 庁舎建設、工事、修繕及び委託契約等に関すること。
- 5 請負契約及び物品の購入に関すること。
- 6 議会に関すること。
- 7 監査に関すること。
- 8 所属長の招集及び会議に関すること。
- 9 消防署の所管に属しない事務に関すること。
- 10 消防長会に関すること。
- 11 行政文書の開示に係る事務に関すること。
- 12 公印の管理に関すること。
- 13 文書の収発、保存及び廃棄に関すること。
- 14 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 15 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 16 消防本部各課に係る事務の連絡調整、消防長の事務補助その他消防本部内の他課の所管に属しない事務に関すること。
- 17 ホームページに関すること。
- 18 広聴及び広報の統括に関すること。
- 19 広聴及び広報に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 20 その他総務に関すること。

### 総務課 財政係

- 1 財産の管理の統括に関すること。
- 2 予算、決算及び経理に関すること。
- 3 決算統計に関すること。
- 4 起債及び一時借入金の申請、借入及び償還に関すること。
- 5 消防施設の建設計画及び維持管理に関すること。
- 6 財政計画に関すること。
- 7 基金の統括管理に関すること。
- 8 公有財産の管理及び調整に関すること。
- 9 月例現金出納検査に関すること。
- 10 その他財政に関すること。

人材育成課 人事研修係

- 1 消防本部の組織、その他重要事項の調査研究に関する事。
- 2 人事に関する事。
- 3 職員の採用試験に関する事。
- 4 表彰、叙勲等に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 5 人事記録に関する事。
- 6 人事評価に関する事。
- 7 職員の昇任試験並びに任免、分限、懲戒に関する事。
- 8 職員の交通事故、違反等及び不祥事に関する事並びに懲戒審査委員会に関する事。
- 9 職員の服務及び規律に関する事。
- 10 職員の研修企画及び研修派遣に関する事。
- 11 広聴及び広報に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 12 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)
- 13 その他人事・職員研修に関する事。

人材育成課 給与厚生係

- 1 消防職員委員会に関する事。
- 2 職員の給与に関する事。
- 3 職員の勤務時間その他勤務条件に関する事。
- 4 職員の保健、衛生、安全、元気回復及び厚生福利に関する事。
- 5 共済組合事務に関する事。
- 6 職員の公務災害補償等に関する事。
- 7 被服等の貸与、給与に関する事。
- 8 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関する事を除く。)
- 9 職員の意見発表に関する事。
- 10 その他給与厚生に関する事。

予防課 予防係

- 1 予防業務の企画調整及び調査研究に関する事。
- 2 建築確認等の同意事務に関する事。
- 3 消防用設備等の着工及び設置の届出に関する事。
- 4 防火管理及び防災管理に関する事。
- 5 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関する事。(他課が所掌する事務に関する事を除く。)
- 6 防火対象物点検及び防災管理点検の特例認定に関する事。
- 7 防火対象物工事等計画の指導に関する事。
- 8 その他予防業務に関する事。

予防課 危険物係

- 1 危険物施設の検査、査察及び指導に関すること。
- 2 危険物施設の申請書等の受理、審査及び指導に関すること。
- 3 危険物施設の検査手数料等に関すること。
- 4 危険物施設に係る調査、統計及び報告に関すること。
- 5 危険物流出等の事故原因の調査に関すること。
- 6 防災協会に関すること。
- 7 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 8 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 9 その他危険物業務に関すること。

予防課 調査指導係

- 1 立入検査及び違反処理に関すること。
- 2 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- 3 広聴及び広報に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 4 火災統計、報告に関すること。
- 5 防火基準適合表示の審査、指導に関すること。
- 6 指定催しの計画、指導に関すること。
- 7 証明事務に関すること。
- 8 防火クラブ等に関すること。
- 9 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関するものを除く。)
- 10 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関するものを除く。)
- 11 その他調査指導業務に関すること。

警防課 警防救助係

- 1 警防救助業務、消防装備の企画調整及び調査研究に関すること。
- 2 警防訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
- 3 自動車及び消防機械器具の整備計画、技術指導及び管理並びに調査研究の総括に関すること。
- 4 自動車の運行管理及び安全管理等に関すること。
- 5 消防協力者及び消防職員表彰に関すること。
- 6 消防年報に関すること。
- 7 消防警戒区域立入許可証の交付等に関すること。
- 8 消防相互応援協定及び受援計画に関すること。
- 9 国民保護計画、地域防災計画、水防計画に関すること。
- 10 消防団との連絡調整に関すること。
- 11 救助業務計画に関すること。
- 12 消防水利に関すること。

- 13 緊急消防援助隊に関すること。
- 14 警防救助に係る統計に関すること。
- 15 災害の指揮及び警防本部に関すること。
- 16 公用車の事故調査及び処理に関すること。
- 17 消防車両に係る国庫補助の申請に関すること。
- 18 開発行為に係る協議に関すること。
- 19 災害時の記録編纂に関すること。
- 20 消防力の整備指針に関すること。
- 21 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関することを除く。)
- 22 広聴及び広報に関すること。(他課が所掌する事務に関することを除く。)
- 23 その他警防業務に関すること。

警防課 救急係

- 1 救急業務の企画調整及び調査研究に関すること。
- 2 救急業務計画に関すること。
- 3 患者等搬送事業に係る認定及び指導に関すること。
- 4 救急医療機関との連携調整に関すること。
- 5 応急手当の普及に関すること。
- 6 救急に係る統計に関すること。
- 7 救急車両に係る国庫補助の申請に関すること。
- 8 メディカルコントロール協議会に関すること。
- 9 搬送等証明書の指導、助言に関すること。
- 10 救急活動記録票の検証に関すること。
- 11 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関することを除く。)
- 12 その他救急業務に関すること。

通信指令課 通信統制係

- 1 通信業務の基本方針及び調査研究に関すること。
- 2 出動指令業務に関すること。
- 3 通信施設の調査研究及び整備計画に関すること。
- 4 各種報告に関すること。
- 5 条例、規則等の制定及び改廃に関すること。(他課が所掌する条例、規則等の制定改廃に関することを除く。)
- 6 その他通信統制に関すること。

通信指令課 情報管理係

- 1 防災関係機関との連絡調整に関すること。
- 2 火災警報の発令及び解除に関すること。
- 3 気象情報に関すること。
- 4 情報セキュリティー対策に関すること。
- 5 情報公開及び個人情報保護の取扱事務に関すること。(他課が所掌する事務に関

することを除く。)

- 6 広聴及び広報に関すること。(他課が所掌する事務に関することを除く。)
- 7 その他情報管理に関すること。

#### 通信指令課 システム管理係

- 1 通信訓練の基本方針及び実施計画に関すること。
- 2 通信施設の維持管理に関すること。
- 3 情報通信ネットワーク及びコンピューター機器等の維持管理に関すること。
- 4 その他システム管理に関すること。

#### 消防署の事務分掌

##### 総務第1係、総務第2係(板柳消防署を除く)

- 1 文書の收受、発送及び整理保管に関する事項
- 2 公印の保管に関する事項
- 3 職員の教養及び服務に関する事項
- 4 庁舎管理及び環境整備に関する事項
- 5 時間外勤務手当、特殊勤務手当及び管内旅行命令に関する事項
- 6 消防隊の編成、通信勤務及び非常召集に関する事項
- 7 他の係に属さない事項

##### 警防救助第1係、警防救助第2係(板柳消防署を除く)

- 1 職員の訓練及び安全管理に関する事項
- 2 消防水利の保全、管理及び地理に関する事項
- 3 車両及び車両積載器具等の保全整備及び取扱い指導に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 現場指揮に関する事項
- 6 救助業務及び救助技術に関する事項
- 7 その他警防、救助に関する事項

##### 救急第1係、救急第2係(板柳消防署を除く)

- 1 救急業務に関する事項
- 2 救急資器材の管理及び救急薬品の保守管理に関する事項
- 3 救急技術の訓練及び指導に関する事項
- 4 救急記録及び統計に関する事項
- 5 救急資器材の滅菌及び汚物処理に関する事項
- 6 搬送証明の交付に関する事項
- 7 その他救急に関する事項

##### 予防第1係、予防第2係(板柳消防署を除く)

- 1 予防査察及び危険物取締りに関する事項
- 2 火災予防の指導、広報及び宣伝に関する事項
- 3 消防訓練に関する事項
- 4 消防用設備等の点検報告に関する事項



- 5 予防関係の証明に関する事項
- 6 その他予防に関する事項

調査指導第1係、調査指導第2係（板柳消防署を除く）

- 1 火災調査に関する事項
- 2 火災の証明に関する事項
- 3 火災予防条例の届出等に関する事項
- 4 防火対象物の違反処理に関する事項
- 5 その他調査指導に関する事項

総務警防第1係、総務警防第2係（板柳消防署のみ）

- 1 職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
- 2 車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
- 3 消防水利の保全に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 他の係に属さない事項

予防救急第1係、予防救急第2係（板柳消防署のみ）

- 1 火災予防に関する事項
- 2 予防業務に関する事項
- 3 消防訓練に関する事項
- 4 救急業務に関する事項
- 5 証明事務に関する事項
- 6 その他予防、救急に関する事項

## 分署の事務分掌

総務警防第1係、総務警防第2係

- 1 職員の教養、訓練及び安全管理に関する事項
- 2 車両及び車両積載器具等の保全整備と取扱い指導に関する事項
- 3 消防水利の保全に関する事項
- 4 各種災害等の警戒、防御及び調査に関する事項
- 5 他の係に属さない事項

予防救急第1係、予防救急第2係（藤代分署、柘形分署を除く）

- 1 火災予防に関する事項
- 2 予防業務に関する事項
- 3 消防訓練に関する事項
- 4 救急業務に関する事項
- 5 証明事務に関する事項
- 6 その他予防、救急に関する事項

予防第1係、予防第2係（柘形分署、藤代分署のみ）

- 1 予防査察及び危険物取締りに関する事項
- 2 予防関係の届出等に関する事項
- 3 火災調査に関する事項

4 防火対象物の違反処理に関する事項

5 その他予防、調査指導に関する事項

救急第1係、救急第2係（杵形分署、藤代分署のみ）

1 救急業務に関する事項

2 救急資器材の管理及び救急薬品の保守管理に関する事項

3 救急技術の訓練及び指導に関する事項

4 救急記録及び統計に関する事項

5 その他救急に関する事項

# 消防庁舎一覽表

(令和3年4月1日現在)

名称	所在地	電話番号	面積 (㎡)		構造	竣工年月
			敷地面積	延面積		
消防本部	弘前市大字本町2番地1	(代)0172(32)5101	2,274.69	3,819.44	SRC造 地下1階 地上4階 塔屋1階	H13.3
弘前消防署		0172(32)5199				
弘前消防署 藤代分署	弘前市大字石渡三丁目 6番地3	0172(34)1317	2015.52	626.79	鉄骨造 平屋建	R3.2
弘前消防署 西北分署	弘前市大字小友字神原 371番地2	0172(93)3310	989.52	495.00	鉄骨造一部2階建	S56.12
弘前消防署 西分署	弘前市大字鳥井野字宮本 301番地2	0172(82)3311	(5,012.07)	626.73	鉄骨造 平屋建	H24.3
弘前消防署 目屋分署	中津軽郡西目屋村大字 田代字神田56番地	0172(85)3119	(1,854.58)	354.24 (136.54)	鉄骨一部木造 一部 2階建	H11.3
東消防署	弘前市大字城東中央五丁目 6番地11	0172(27)1151	3,081.15	2,018.19	鉄骨造 4階建	H26.12
東消防署 柘形分署	弘前市大字豊原一丁目 3番地9	0172(33)4311	394.11	380.54	鉄骨造 一部2階建	H3.2
東消防署 南分署	南津軽郡大鰐町大字蔵館 字金坂57番地1	0172(48)2108	1,668.24	408.50	木造一部鉄骨造 平 屋建	S61.3
東消防署 北分署	南津軽郡藤崎町大字藤崎 字中豊田7番地3	0172(75)3333	(2,686.16)	(626.68)	鉄骨造 平屋建	H26.12
黒石消防署	黒石市追子野木一丁目 576番地	0172(53)1000	(6,904.93)	(2,958.83)	SRC造 2階建	H7.6
黒石消防署 山形分署	黒石市大字上山形字村岸 9番地2	0172(54)8330	(1670.16)	(427.60)	鉄骨造 平屋建	R3.1
黒石消防署 田舎館分署	南津軽郡田舎館村大字 八反田字古館206番地1	0172(58)2962	(1,156.50)	(417.81)	鉄骨造 平屋建	H7.11
平川消防署	平川市平田森前田 331番地	0172(44)3122	(5,554.00)	(1,807.00)	鉄骨造 2階建	H2.2
平川消防署 碓ヶ関分署	平川市碓ヶ関湯向川添 31番地9	0172(45)2240	(1,864.24)	(563.36)	鉄骨造 平屋建	R2.6
板柳消防署	北津軽郡板柳町大字 福野田字増田60番地6	0172(73)2339	(3,226.32)	(784.88)	鉄骨造 平屋建	R3.3

※延面積は庁舎のみ。( )は、所在市町村所有である。

# 消防職員階級別配置状況

(令和3年4月1日現在)

階級 所 属	現 員	消 防 吏 員							
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	432(16)	1	5	9	68	108(1)	135(5)	45(6)	61(4)
消 防 本 部	60(5)	1	1	4	14	20(1)	16(1)	3(3)	1
総 務 課	11(1)	1	1	1	2	4	1	1(1)	
人 材 育 成 課	11(3)				4	2(1)	3(1)	1(1)	1
予 防 課	11(1)			1	2	5	2	1(1)	
警 防 課	8			1	2	3	2		
通 信 指 令 課	19			1	4	6	8		
弘 前 消 防 署 管 轄	110(4)		1	1	16	28	35(1)	12(1)	17(2)
弘 前 消 防 署	45(2)		1	1	8	10	16(1)	4(1)	5
藤 代 分 署	21(1)				2	6	5	3	5(1)
西 北 分 署	12				2	4	4	2	
西 分 署	20(1)				2	4	6	2	6(1)
目 屋 分 署	12				2	4	4	1	1
東 消 防 署 管 轄	112(3)		1	1	14	24	34(2)	14	24(1)
東 消 防 署	50(2)		1	1	8	10	17(1)	5	8(1)
枅 形 分 署	20				2	6	5	3	4
南 分 署	21				2	4	6	3	6
北 分 署	21(1)				2	4	6(1)	3	6
黒 石 消 防 署 管 轄	70(2)		1	1	12	18	24	7(1)	7(1)
黒 石 消 防 署	46(2)		1	1	8	10	16	4(1)	6(1)
山 形 分 署	12				2	4	4	1	1
田 舎 館 分 署	12				2	4	4	2	
平 川 消 防 署 管 轄	58(1)		1	1	10	14	20(1)	5	7
平 川 消 防 署	46(1)		1	1	8	10	16(1)	4	6
碓 ヶ 関 分 署	12				2	4	4	1	1
板 柳 消 防 署	22(1)			1	2	4	6	4(1)	5

( ) については、女性消防吏員

# 消防職員階級別年齢調

(令和3年4月1日現在)

区分 年齢	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計	432	1	5	9	68	108	135	45	61
18歳	5								5
19 "	5								5
20 "	2								2
21 "	4								4
22 "	5								5
23 "	7								7
24 "	11								11
25 "	15							8	7
26 "	2							1	1
27 "	10							3	7
28 "	16						5	8	3
29 "	14						8	5	1
30 "	5						1	4	
31 "	20						10	8	2
32 "	11						8	2	1
33 "	15						15		
34 "	11						7	4	
35 "	21						21		
36 "	8						8		
37 "	7						6	1	
38 "	3						3		
39 "	11					3	8		
40 "	8					1	7		
41 "	11					5	6		
42 "	12					5	7		
43 "	12					10	2		
44 "	16					14	2		
45 "	21					15	6		
46 "	18					13	4	1	
47 "	23				10	13			
48 "	15				6	9			
49 "	16				8	7	1		
50 "	19				14	5			
51 "	4				3	1			
52 "	6			1	2	3			
53 "	13			1	11	1			
54 "	7			1	6				
55 "	2			1		1			
56 "	6		1	1	3	1			
57 "	8		2	3	3				
58 "	3		1		1	1			
59 "	4	1	1	1	1				
平均年齢	39.2	59	57.3	55.6	51	45.9	36.1	29.5	23.6

# 消防職員階級別勤続年数調

(令和3年4月1日現在)

年 齢	区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計		432	1	5	9	68	108	135	45	61
1 年 未 満		11								11
1年 以上 2年 未満		9								9
2年 " 3年 "		6								6
3年 " 4年 "		5								5
4年 " 5年 "		9								9
5年 " 6年 "		11								11
6年 " 7年 "		10								10
7年 " 8年 "		27						1	26	
8年 " 9年 "		0								
9年 " 10年 "		15						7	8	
10年 " 11年 "		24						18	6	
11年 " 12年 "		24						21	3	
12年 " 13年 "		6						5	1	
13年 " 14年 "		24						24		
14年 " 15年 "		4						4		
15年 " 16年 "		14					1	13		
16年 " 17年 "		0								
17年 " 18年 "		8					2	6		
18年 " 19年 "		4						4		
19年 " 20年 "		10					4	6		
20年 " 21年 "		2					2			
21年 " 22年 "		13					6	7		
22年 " 23年 "		5					3	2		
23年 " 24年 "		4					2	2		
24年 " 25年 "		17				2	11	4		
25年 " 26年 "		21				5	13	3		
26年 " 27年 "		26				4	20	2		
27年 " 28年 "		22			1	6	10	4	1	
28年 " 29年 "		17			1	5	10	1		
29年 " 30年 "		19				10	8	1		
30年 " 31年 "		17				10	7			
31年 " 32年 "		10				5	5			
32年 " 33年 "		4				3	1			
33年 " 34年 "		3		1	1		1			
34年 " 35年 "		5		1	1	3				
35年 " 36年 "		7			1	6				
36年 " 37年 "		11	1	1	2	5	2			
37年 " 38年 "		2		1		1				
38年 " 39年 "		2			1	1				
39年 " 40年 "		2			1	1				
40年 " 41年 "		2		1		1				
平 均 年 数		18.5	36.0	35.3	34	30.4	25.9	14.9	8.6	3.1

# 職員の免許資格取得状況

(令和3年4月1日現在)

免許別	階級別	計	消	消	消	消	消	消	消		
			防	防	防	防	防	防	防		
			正	監	司	司	司	士	士		
			監	監	令	令	令	長	長		
					長	令	補	長	士		
								長	士		
									士		
機械運転・操作・整備関係	大型自動車	293		2	6	62	92	102	25	4	
	中型自動車	133		1	1	2	9	68	36	16	
	中型自動車8t限定	269	1	4	8	66	103	82	5		
	準中型自動車	4							1	3	
	準中型自動車5t限定	136		1	1	1	3	53	39	38	
	大型特殊自動車	77			2	11	29	26	6	3	
	けん引	4				2	1	1			
	自動二輪 (大型)	37		1	1	8	12	12		3	
	自動二輪 (中型)	131	1	1	5	25	38	41	11	9	
	三級整備士 (シャシ)	1				1					
	玉掛技能	158				5	33	52	64	4	
	移動式クレーン運転業務	167				5	34	55	69	4	
	クレーン運転業務	13					1	2	10		
	小型船舶操縦士 (2級)	44				1	15	18	7	2	1
	車両系建設機械 (整地等)	48				1	9	17	17	3	1
車両系建設機械 (解体)	32				1	4	12	13	1	1	
小型車両系 (整地)	16						7	6	2	1	
通信関係	第一級陸上特殊無線技士	1					1				
	第二級陸上特殊無線技士	266	1	5	9	62	100	82	4	3	
	第三級陸上特殊無線技士	151				5	8	53	41	44	
	第三級アマチュア無線技士	1					1				
	第四級アマチュア無線技士	8			2	1	5				
予防関係	予防技術資格者(防火査察専門員)	90			1	9	24	38	9	9	
	予防技術資格者(消防用設備等専門員)	30				4	10	15		1	
	予防技術資格者(危険物専門員)	26				3	7	9	3	4	
	危険物取扱者 (甲)	3				2			1		
	危険物取扱者 (乙三)	14				1	2	6	2	3	
	危険物取扱者 (乙四)	77			1	9	13	23	12	19	
	危険物取扱者 (丙)	25			2	6	8	4	5		
	消防設備士 (甲四)	2				1			1		
消防設備士 (乙六)	14				2	4	4	3	1		
消防設備士 (乙七)	1							1			
救急関係	指導救命士	9				3	6				
	救急救命士	113		3	2	27	28	38	5	10	
	気管挿管認定救命士	102		3	2	27	28	33	4	5	
	薬剤投与認定救命士	106		3	2	25	28	37	5	6	
	処置拡大2行為	101				25	28	37	5	6	
	救急標準課程又は救急科	329			2	34	91	125	41	36	
	救急I課程	70	1	5	7	38	18	1			
	救急II課程	64	1	5	6	34	17	1			
応急手当指導員	397	1	3	6	64	108	133	44	38		
その他	潜水士	39			1	6	11	15	1	5	
	第二種酸素欠乏危険作業主任者	143	1	1	3	24	52	57	3	2	
	特定化学物質等作業主任者	63		2	6	16	32	7			
	衛生管理者	7			1	3		3			
	ガス溶接技能	79			3	20	32	23		1	
	電気工事士 (二種)	6			1		2	2		1	
	ボイラー技士 (二級)	9			2	2	1	4			
火薬取締保安責任者	1						1				

# 職員研修等実施状況

(令和3年4月1日現在)

## 学校教育

	課 題	対 象	回数	期 間	人員
消防 大学 校	実火災体験型訓練指導者研修	消防司令補	1	R2. 8. 12 ~ R2. 8. 13	1
	救助科	消防司令補	1	R2. 8. 19 ~ R2. 10. 8	1
	幹部科	消防司令	1	R3. 1. 7 ~ R3. 2. 25	1
	NBCコース	消防司令補	1	R3. 2. 4 ~ R3. 2. 24	1
	高度救助・特別高度救助コース	消防司令補	1	R3. 3. 1 ~ R3. 3. 12	1
	特別講習会(リモート講義)	消防司令補	1	R3. 3. 18	1
県 消 防 学 校	初任科	消防士	1	R2. 4. 2 ~ R2. 10. 9	10
	女性活躍部会	消防士長	1	R2. 6. 17	2
	救急隊隊員スキルアップ研修	救急隊員	1	R2. 8. 3 ~ R2. 8. 4	6
	チェンソー取扱い研修	消防士長	1	R2. 8. 24 ~ R2. 8. 25	80
	緊急走行研修	消防士長	1	R2. 9. 12 ~ R2. 10. 10	8
	中級幹部科	消防司令・消防司令補	1	R2. 10. 22 ~ R2. 10. 30	3
	救急科	消防士	1	R2. 11. 2 ~ R2. 12. 25	8
	警防科	消防士長	1	R2. 11. 9 ~ R3. 11. 20	5
	震災救助研修	消防士長	1	R2. 10. 12 ~ R2. 10. 16	2
	火災防ぎょ研修	消防士長	1	R2. 10. 19 ~ R2. 10. 23	2
	特殊災害科	消防士長	1	R3. 1. 21 ~ R3. 1. 29	3
	予防査察科	消防士長	1	R3. 2. 3 ~ R2. 2. 17	6
	火災調査科	消防士長	1	R3. 3. 1 ~ R3. 3. 12	6

## 研 修

	課 題	対 象	回数	期 間	人員
弘 前 市 研 修	ストレスケア研修	消防士長	1	R2. 6. 3	2
	イクボス養成研修	消防司令～消防士長	1	R2. 8. 19	4
	ワーキングマザー研修	女性職員	1	R2. 8. 19	4
	ワンペーパー資料作成研修	消防司令補他	1	R2. 9. 29	4
	ハラスメント防止研修	消防司令補	1	R2. 9. 30	4
	アンガーマネジメント研修	消防司令補	1	R2. 10. 27	1
	市民サービス力向上研修	消防士	1	R2. 10. 30	1
	クレーム対応力向上研修	消防司令補	1	R2. 11. 4	1
	管理監督者向けストレスケア研修	消防司令補	1	R2. 11. 13	2
	ファシリテーション能力研修	消防司令補他	1	R2. 11. 27	5
	仕事段取り向上研修	消防士長他	1	R2. 12. 3	4
東北自治 研修所	接遇指導者研修	消防司令補	1	R2. 9. 2 ~ R2. 9. 4	1
	ハラスメント防止指導者養成研修	消防司令補	1	R2. 11. 26 ~ R2. 11. 27	1
県 自 治 研 修	カウンセリングマインド研修	消防司令補	1	R2. 7. 27 ~ R2. 7. 28	2
	交渉力向上研修	消防士長	1	R2. 9. 8 ~ R2. 9. 9	1
	ダイバーシティマネジメント研修	消防司令補	1	R2. 10. 5	1
	人と組織のマネジメント向上研修	消防司令補	1	R2. 10. 16	2
	独創力の鍛え方・コンセプトの作り方	消防士長	1	R2. 12. 3 ~ R2. 12. 4	2
	女性職員のセルフマネジメント研修	消防士長	1	R2. 12. 17 ~ R2. 12. 18	1
	ロジカルプレゼン研修	消防士長	1	R2. 12. 18	2
救急救命士気管挿管病院実習	救急救命士	1	R2. 4 ~ R3. 1	3	
消防・救急緊急自動車運転技能者課程	消防士長	1	R2. 7. 28 ~ R2. 7. 31	1	
広報の効果的実践研修	消防司令	1	R2. 9. 1 ~ R2. 9. 9	1	
東北支部警防実務研修会	消防司令補	1	R2. 9. 8	1	
調査技術会議研修会	消防士長	1	R2. 9. 18	1	
東北支部救急実務研修会	消防司令補	1	R2. 10. 14 ~ R2. 10. 15	1	
全国消防長会予防・広報委員会	消防司令補	1	R2. 11. 12 ~ R2. 11. 13	1	
陸上自衛隊大湊水中処分隊合同潜水研修	潜水士	1	R2. 11. 10 ~ R2. 11. 12	2	
ビデオ喉頭鏡実習	救急救命士	1	R3. 1. 22 ~ R3. 2. 9	6	

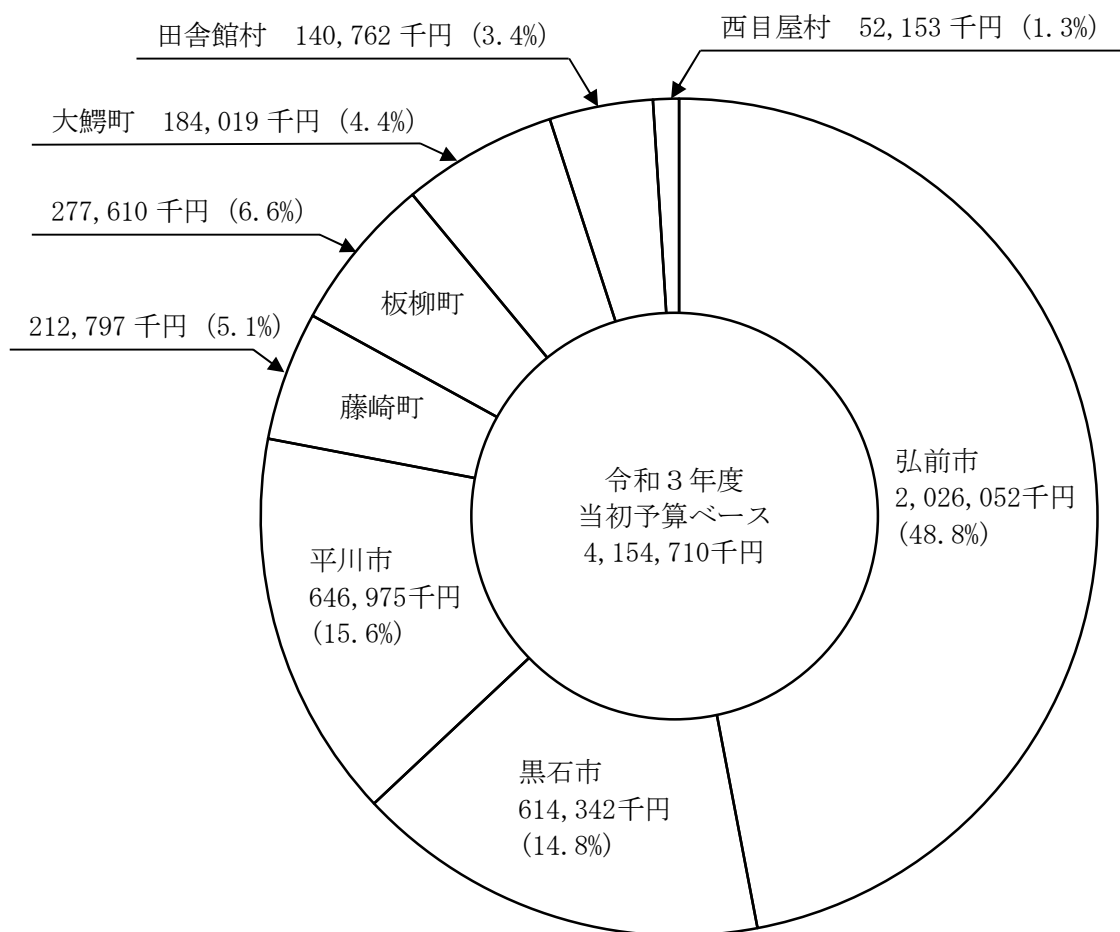


# 当初予算歳入歳出比較表

(単位：千円)

区 分		令和3年度		令和2年度		増減額
		予算額	構成比%	予算額	構成比%	
歳  入	1 分担金及び負担金	4,154,710	91.1	4,197,174	85.0	△42,464
	2 使用料及び手数料	1,510	0.0	1,810	0.1	△300
	3 財産収入	125	0.0	110	0.0	15
	4 繰入金	171,840	3.8	68,000	1.4	103,840
	5 繰越金	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	6 諸収入	13,739	0.3	21,515	0.4	△7,776
	7 組合債	218,200	4.8	647,500	13.1	△429,300
	合 計	4,561,124	100.0	4,937,109	100.0	△375,985
歳  出	1 議会費	3,517	0.1	1,297	0.0	2,220
	2 総務費	379	0.0	379	0.0	0
	3 消防費	4,094,025	89.8	4,486,783	90.9	△392,758
	4 公債費	382,579	8.4	368,469	7.5	14,110
	5 基金積立金	79,624	1.7	79,181	1.6	443
	6 予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合 計	4,561,124	100.0	4,937,109	100.0	△375,985
性  質  別  歳  出	人件費	3,290,699	72.2	3,405,102	69.0	△114,403
	物件費	702,632	15.4	321,157	6.5	381,475
	維持補修費	1,810	0.0	1,679	0.0	131
	扶助費	48,210	1.1	48,210	1.0	0
	補助費等	18,570	0.4	18,000	0.4	570
	普通建設事業費	36,000	0.8	694,311	14.0	△658,311
	公債費	382,579	8.4	368,469	7.5	14,110
	積立金	79,624	1.7	79,181	1.6	443
	予備費	1,000	0.0	1,000	0.0	0
	合 計	4,561,124	100.0	4,937,109	100.0	△375,985

## 関係市町村負担金状況



## 消防予算等の推移 (5ヶ年間)

年 度	消防予算 (千円)	一世帯当り (円)	住民一人当り (円)
平成29年度	4,199,902	36,373	14,526
平成30年度	4,390,452	37,893	15,360
令和元年度	4,620,676	37,142	16,360
令和2年度	4,937,109	39,550	17,685
令和3年度	4,561,124	36,406	16,530

# 予 防





# 市町村別防火対象物の状況

(令和3年4月1日現在)

用途別		市町村別	合	弘	黒	平	藤	板	大	田	西
			計	前	石	川	崎	柳	鰐	舎	目
				市	市	市	町	町	町	館	屋
				村						村	村
合計			10,340	6,885	1,160	874	422	439	288	209	63
1	イ	劇場・映画館等	18	9	2	3	3			1	
	ロ	公会堂・集会場	374	167	45	65	26	28	20	18	5
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	25	17	4		2	1	1		
	ハ	性風俗関連店舗									
	ニ	カラオケボックス等	5	5							
3	イ	待合・料理店等	3	1	2						
	ロ	飲食店	430	312	53	25	12	14	5	8	1
4		百貨店・マーケット等	423	279	55	30	17	26	9	7	
5	イ	旅館・ホテル	242	113	59	9		9	29	11	12
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	2,542	2,177	164	87	46	37	17	12	2
6	イ	病院・診療所等	243	176	24	15	11	10	5	2	
	ロ	老人福祉施設等	254	151	32	18	13	15	13	10	2
	ハ	デイサービス等	391	250	40	34	20	14	21	11	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	26	19	4	2	1				
7		小・中・高・大・各種学校等	320	234	20	37	9	13	3	2	2
8		図書館・博物館等	18	8	3	2	1	2		2	
9	イ	蒸気浴場等									
	ロ	公衆浴場等	35	13	3	11	1	2	1	1	3
10		車両の停車場	1					1			
11		神社・寺院・教会等	187	120	19	12	12	11	10	3	
12	イ	工場・作業場	1,057	559	162	129	49	57	38	57	6
	ロ	スタジオ等									
13	イ	自動車庫庫・駐車場	187	100	27	30	8	11	6	4	1
	ロ	特殊格納庫									
14		倉庫	1,314	719	157	160	118	89	38	26	7
15		前各項に該当しない事業所	981	591	136	120	32	37	28	23	14
16	イ	特定を含む複合用途	802	553	82	62	29	31	33	7	5
	ロ	非特定の複合用途	393	256	56	22	12	30	11	4	2
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財	69	56	11	1		1			
18		アーケード									

※ 1 防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。

2 単位：棟数

# 防火対象物の階数別状況

(令和3年4月1日現在)

用途別	階数別	対 象 物 数	階数別対象物数																		
			地 階 の み	1 ～ 2 階	3 階	計	中高層建築物														
							4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階			
合計		10,340	1	9,154	786	399(29)	226	69	36	17	9(3)	8(4)	10(3)	9(4)	3(3)	2(2)	4(4)	6(6)			
1	イ 劇場・映画館等	18		14	4																
	ロ 公会堂・集会場	374		366	5	3	3														
2	イ キャバレー等																				
	ロ 遊技場・ダンスホール	25		21	3	1	1														
	ハ 性風俗関連店舗 ニ カラオケボックス等	5		5																	
3	イ 待合・料理店等	3		2	1																
	ロ 飲食店	430		404	15	11	4	6	1												
4	百貨店・マーケット等	423		403	18	2	2														
5	イ 旅館・ホテル等	242		199	17	26(5)	7	5	2	3	2	3(2)	2(1)		1(1)		1(1)				
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	2,542		2,176	203	163(14)	101	22	7	3	3	3(1)	6	8(3)	1(1)	1(1)	2(2)	6(6)			
6	イ 病院・診療所等	243		191	25	27(1)	10	8	7	1		1(1)									
	ロ 老人福祉施設等	254		229	15	10	7	1	1	1											
	ハ デイサービス等	391		366	18	7	1	5	1												
	ニ 幼稚園・特別支援学校等	26		21	4	1	1														
7	小・中・高・大・各種学校等	320		193	92	35(2)	23	5	5	1(1)			1(1)								
8	図書館・博物館等	18		17		1		1													
9	イ 蒸気浴場等																				
	ロ 公衆浴場等	35		35																	
10	車両の停車場	1		1																	
11	神社・寺院・教会等	187		173	13	1	1														
12	イ 工場・作業場	1,057		1,033	17	7	5	1	1												
	ロ スタジオ等																				
13	イ 自動車車庫・駐車場	187	1	176	5	5	1	2	1	1											
	ロ 特殊格納庫																				
14	倉庫	1,314		1,291	22	1		1													
15	前各項に該当しない事業所	981		841	97	43(1)	28	7	5	2	1(1)										
16	イ 特定を含む複合用途	802		615	147	40(5)	24	2	2	5	3(2)	1		1(1)	1(1)	1(1)					
	ロ 非特定の複合用途	393		319	59	15(1)	7	3	3	1		1(1)									
16の2	地下街																				
16の3	準地下街																				
17	文化財	69		63	6																
18	アーケード																				

- ※ 1 ( )内は、内書きで高さ31mを超える高層建築物を計上。  
 2 防火対象物数は指定査察対象物を計上し、休業中等の防火対象物（高層建築物を除く）については計上していない。  
 3 単位：棟数

# 予防査察の実施状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

用途別		市町村別	合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰐 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村
合計			2,620	1,724	334	200	103	124	72	53	10
1	イ	劇場・映画館等	7	5	1	1					
	ロ	公会堂・集会場	69	31	2	11	3	9	12		1
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	7	1						
	ハ	性風俗関連店舗									
3	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	154	89	29	13	7	6	3	6	1
4		百貨店・マーケット等	95	57	12	11	4	5	4	2	
5	イ	旅館・ホテル等	137	65	33	4		6	18	11	
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	638	578	40	8	9		3		
6	イ	病院・診療所等	30	23	1		1	3	2		
	ロ	老人福祉施設等	46	22	5	5		14			
	ハ	デイサービス等	91	75	3	8	1	3		1	
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	9	6		2	1				
7		小・中・高・大・各種学校等	74	57	4	2	3	8			
8		図書館・博物館等	5	3	1			1			
9	イ	蒸気浴場等									
	ロ	公衆浴場等	6	2		2	1	1			
10		車両の停車場									
11		神社・寺院・教会等	38	23	5	4	2	2	1	1	
12	イ	工場・作業場	241	140	37	30	15	9	1	9	
	ロ	スタジオ等									
13	イ	自動車車庫・駐車場	48	24	11	7	3	1		1	1
	ロ	特殊格納庫									
14		倉庫	358	181	65	35	29	29	4	13	2
15		前各項に該当しない事業所	235	135	41	34	8	6	2	6	3
16	イ	特定を含む複合用途	216	132	22	17	14	11	17	1	2
	ロ	非特定の複合用途	78	53	10	5	2	1	5	2	
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財	36	15	11	1		9			
18		アーケード									

※ 単位：棟数

## 違反処理状況

年度	警告	命令	告発	特例認定の取消
平成28年度	31	2	—	—
平成29年度	26	2	—	—
平成30年度	4	1	—	—
令和元年度	21	2	—	—
令和2年度	5	6	—	—

※ 単位：件数





## 防火管理者資格取得状況

年別	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
人数	268	397	286	294	206

## 防火管理者選任及び消防計画届出状況

(令和 3 年 4 月 1 日現在)

用途別		区 分	義務対象物件数	防火管理者選任 届出対象物件数		消防計画作成 届出対象物件数	
					選任率%		作成率%
合 計			2,371	2,272	96	2,218	94
1	イ	劇場・映画館等	11	11	100	11	100
	ロ	公会堂・集会場	184	180	98	179	97
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場・ダンスホール	24	23	96	23	96
	ハ	性風俗関連店舗					
	ニ	カラオケボックス等	5	5	100	5	100
3	イ	待合・料理店等	3	3	100	3	100
	ロ	飲食店	244	211	86	203	83
4		百貨店・マーケット等	277	259	94	251	91
5	イ	旅館・ホテル等	72	71	99	70	97
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	87	84	97	82	94
6	イ	病院・診療所等	82	82	100	81	99
	ロ	老人福祉施設等	180	179	99	176	98
	ハ	デイサービス等	213	209	98	209	98
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	21	21	100	21	100
7		小・中・高・大・各種学校等	125	125	100	121	97
8		図書館・博物館等	6	6	100	6	100
9	イ	蒸気浴場等					
	ロ	公衆浴場等	27	27	100	27	100
10		車両の停車場					
11		神社・寺院・教会等	114	111	97	102	89
12	イ	工場・作業場	70	70	100	70	100
	ロ	スタジオ等					
13	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	特殊格納庫					
14		倉庫	10	10	100	9	90
15		前各項に該当しない事業所	197	195	99	190	96
16	イ	特定を含む複合用途	373	347	93	337	90
	ロ	非特定の複合用途	31	30	97	29	94
16の2		地下街					
16の3		準地下街					
17		文化財	15	13	87	13	87

※ 単位：件数

## 訓練指導・講話・広報等状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

		消 防 訓 練	防 火 講 話	消 防 施 設 見 学	火 災 予 防 広 報	合 計
消 防 本 部	回数	0	0	2	0	2
	人員	0	0	30	0	30
弘 前 消 防 署 管 轄	回数	12	3	13	242	270
	人員	1,052	78	295	701	2,126
東 消 防 署 管 轄	回数	15	0	34 (33)	310	359 (33)
	人員	1,611	0	870 (854)	872	3,353 (854)
黒 石 消 防 署 管 轄	回数	0	0	2	116	118
	人員	0	0	65	344	409
平 川 消 防 署 管 轄	回数	0	2	7	133	142
	人員	0	437	214	403	1,054
板 柳 消 防 署	回数	0	0	0	86	86
	人員	0	0	0	300	300
合 計	回数	27	5	58 (33)	887	977 (33)
	人員	2,663	515	1,474 (854)	2,620	7,272 (854)

※ ( )内は東消防署防災教育室利用状況を計上。

## 東消防署防災教育室利用状況

年 度	件 数	利用者数	体 験 内 容						延べ時間
			消 火	煙	地 震	応急手当	その他	庁舎見学	
元年度	101件	2,811人	82件	89件	88件	17件	17件	95件	137時間10分
2年度	33件	854人	28件	30件	30件	1件	1件	33件	41時間20分
合 計	134件	3,665人	110件	119件	118件	18件	18件	128件	178時間30分

# 届出受付状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	防火管理者 選解任	消防計画 作成変更	改修報告	防火対象物 使用開始届	消防用設備 等点検報告	変電設備等	その他	消防同意	合計
4月	98	179	12	32	209	7	14	35	586
5月	22	36	1	30	193	4	10	18	314
6月	13	23	9	21	240	6	8	26	346
7月	28	39	88	22	353	3	28	23	584
8月	26	27	171	25	367	3	35	23	677
9月	47	56	106	19	352	7	35	23	645
10月	49	56	239	29	379	11	31	26	820
11月	20	23	38	25	229	7	14	25	381
12月	24	24	46	25	265	9	11	20	424
1月	11	13	36	21	193	14	14	10	312
2月	17	18	45	17	260	17	3	10	387
3月	33	39	90	53	250	9	9	24	507
合計	388	533	881	319	3,290	97	212	263	5,983

※ 1 「その他」は、炉、厨房設備、ボイラー等の設置及び変更や露店等開設の届出

2 単位：件数

# 令和2年度 避難行動要支援者防火防災診断実施状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	実施世帯	未実施世帯								
		内 訳								
		死亡	入 院	入 園	拒 否	転 居	対象外	不 在		
計	843	648	29	27	125	42	12	97	316	
弘 前 市	507	336	15	18	64	25	3	39	172	
黒 石 市	57	87	3	1	13	10	2	10	48	
平 川 市	118	137	9	2	38	6	3	43	36	
藤 崎 町	33	17			4				13	
板 柳 町	38	13		1		1			11	
大 鱈 町	81	51	2	5	4		4	3	33	
田 舎 館 村										
西 目 屋 村	9	7			2			2	3	
備 考										
指導状況		・住宅用火災警報器未設置に対する指導					335 件			
		・火気使用器具（暖房器具等）の管理に関する指導					44 件			
		・電気配線、配線コード等に関する指導					12 件			
		・建物内外の整理整頓不適（火災予防目的）に関する指導					16 件			
		・喫煙の状況等に関する指導					6 件			

※ 単位：世帯

※ 田舎館村については新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止とする。

# 市町村別危険物施設の状況

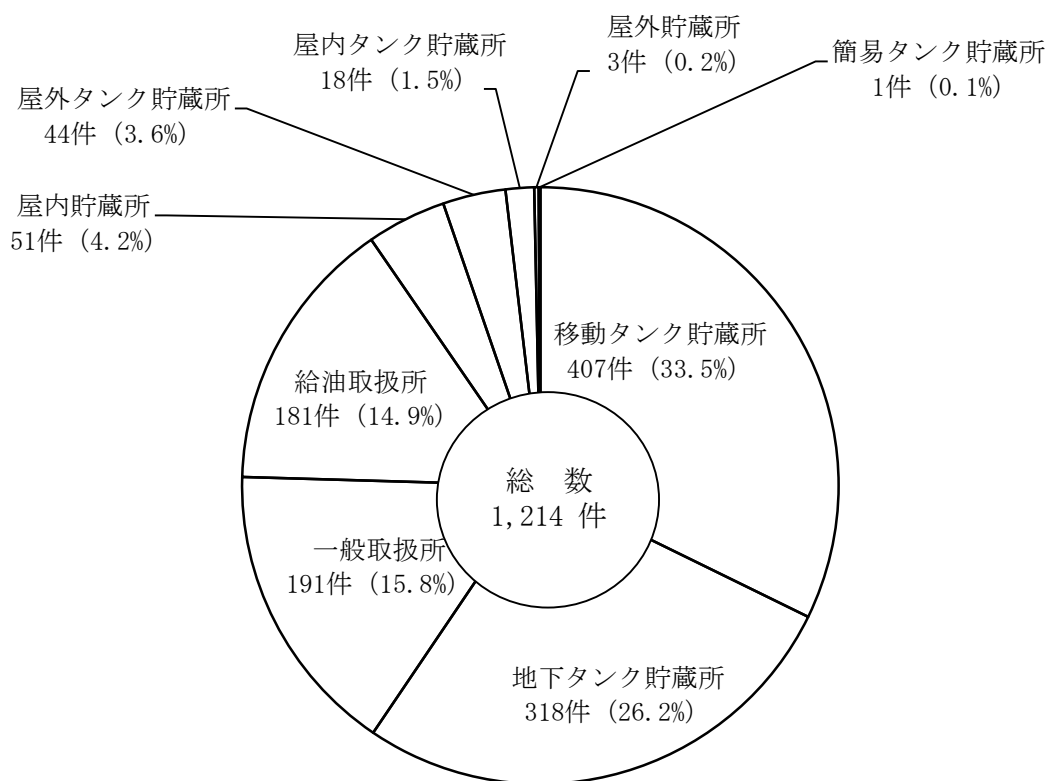
(令和3年4月1日現在)

施設別		市町村別								
		合 計	弘 前 市	黒 石 市	平 川 市	藤 崎 町	板 柳 町	大 鰯 町	田 舎 館 村	西 目 屋 村
合 計		1,214	700	150	148	72	60	48	23	13
貯 蔵 所	屋内貯蔵所	51	32	3	8	4	2	1	1	
	屋外タンク貯蔵所	44	21	3	6	4	2	1	7	
	屋内タンク貯蔵所	18	12	3	1		1	1		
	地下タンク貯蔵所	318	176	37	44	19	12	19	3	8
	簡易タンク貯蔵所	1	1							
	移動タンク貯蔵所	407	242	61	47	23	20	7	6	1
	屋外貯蔵所	3	2						1	
小 計		842	486	107	106	50	37	29	18	9
取 扱 所	給油取扱所	181	95	25	22	13	15	7	2	2
	販売取扱所									
	一般取扱所	191	119	18	20	9	8	12	3	2
小 計		372	214	43	42	22	23	19	5	4

※ 単位：施設数

# 危険物施設の状況

(令和3年4月1日現在)



# 規模別危険物施設の状況

(令和3年4月1日現在)

区分	施設別	合計	貯蔵所						取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般
合計		1,214	51	44	18	318	1	407	3	181		191
数量	倍数が5以下	696	22	15	13	156	1	383		12		94
	倍数が5を超え10以下	196	15	4	5	105		5	3	13		46
	倍数が10を超え50以下	149	8	15		32		5		48		41
	倍数が50を超え100以下	63	4	4		12		9		26		8
	倍数が100を超え150以下	30	2	3		4		5		15		1
	倍数が150を超え200以下	24		1		1				21		1
	倍数が200を超えるもの	56		2		8				46		

※ 倍数は、貯蔵最大数量又は取扱最大数量を消防法別表で定める指定数量で除して得た数値である。

※ 単位：施設数

## 危険物施設の推移（5ヶ年間）

（令和3年4月1日現在）

年度別 施設別	合計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	一般取扱所
29年	1,281	55	42	20	361	1	402	3	196		201
30年	1,231	53	42	19	335	1	397	3	184		197
元年	1,221	51	44	18	329	1	401	3	180		194
2年	1,214	51	44	18	318	1	407	3	181		191

※ 単位：施設数

## 危険物関係各種届出・申請件数

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

区分	総数	危険物関係届出・申請						少量危険物等届出			
		廃止届出書	予防規程に係る所長等の書	変更届出書	名称等変更届出書	保安監督者選任・解任届出書	軽微な変更届出書	その他の届出・申請	少量危険物貯蔵・取扱い届出書	指定可燃物貯蔵・取扱い届出書	液化石油ガス設備工事届出書
件数	488	41	31	102	32	100	48	99	9	5	21

※ 危険物関係届出・申請：その他の届出・申請内訳

品名、数量又は指定数量の倍数変更届出書	11件
危険物製造所等使用休止再開届出書	5件
譲渡・引渡届出書	10件
予防規程認可申請書	11件
許可証等再交付申請書	4件
休止中の地下貯蔵タンク等の漏れの点検期間延長申請書	2件
危険物製造所等災害発生届出書	2件
基準の特例適用申請書	3件

# 危険物製造所等の処理状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

製造所等の別		区分	合計	設置		変更		タンク検査		仮貯蔵・仮取扱	仮使用
				許可	完成	許可	完成	水張	水圧		
令和2年度 (合計)			217	30	29	59	61	0	1	0	37
仮貯蔵・仮取扱			0								
貯蔵所	屋内貯蔵所		0								
	屋外タンク貯蔵所		3			1	1				1
	屋内タンク貯蔵所		0								
	地下タンク貯蔵所		23	3	3	6	6		1		4
	簡易タンク貯蔵所		0								
	移動タンク貯蔵所		74	23	23	13	15				
	屋外貯蔵所		0								
小計			100	26	26	20	22	0	1	0	5
取扱所	給油取扱所		86	4	3	27	27				25
	販売取扱所	第1種	0								
		第2種	0								
	移送取扱所		0								
	一般取扱所		31			12	12				7
小計			117	4	3	39	39	0	0	0	32

※ 単位：施設数



# 警 防





# 消防車両等の保有状況

(令和3年4月1日現在)

種別 署別	合計	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	梯子車	救助工作車	化学車	救急車	司令車	指揮車	広報連絡車	資機材搬送車	重機搬送車	付水小型動力ポンプ車	燃料補給車	その他
合計	78(6)	6	17(3)	2	4	1	18(3)	1	4	12	5	1	1	1	5
消防本部	6							1		4					1
弘前消防署	7(1)		1	1	1		2(1)		1						1
藤代分署	4		1				1			1					1
西北分署	3		1				1			1					
西分署	4(1)	1	2(1)				1								
目屋分署	3		1				1			1					
東消防署	11(1)			1	1	1	2(1)		1		2	1	1		1
杵形分署	4(1)		2(1)				1			1					
北分署	4	1	1				1								1
南分署	3	1	1				1								
黒石消防署	9(1)	1	1		1		2(1)		1		2			1	
山形分署	3		1				1			1					
田舎館分署	3		1				1			1					
平川消防署	7(1)	1	2(1)		1		1		1		1				
碓ヶ関分署	3		1				1			1					
板柳消防署	4	1	1				1			1					

※1 その他は、防火指導1号車、防火指導2号車、人員搬送車、5t重機、ミニホイールローダ。

2 ( )は予備車、内書き。

# 車両配置状況

(令和3年4月1日現在)

署 別	種 別	名 称	車 名	年 式	摘 要
消防本部	司令車	司令車	トヨタ	R3	7人乗り 弘前地区消防防災協会寄贈
	広報車	広報1号車	三菱	H19	
	広報車	広報2号車	三菱	H22	
	防火査察指導車	査察1号車	日産	H24	
	防火査察指導車	査察2号車	日産	H15	
	査察車	防火指導2号車	ダイハツ	H20	
弘前消防署	救助工作車	救助1号車	日野	R2	Ⅲ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H22	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	はしご付消防自動車	梯子1号車	日野	H29	40m級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H24	高規格救急車 全国共済農業協同組合連合会寄贈
	指揮隊車	指揮1号車	トヨタ	H22	
	救急自動車	弘前予備救急1号車	トヨタ	H20	高規格救急車
	防火指導車	防火指導1号車	トヨタ	H23	15人乗り
藤代分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	H24	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	R元	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H16	
	弘前人員搬送車	弘前人員搬送1号車	日野	R3	24人乗り
西北分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	R2	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	救急自動車	救急1号車	日産	H19	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H27	
西分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	R3	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日野	H19	CD-I型 A-2級
	救急自動車	救急1号車	日産	H26	高規格救急車
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防3号車	日野	H17	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
目屋分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	R3	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	救急自動車	救急1号車	日産	H20	高規格救急車
	広報連絡車	広報連絡車	日産	H13	
東消防署	救助工作車	救助1号車	日野	H31	Ⅲ型
	化学消防ポンプ自動車	化学1号車	日野	H29	化学Ⅱ型 積載水1,500L 薬液500L A-2級
	はしご付消防自動車	梯子1号車	日野	H17	30m級 先端屈折式
	水槽車	水槽1号車	日野	H27	小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型 積載水5,000L
	救急自動車	救急1号車	日産	H21	高規格救急車
	指揮隊車	指揮1号車	トヨタ	H26	
	救急自動車	弘前予備救急3号車	トヨタ	H14	高規格救急車
	重機搬送車	弘前重機搬送1号車	三菱	H28	最大積載量9.2t 緊急消防援助隊無償使用車両
	5t重機	弘前重機1号車	コベルコ	H28	アタッチメント(掘削・破碎・切断・解体用つかみ) 緊急消防援助隊無償使用車両
	資機材搬送車	東支援1号車	トヨタ	R3	最大積載量0.5t
資機材搬送車	弘前資機材搬送1号車	三菱	H28	最大積載量3t	
枅形分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	R3	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H27	高規格救急車
	水槽付消防ポンプ自動車	弘前予備消防1号車	日野	H15	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	広報連絡車	広報連絡車	三菱	H17	
北分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク1号車	日野	R3	水Ⅱ型 積載水2,000L A-2級
	消防ポンプ自動車	ポンプ1号車	日野	H19	CD-I型 A-2級
	救急自動車	救急1号車	トヨタ	H28	高規格救急車
	小型特殊自動車	作業1号車	キャタピラー	H26	ミニホイールローダ

署 別	種 別	名 称	車 名	年式	摘 要
南 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H30	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	CD-I型 A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	トヨタ	R元	高規格救急車
黒石消防署	救 助 工 作 車	救助 1 号車	日 野	H24	Ⅱ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H24	水Ⅰ-B型 積載水 1,500L 圧縮空気泡消火装置付 A-2級
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	R2	CD-I型 A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	日 産	H30	高規格救急車
	指 揮 隊 車	指揮 1 号車	トヨタ	H25	
	資 機 材 搬 送 車	支援 1 号車	トヨタ	H24	最大積載量 1t
	資 機 材 搬 送 車	弘前資機材搬送2号車	三 菱	H25	最大積載量 3t 緊急消防援助隊無償使用車両
	燃 料 補 給 車	弘前燃料補給1号車	三 菱	H24	990L(軽油) 緊急消防援助隊無償使用車両
救 急 自 動 車	弘前予備救急2号車	日 産	H16	高規格救急車	
山 形 分 署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H30	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	日 産	H27	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広報連絡車	トヨタ	R3	
田舎館分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H31	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	トヨタ	R元	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広報連絡車	スバル	H16	
平川消防署	救 助 工 作 車	救助 1 号車	日 野	H27	Ⅱ型
	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H31	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	H19	CD-I型 A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	トヨタ	R3	高規格救急車
	指 揮 隊 車	指揮 1 号車	トヨタ	H26	
	資 機 材 搬 送 車	支援 1 号車	トヨタ	H27	最大積載量 1t
碓ヶ関分署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H27	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	トヨタ	R元	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広報連絡車	三 菱	H22	
板柳消防署	水槽付消防ポンプ自動車	タンク 1 号車	日 野	H27	水Ⅱ型 積載水 2,000L A-2級
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	ポンプ 1 号車	日 野	H21	CD-I型 圧縮空気泡消火装置付 A-2級
	救 急 自 動 車	救急 1 号車	トヨタ	H15	高規格救急車
	広 報 連 絡 車	広報連絡車	スバル	H30	

# 主要資機材配置状況

(令和3年4月1日現在)

所 属 品 名	合 計	弘 前 消 防 署	藤 代 分 署	西 北 分 署	西 分 署	目 屋 分 署	東 消 防 署	杣 形 分 署	北 分 署	南 分 署	黒 石 消 防 署	山 形 分 署	田 舎 館 分 署	平 川 消 防 署	碓 ヶ 関 分 署	板 柳 消 防 署
空 気 呼 吸 器	175	17	4	4	16	8	15	8	8	7	20	4	4	41	4	15
同 上 ボ ン ベ	422	80	6	10	22	18	47	23	28	21	54	17	10	48	12	26
エ ン ジ ン カ ッ タ ー	25	2	1	1	2	2	3	1	1	1	3	1	1	4	1	1
潜 水 器 具	14	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救 命 ボ ー ト	6	0	1	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0
救 命 索 発 射 銃	5	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0
マンホール救助器具	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
信 号 器 付 投 光 器	18	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1
救 命 胴 衣	183	24	7	4	22	9	34	12	8	7	15	5	5	17	3	11
酸 素 呼 吸 器	20	5	0	0	0	0	5	0	0	0	5	0	0	5	0	0
空 気 式 救 助 マ ッ ト	6	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0
防 毒 マ ス ク	41	10	0	0	5	0	5	0	0	0	9	0	2	10	0	0
耐 熱 服	15	6	0	0	0	0	5	0	0	0	2	0	0	2	0	0
エ ア ー ジ ャ ッ キ	6	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0
エ ア ー ラ イ ン マ ス ク	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
可 燃 性 ガ ス 測 定 器	23	3	1	1	2	2	2	2	1	1	2	1	1	2	1	1
画 像 探 索 機	5	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0
可 搬 ウ イ ン チ	16	2	1	1	2	0	1	1	1	0	2	0	1	3	0	1
登 山 器 具	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
酸 素 ・ ガ ス 溶 断 機	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
送 排 風 機	7	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	3	0	0
油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
削 岩 機	4	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0
ガ ス 採 取 器 (北川式)	19	2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1
放 射 線 測 定 器	12	4	0	0	0	0	2	0	0	0	5	0	0	1	0	0
放 射 線 防 護 服	8	4	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
熱 画 像 直 視 装 置	9	1	0	1	0	0	3	0	0	0	1	0	1	2	0	0
エ ア ー テ ン ト	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	1
バ ス ケ ッ ト 型 担 架	24	3	1	1	1	1	4	2	1	1	2	2	1	2	1	1
化 学 防 護 服 (陽圧式)	14	7	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5	0	0

# 林野火災対策機材保有状況

(令和3年4月1日現在)

	軽可搬消防ポンプ	可搬式散水装置	簡易水槽	チェーンソー
合 計	11 台	131 台	13 台	28 台
弘 前 消 防 署	1	14	1	2
藤 代 分 署	1	6	1	1
西 北 分 署	2	11	1	1
西 分 署		12	1	2
目 屋 分 署		8	2	2
東 消 防 署	1	12	1	3
枡 形 分 署	1	3	1	2
北 分 署		6	1	1
南 分 署		5		1
黒 石 消 防 署	1	16	2	2
山 形 分 署		9		1
田 舎 館 分 署		3		2
平 川 消 防 署	2	16	2	4
碓 ヶ 関 分 署	2	5		2
板 柳 消 防 署		5		2

# 消 防 水 利 状 況

【市町村別】

(令和3年4月1日現在)

水利種別 市町村別	合 計	消 火 栓										防 火 水 槽						
		公 設								私設	計	小計	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	100m <sup>3</sup> 以上	私設	小計
		口径 mm	75 ㄱ	100 ㄱ	125 ㄱ	150 ㄱ	200 ㄱ	300 ㄱ	500 以上				20 ㄱ	40 ㄱ	60 ㄱ			
		設置別	99	124	149	199	299	499	39				59	99				
弘前市	3,225	地上式	305	203	26	69	24	3	0	8	638	2,479	30	667	31	10	8	746
		地下式	744	483	25	365	147	70	7	0	1,841							
黒石市	708	地上式	136	170	12	113	29	17	1	3	481	481	30	174	17	0	6	227
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
平川市	841	地上式	118	200	1	178	77	15	0	1	590	590	39	196	7	1	8	251
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
藤崎町	415	地上式	105	61	1	89	13	0	0	0	269	280	26	103	3	1	2	135
		地下式	6	1	0	3	1	0	0	0	11							
板柳町	417	地上式	92	134	2	94	34	10	0	0	366	369	6	38	2	0	2	48
		地下式	0	2	0	1	0	0	0	0	3							
大鱒町	291	地上式	149	18	0	30	5	0	0	1	203	220	9	56	3	0	3	71
		地下式	10	1	0	6	0	0	0	0	17							
田舎館村	246	地上式	27	34	0	48	22	0	0	3	134	134	2	108	2	0	0	112
		地下式	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
西目屋村	97	地上式	29	0	0	0	0	0	0	1	30	33	4	60	0	0	0	64
		地下式	2	1	0	0	0	0	0	0	3							
合 計	6,240	地上式	961	820	42	621	204	45	1	17	2,711	4,586	146	1,402	65	12	29	1,654
		地下式	762	488	25	375	148	70	7	0	1,875							
		計	1,723	1,308	67	996	352	115	8	17	4,586							



# 消 防 水 利 状 況

【所属別】

(令和3年4月1日現)

水利種別 所属別	合 計		消 火 栓										防 火 水 槽							
			公 設							私設	計	小計	m <sup>3</sup> 20 以下	m <sup>3</sup> 40 以下	m <sup>3</sup> 60 以下	100m <sup>3</sup> 以上	私設	計	小計	
			口径 mm 設置別	75 以下 99	100 以下 124	125 以下 149	150 以下 199	200 以下 299	300 以下 499											500 以上
弘前消防署	734		地上式	32	13		3		2		1	51	657		59	15	2	1	-	77
			地下式	297	125		79	54	49	2		606								
藤代分署	532		地上式	64	20		3	5			2	94	377	2	148	2	1	2	-	155
			地下式	89	77	6	77	24	6	4		283								
西北分署	新和地区	94	204	地上式	10	1		1				12	124	10	22	1			33	80
	裾野地区	110		地下式	19	2	1	27				49								
				地上式	12	6			5			23								
				地下式	17	15		7	1			40			47					
西分署	546		地上式	109	109	26	46	10			1	301	406	13	124	2		1	-	140
			地下式	38	27	10	24	6				105								
目屋分署	164		地上式	31	4						1	36	65	9	90				-	99
			地下式	8	10	8	3					29								
	うち東目屋	(67)		地上式	(2)	(4)						(6)	(32)	(5)	(30)				-	(35)
				地下式	(6)	(9)	(8)	(3)				(26)								
東消防署	705		地上式	30	17		7	4			4	62	551		137	8	6	3	-	154
			地下式	186	160		102	39	1	1		489								
栴形分署	437		地上式	46	33		9		1			89	332		100	3	1	1	-	105
			地下式	92	68		46	23	14			243								
北分署	415		地上式	105	61	1	89	13				269	280	26	103	3	1	2	-	135
			地下式	6	1		3	1				11								
南分署	291		地上式	149	18		30	5			1	203	220	9	56	3		3	-	71
			地下式	10	1		6					17								
黒石消防署	620		地上式	116	155	12	103	29	17	1	1	434	434	19	148	15		4	-	186
			地下式									0								
山形分署	88		地上式	20	15		10				2	47	47	11	26	2		2	-	41
			地下式									0								
田舎館分署	246		地上式	27	34		48	22			3	134	134	2	108	2			-	112
			地下式									0								
平川消防署	平賀地区	529	749	地上式	50	138		130	59	15	1	393	530	33	92	4		7	136	219
	尾上地区	220		地下式								0								
				地上式	35	51		33	18			137		6	73	2	1	1	83	
				地下式								0								
碓ヶ関分署	92		地上式	33	11	1	15					60	60		31	1			-	32
			地下式									0								
板柳消防署	417		地上式	92	134	2	94	34	10			366	369	6	38	2		2	-	48
			地下式		2		1					3								
合 計	6,240		地上式	961	820	42	621	204	45	1	17	2,711	4,586	146	1,402	65	12	29	-	1,654
			地下式	762	488	25	375	148	70	7	0	1,875								
			計	1,723	1,308	67	996	352	115	8	17	4,586								

# 通信指令



※令和2年12月から、NET 119 緊急通報システムの運用を開始。



# 指令センターの機能について

大規模災害時にも柔軟・迅速に対応する万全の体制で臨みます。  
～大規模災害への対応～

## ■ 指令台(輻輳モード)

通常時4席で運用する指令台、指揮台は、災害規模に応じて最大9席で運用できます。

通報が集中する状況下においても的確かつ迅速に災害事案を処理できる受付体制を確立しています。



### 【通常運用時】

通常3画面(自動出動・地図・支援情報)のディスプレイを活用して、迅速かつ正確な指令管制業務を行います。

### 【輻輳時】

大地震や台風など大規模災害により通報が多発した場合、指令台を2席体制に切替え、運用を行います。

## ■ 高所監視カメラ装置

消防本部屋上に設置された高所監視カメラにより24時間管内を監視しています。

指令センター内の指令台や自動出動指定装置等と連動して災害現場などを捉え、状況を瞬時に把握します。



スムーズな現場対応をサポートする通信手段と情報収集を確保します。  
～現場活動支援の強化～

## ■ 車両運用端末装置

緊急車両に搭載され、自車位置を管理装置に送信するとともに、災害地点の付近地図や指令内容を表示します。また他の車両位置情報や水利・道路障害、病院受入といった各種支援情報、対象物の警防図面など災害活動に必要な情報も表示することができます。



## ■ 出動車両運用管理装置

災害出動中や出向中の消防車・救急車の位置情報を、人工衛星の電波を使って測位し(GPS機能)、活動状況と共に指令センターへ伝送します。

災害現場に最も近く出動できる車両を選別、最短時間での現場到着をサポートします。



# 誰もが安心して暮らせるまちを目指します。 ～住民サービスの向上～

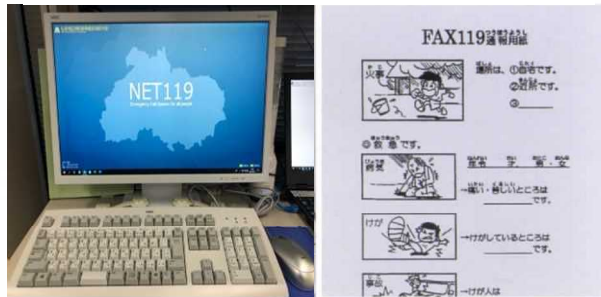
## ■ 統合型位置情報通知装置

通報者が動揺していたり、自分の居場所がわからないなど、正確な位置情報が得られない場合でも、本システムにより通報地点を素早く特定することができます。災害地点の確認がよりスムーズに行え、より迅速に現場への出動が行えます。



## ■ NET119 受信装置 / FAX119 受信装置

聴覚障がいや音声・言語機能障がいなどで音声通報が困難な方のために、スマートフォンや携帯電話、又は FAX による119番通報を受信する装置です。



## ■ 消防救急デジタル無線システム

指令システムとの連携により、指令台での無線統制や事案に応じた呼び出しなど機能が向上。現場隊員へ、より迅速・正確に情報の伝達や共有が図れるようになりました。またデジタル化により第三者からの不要な傍受を遮断、現場活動に必要な情報をより安全に通信できるようになりました。

### ● 広範囲な交信エリアを確保

小国山局、西北分署局、目屋分署局を増設することにより、広範囲な交信エリアを確保し、災害現場の隊員に必要な情報をより確実に伝達できるようになりました。



### ● 通信セキュリティの向上

消防救急無線のデジタル化により、無線通信を暗号化。第三者による不要な傍受を遮り、患者や災害住所といった個人情報や重要情報をより安全な環境で通信できるようになりました。



### 車載型移動局無線装置

消防・救急の各車両に搭載され、指令センターと無線交信を行います。



### 携帯型移動局無線装置

消防隊員が災害現場で使用する無線機です。強度な防水性を備え、悪天候での災害時でも屋外で使用可能です。



### 可搬型移動局無線装置

主に災害現場（指揮本部）で使用する可搬型の無線装置です。平常時には、卓上型としても使用できます。





# 119番通報状況（月別）

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

種別 月	合 計	火 災	救 急	救 助	警 戒	問 合 せ	訓 練	試 験	そ の 他
合 計	13,611 (5,459)	206 (140)	8,102 (3,425)	79 (66)	144 (69)	1,209 (771)	2,545 (185)	156 (13)	1,170 (790)
1 月	1,134 (485)	9 (7)	733 (293)	2 (2)	9 (4)	121 (86)	127 (13)	14 (0)	119 (80)
2 月	1,044 (413)	7 (4)	686 (269)	6 (5)	7 (5)	87 (60)	145 (8)	12 (0)	94 (62)
3 月	1,168 (465)	45 (28)	658 (277)	3 (1)	17 (5)	102 (62)	202 (11)	34 (6)	107 (75)
4 月	975 (401)	51 (36)	618 (255)	5 (5)	4 (1)	74 (40)	135 (10)	5 (0)	83 (54)
5 月	1,002 (425)	20 (16)	613 (277)	6 (6)	13 (6)	88 (50)	164 (11)	9 (0)	89 (59)
6 月	1,097 (422)	23 (19)	582 (263)	7 (6)	3 (2)	87 (54)	296 (11)	12 (0)	87 (67)
7 月	1,107 (460)	2 (2)	666 (276)	10 (7)	7 (6)	112 (73)	199 (22)	10 (0)	101 (74)
8 月	1,173 (551)	14 (4)	753 (365)	10 (8)	7 (6)	128 (80)	143 (15)	10 (0)	108 (73)
9 月	1,248 (431)	10 (7)	671 (265)	6 (6)	54 (19)	106 (63)	288 (15)	20 (3)	93 (53)
10 月	1,262 (441)	11 (8)	670 (277)	7 (5)	7 (4)	108 (71)	358 (17)	15 (3)	86 (56)
11 月	1,198 (474)	2 (1)	695 (301)	8 (8)	8 (5)	87 (64)	282 (25)	9 (1)	107 (69)
12 月	1,203 (491)	12 (8)	757 (307)	9 (7)	8 (6)	109 (68)	206 (27)	6 (0)	96 (68)

（ ）については、携帯電話による通報で内書きです。

「その他」とは、間違い、無応答、操作訓練などによる件数です。

# 119番通報状況（時間帯別）

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

種別 時間	合 計	火 災	救 急	救 助	警 戒	問 合 せ	訓 練	試 験	そ の 他
合計	13,611	206	8,102	79	144	1,209	2,545	156	1,170
0～1	268	0	193	0	3	40	1	0	31
1～2	232	6	172	0	0	27	0	0	27
2～3	196	1	141	1	2	25	0	0	26
3～4	188	3	141	1	0	23	1	0	19
4～5	200	1	143	0	0	34	0	0	22
5～6	280	10	219	2	5	29	0	0	15
6～7	433	4	342	2	4	39	3	0	39
7～8	530	5	415	4	1	39	26	0	40
8～9	825	0	502	4	2	49	208	1	59
9～10	1,219	13	540	10	46	60	459	37	54
10～11	1,181	14	498	8	17	59	493	24	68
11～12	801	19	493	4	13	40	143	12	77
12～13	634	16	395	9	4	55	67	1	87
13～14	875	13	406	3	6	64	283	32	68
14～15	992	14	398	4	8	66	414	25	63
15～16	770	23	392	6	5	63	201	13	67
16～17	642	16	395	9	5	57	84	11	65
17～18	692	21	444	4	4	73	80	0	66
18～19	623	5	426	1	3	76	40	0	72
19～20	562	3	400	2	3	75	23	0	56
20～21	466	7	331	1	2	73	5	0	47
21～22	384	4	284	2	4	53	0	0	37
22～23	317	2	225	2	4	50	3	0	31
23～24	301	6	207	0	3	40	11	0	34

「その他」とは、間違い、無応答、操作訓練などによる件数です。



## 1 1 9 番通報件数の推移（5ヶ年間）

年	種類 通報件数	内 訳		
		固定電話	携帯電話	IP 電話
平成28年	14,356	6,215	4,518	3,623
平成29年	14,132	5,892	4,583	3,657
平成30年	15,014	5,860	5,282	3,872
令和元年	14,907	5,351	5,579	3,977
令和2年	13,611	4,507	5,459	3,645

## 医療機関紹介状況（科目別・月別）

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

種別 月	合 計	内 科	外 科	小 児 科	眼 科	歯 科	耳 鼻 科	皮 膚 科	婦 人 科	精 神 科	泌 尿 器 科
合計	8,330	3,547	2,852	1,543	145	105	46	52	9	20	11
1月	1,129	529	223	323	22	16	5	6	2	1	2
2月	741	313	203	197	13	7	2	2	3	0	1
3月	598	264	165	136	14	7	8	1	0	2	1
4月	540	239	166	122	3	5	3	0	0	2	0
5月	731	301	271	122	16	14	3	2	0	2	0
6月	523	209	247	55	5	0	0	4	1	2	0
7月	652	276	258	89	9	8	5	6	0	1	0
8月	938	384	370	123	15	15	5	19	2	2	3
9月	723	274	288	104	27	11	6	10	1	2	0
10月	542	238	207	86	6	3	2	0	0	0	0
11月	557	246	224	63	8	7	4	1	0	3	1
12月	656	274	230	123	7	12	3	1	0	3	3

## 医療機関紹介状況（5ヶ年間）

年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
件 数	13,803	10,879	10,795	10,287	8,330

# 火 災



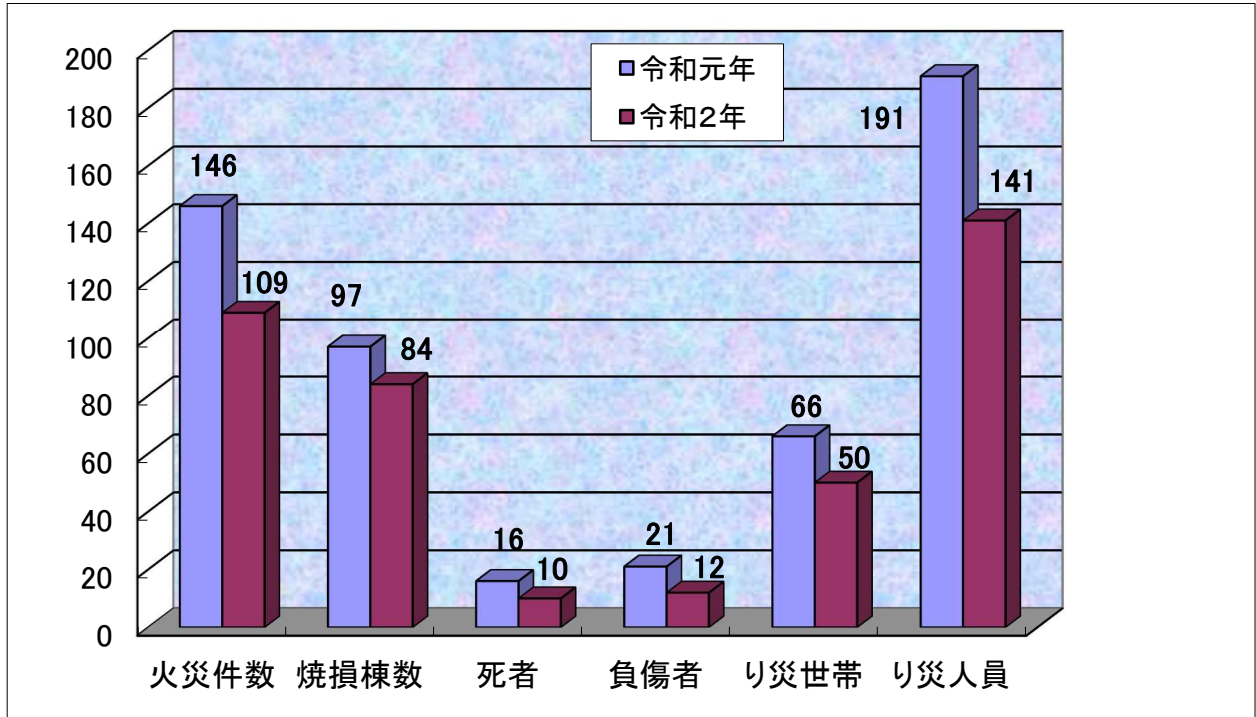


## 令和2年における火災概要

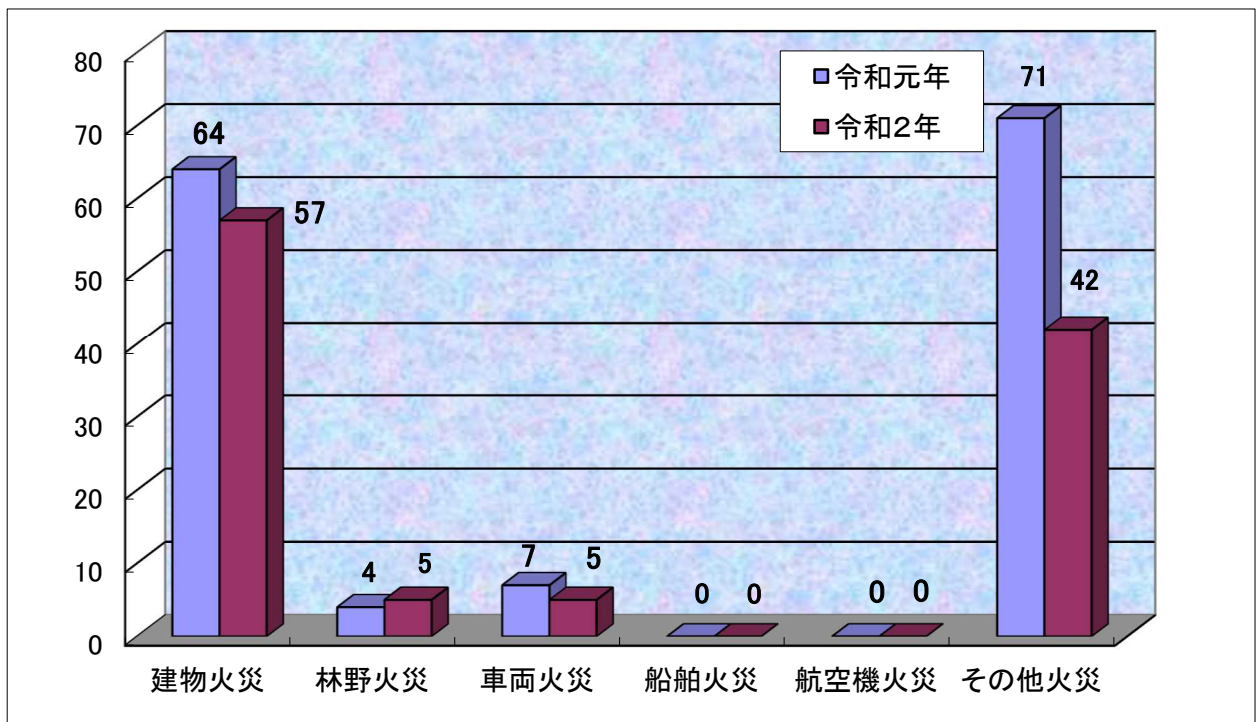
令和2年（1月～12月）における当事務組合管内の火災件数は109件で、前年に比べ37件減少した。火災種別ごとでは、建物火災57件（前年64件）、林野火災5件（前年4件）、車両火災5件（前年7件）、その他の火災42件（前年71件）となっている。死者は10人（前年16人）、負傷者12人（前年21人）となっている。

区 分	令和2年（A）	令和元年（B）	増減（C） 「（A）－（B）」
火 災 件 数（件）	109	146	△37
建 物	57	64	△7
林 野	5	4	1
車 両	5	7	△2
船 舶	0	0	0
航 空 機	0	0	0
そ の 他	42	71	△29
焼 損 棟 数（棟）	84	97	△13
全 焼	22	31	△9
半 焼	10	8	2
部 分 焼	21	22	△1
ぼ や	31	36	△5
建物焼損床面積（㎡）	3,180	4,744	△1,564
建物焼損表面積（㎡）	93	369	△276
林野焼損面積（a）	129	66	63
死 者（人）	10	16	△6
負 傷 者（人）	12	21	△9
り 災 世 帯 数 （世帯）	50	66	△16
全 損	15	21	△6
半 損	4	6	△2
小 損	31	39	△8
り 災 人 員（人）	141	191	△50
損 害 額（千円）	171,684	211,236	△39,552
建 物	163,021	204,649	△41,628
林 野	2,880	3,426	△546
車 両	1,310	1,873	△563
船 舶	0	0	0
航 空 機	0	0	0
そ の 他	4,473	1,288	3,185

## 火災の概況



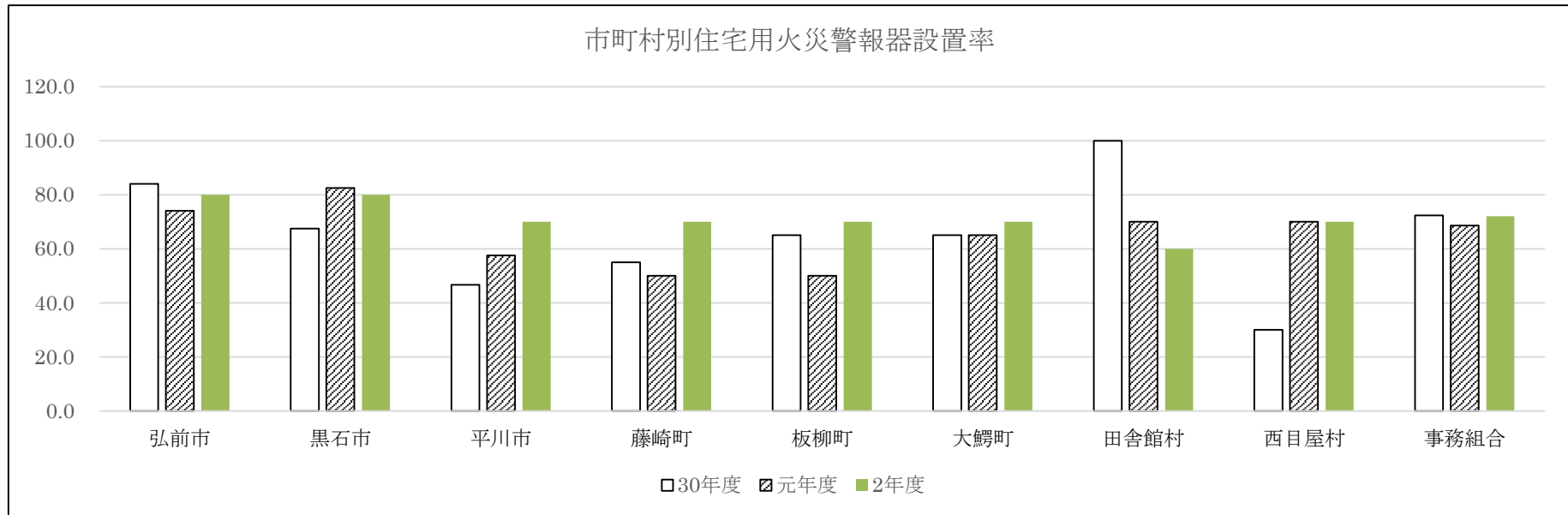
## 火災の種別



# 住宅用火災警報器の普及

構成市町村における、住宅用火災警報器の設置調査の結果、設置率は72.0%となっています。

年度		構成市町村								計
		弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村	
2	調査世帯数	20	10	20	10	10	10	10	10	100
	設置世帯数	16	8	14	7	7	7	6	7	72
	設置率	80.0%	80.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	60.0%	70.0%	72.0%
元	調査世帯数	120	40	40	20	20	20	20	20	300
	設置世帯数	89	33	23	10	10	13	14	14	206
	設置率	74.1%	82.5%	57.5%	50.0%	50.0%	65.0%	70.0%	70.0%	68.6%
30	調査世帯数	150	40	30	20	20	20	10	10	300
	設置世帯数	126	27	14	11	13	13	10	3	217
	設置率	84.0%	67.5%	46.7%	55.0%	65.0%	65.0%	100%	30%	72.3%



## 市町村別火災件数等の推移（5ヶ年間）

区分 市町村別	年 別	火災件数					焼損棟数					り災状況			死傷者			焼損面積		損害額（千円）					
		計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その 他の 火災	計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	計	世帯数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	その 他の 火 災
													全 損	半 損	小 損										
弘前市	28年	48	33		5	10	67	22	2	24	19	49	22	1	26	117	3(1)	10	3,331		176,036	174,865		1,035	136
	29年	41	33	1	5	2	56	17	6	17	16	37	10	6	21	98	1	11(1)	3,309	11	144,045	137,872	208	5,014	951
	30年	41	28	1	3	9	42	14	3	7	18	25	8	1	16	83	4(1)	9(1)	1,910	19	147,776	147,013	414	346	3
	元年	92	45	3	5	39	71	24	5	13	29	49	16	5	28	145	12(5)	15	3,506	27	175,406	173,860	22	868	656
	2年	50	26	1	3	20	43	9	4	10	20	28	8	1	19	82	6(1)	6(1)	1,813	12	95,645	92,908	335	173	2,229
黒石市	28年	13	10	1		2	11	2	1	1	7	6	1		5	22		1	210	165	5,769	5,284	485		
	29年	16	9	1	2	4	14	3		4	7	6	2		4	15	1(1)		561	18	34,086	32,092	29	1,760	205
	30年	12	6		2	4	13	5	1	7		13	7		6	26	3(1)	3	960		22,035	21,772		151	112
	元年	14	7		1	6	7	1	1	3	2	6	2		4	17	2(1)	3	478		9,706	9,209		80	417
	2年	13	10			3	14	7	1	2	4	6	1	1	4	11		3	270		4,406	4,366		40	
平川市	28年	10	7		1	2	13	3	1	3	6	5	2		3	11		1	596		9,282	9,218			64
	29年	13	10		1	2	12	4	1	5	2	8	3	1	4	21		2	671		26,468	25,808		276	384
	30年	6	5		1		6	4			2	2	2			8		1	376		9,416	9,320		96	
	元年	19	6	1	1	11	7	1	1	2	3	4		1	3	9	1(1)	1	75	39	10,660	6,316	3,404	925	15
	2年	21	9	3	2	7	11	4	1	4	2	6	3	1	2	15	1(1)	2	557	63	39,374	36,301	1,976	1,097	
藤崎町	28年	1	1				3	1		1	1	1	1			6	1		248		6,214	6,214			
	29年																								
	30年	8	5		2	1	6	1		1	4	3	1		2	6		1	584		20,352	18,152		2,200	
	元年	3	1			2	1	1											130		2,768	2,768			
	2年	3	1			2	1				1														

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

区分 市町村別	年 別	火災件数					焼損棟数				り災状況			死傷者			焼損面積		損害額 (千円)					
		計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	計	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	世帯数			人 員	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	計	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災
												全 損	半 損	小 損										
板柳町	28年	5	2		3		2	1		1						1	177		15,933	13,535		2,398		
	29年	2	2				4	1	1	2		3	1	1	1	8	2	257		5,321	4,274		1,047	
	30年	7	3		2	2	3	1	1	1		2		2		7	1	194		8,282	7,921		359	2
	元年	8	3			5	8	3	1	3	1	4	2		2	13		740		7,438	7,438			
	2年	7	4			3	4			1	3	2			2	11		3		5,223	3,071			2,152
大鰐町	28年	1				1									1	1								
	29年	3	3				5	2		2	1	3	1		2	12		3	260		6,042	6,038		4
	30年	5	2	1		2	2	1		1		1			3		9	27	480	34	445		1	
	元年	5	1			4	2	1		1		2	1		1	4		184		5,057	5,057			
	2年	10	5	1		4	7	1	2	3	1	7	3	1	3	18	2	477	54	21,726	21,065	569		92
田舎館村	28年	5	2			3	2			1	1	2		2		7		2	17		2,720	2,698		22
	29年	3	1			2	1				1	1			1	2		1		281	270			11
	30年	4	2		1	1	2		2			2	2		4		1	158		12,596	11,896		700	
	元年	5	1			4	1				1	1			1	3	1			201	1			200
	2年	3	2			1	4	1	2	1		1			1	4	1(1)	1	153		5,310	5,310		
西目屋村	28年																							
	29年	1	1				1			1		1			4		1	27		2,414	2,414			
	30年	1			1															600			600	
	元年																							
	2年	2				2																		

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数



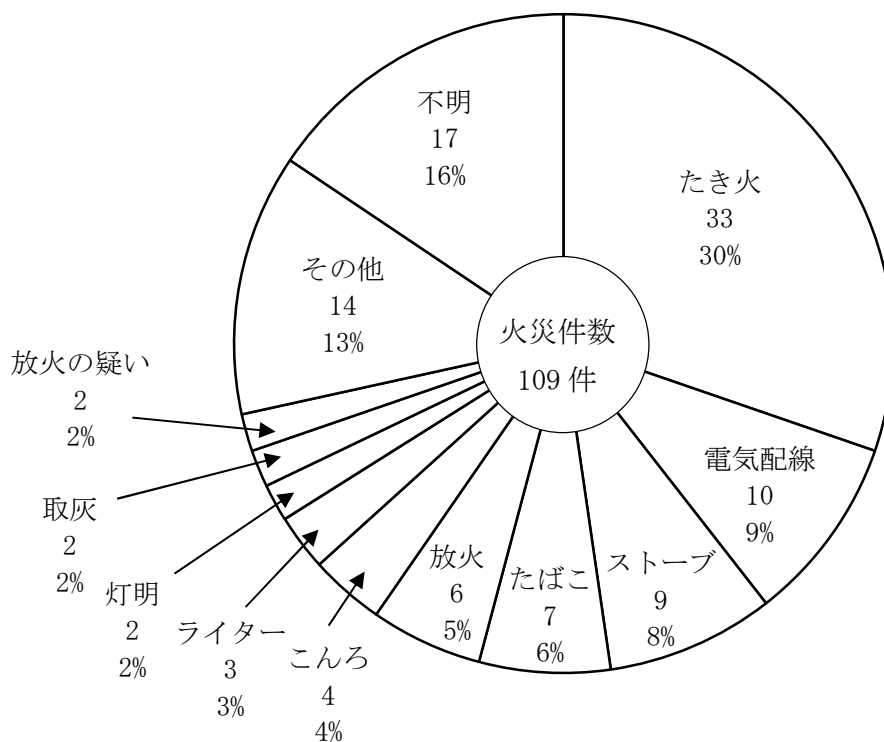
## 管内火災件数等の推移（5ヶ年間）

区分 年別	火災件数					焼損棟数					り災状況			死傷者		焼損面積		損害額（千円）						
	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	世帯数			人	死	負傷者	建物 (㎡)	林野 (a)	計	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災
												全損	半損	小損										
28年	83	55	1	9	18	98	29	4	31	34	63	26	3	34	163	5 (1)	16	4,579	165	215,954	211,814	485	3,433	222
29年	79	59	2	8	10	93	27	8	31	27	59	17	8	34	160	2 (1)	19 (1)	5,086	29	218,657	208,768	237	7,050	2,602
30年	84	51	2	12	19	74	26	7	17	24	48	20	3	25	137	7 (2)	16 (1)	4,191	46	221,537	216,108	859	4,452	118
元年	146	64	4	7	71	97	31	8	22	36	66	21	6	39	191	16 (7)	21	5,113	66	211,236	204,649	3,426	1,873	1,288
2年	109	57	5	5	42	84	22	10	21	31	50	15	4	31	141	10 (3)	12 (1)	3,273	129	171,684	163,021	2,880	1,310	4,473

※ 死傷者欄中の（ ）内は放火自殺者数

# 出火原因の状況

火災件数109件の出火原因は、たき火によるものが件と最も多く、次いで、電気配線、ストーブの順となっている。



令和2年	
原因別	火災件数
たき火	33
電気配線	10
ストーブ	9
たばこ	7
放火	6
こんろ	4
ライター	3
灯明	2
取灰	2
放火の疑い	2
その他	14
不明	17

令和元年	
原因別	火災件数
たき火	58
放火の疑い	18
たばこ	9
ストーブ	7
放火	5
こんろ	5
電気配線	4
スパーク	3
灯明	2
電池	2
その他	17
不明	16

平成30年	
原因別	火災件数
たき火	18
ストーブ	11
たばこ	6
放火	4
こんろ	4
放火の疑い	3
ハンドトーチ	3
電気機器	3
ローソク	2
マッチ・ライター	2
その他	17
不明	11

平成29年	
原因別	火災件数
たき火	13
ストーブ	10
電気配線	8
放火	6
放火の疑い	6
こんろ	3
電気機器	3
ボイラー	2
取灰	2
たばこ	2
その他	17
不明	7

## 月別発生状況

火災件数は109件で、月ごとにみると3月が25件と最も多く、2月が4件と最も少なくなっている。

区分 月別	火 災 件 数	火 災 の 種 別				焼 損 棟 数	建 物 焼 損 面 積	林 野 焼 損 面 積	り 災 世 帯 数	り 災 人 員	死 者 数	負 傷 者 数	損 害 額
		建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災								
合計	109 件	57 件	5 件	5 件	42 件	84 棟	3,273 m <sup>2</sup>	129 a	50 世帯	141 人	10 人	12 人	171,684 千円
1月	6	5		1		7	404		5	13	2		17,313
2月	4	4				5	228		2	3	1	1	3,344
3月	25	8		1	16	17	361		9	26	1	5	12,450
4月	20	11		1	8	15	570		8	29	3	2	23,520
5月	9	1	4	1	3	1		115	1	1		1	2,573
6月	10	4			6	7	522		5	10			17,441
7月	5	3			2	3	8		2	5			917
8月	7	5			2	6	538		3	11			71,452
9月	5	3		1	1	3	68		1	6			949
10月	5	5				5	55		2	6	1		2,964
11月	5	1	1		3	1		14	1	2		2	526
12月	8	7			1	14	519		11	29	2	1	18,235

## 市町村別、月別の火災件数

火災件数109件中、弘前市が50件で45.9%を占め、次いで、平川市が21件で19.3%、黒石市が13件で11.9%となっている。

市町村別 月別	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計 (件)	109	50	13	21	3	7	10	3	2
1月	6	3		2	1				
2月	4	1		2			1		
3月	25	12	2	7		2	1	1	
4月	20	8	5	2	1	2	1		1
5月	9	3	1	2	1		2		
6月	10	5	2	1		1	1		
7月	5	2				1	1		1
8月	7	4		3					
9月	5	4	1						
10月	5	2		1		1	1		
11月	5	2	1	1			1		
12月	8	4	1				1	2	

## 市町村別、曜日別の火災件数

火災件数109件中、日曜日の発生が20件と最も多く、木曜日及び金曜日の発生が12件と少なくなっている。

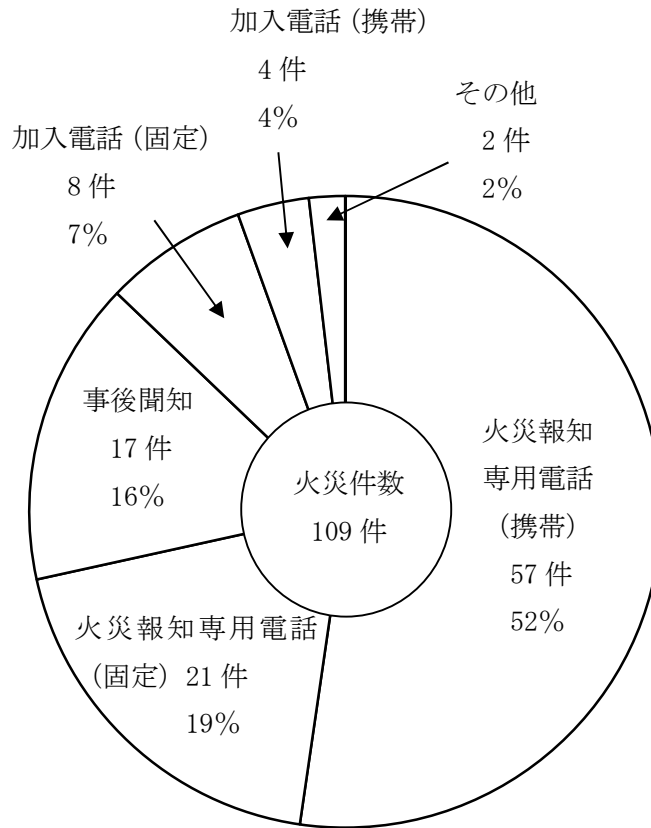
市町村別 月別	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計 (件)	109	50	13	21	3	7	10	3	2
日	20	7	1	4		2	4	2	
月	15	10		3	1		1		
火	18	6	4	4		2	1	1	
水	16	7	2	3	1	1	2		
木	12	6	2	3					1
金	12	6	1	3		1	1		
土	16	8	3	1	1	1	1		1
不明	0								

## 市町村別、時間帯別の火災件数

時間帯別の火災発生状況は、12時から14時の間が最も多くなっている。

市町村別 時間帯	火災 件数	弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	板柳町	大鰐町	田舎館村	西目屋村
合計 (件)	109	50	13	21	3	7	10	3	2
0～2	4	1	1	1			1		
2～4	4	3					1		
4～6	5	3		2					
6～8	6	4	1			1			
8～10	10	2	1	1	1	2	2	1	
10～12	18	6	1	6	1	1	3		
12～14	20	6	4	5	1	1	2		1
14～16	16	10	1	2		1		1	1
16～18	11	6	1	3		1			
18～20	3	2		1					
20～22	4	3					1		
22～24	5	4	1						
不明	3		2					1	

# 覚知別火災件数



市町村別	火災件数	火災報知専用電話		加入電話		駆付け	事後聞知	その他
		固定	携帯	固定	携帯			
合計(件)	件 (IP) 109 (4)	件 (IP) 21 (4)	件 57	件 8	件 4	件	件 17	件 2
弘前市	50 (2)	8 (2)	25	4	2		9	2
黒石市	13	1	9	1			2	
平川市	21	5	10	2	2		2	
藤崎町	3	1	2					
板柳町	7 (1)	2 (1)	2				3	
大鱈町	10 (1)	3 (1)	6				1	
田舎館村	3	1	1	1				
西目屋村	2		2					

※ IP電話とは、インターネット回線を利用した電話のこと。

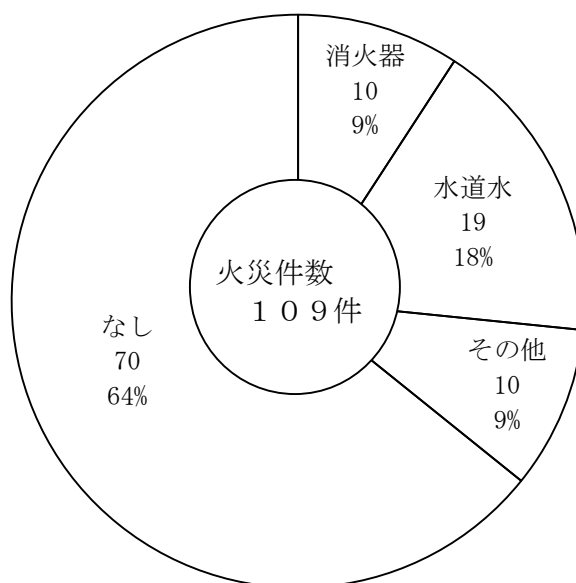
## 火災種別ごとの初期消火状況

火災件数109件中、初期消火が実施された火災は39件（建物火災23件、林野火災2件、車両火災2件、その他の火災12件）で、使用された器具等は消火器が10件（建物火災6件、車両火災2件、その他の火災2件）、水道水が19件（建物火災13件、林野火災1件、その他の火災5件）となっている。

初期消火が実施された火災で、消火に成功した件数は18件（建物火災13件、車両火災1件、その他の火災4件）である。

区分 火災種別	火災 件数 件	初期消火実施件数					初期消火成功件数					初期消火なし	
		計 件	内 訳			実施率	計 件	内 訳			成功率	計 件	未実施率
			消火器 件	水道水 件	その他 件			消火器 件	水道水 件	その他 件			
合 計	109	39	10	19	10	35.8	18	5	11	2	46.1	70	64.2
建物火災	57	23	6	13	4	40.4	13	3	9	1	56.5	34	59.6
林野火災	5	2		1	1	40.0						3	60.0
車両火災	5	2	2			40.0	1	1			50.0	3	60.0
その他の火災	42	12	2	5	5	28.6	4	1	2	1	33.3	30	71.4

## 初期消火の状況



# 救 急







## 救急業務の概況

令和2年中の組合管内の出動件数は、9,962件、搬送人員は9,064人で前年に比べ、出動件数が844件(7.8%)減少し、搬送人員が796人(8.1%)減少している。

このことは、管内で一日平均27.3件、約52.7分に1回の割合で救急隊が出動し、管内人口の約30人に1人が救急隊によって医療機関等へ搬送されたことを示している。

救急出動件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、出動件数では第1位が急病によるもので6,268件、第2位が一般負傷1,477件、第3位が転院搬送1,370件、第4位が交通事故501件となっている。また、搬送人員では第1位が急病5,663人、第2位が一般負傷1,377人、第3位が転院搬送1,370人、第4位が交通事故472人となっている。

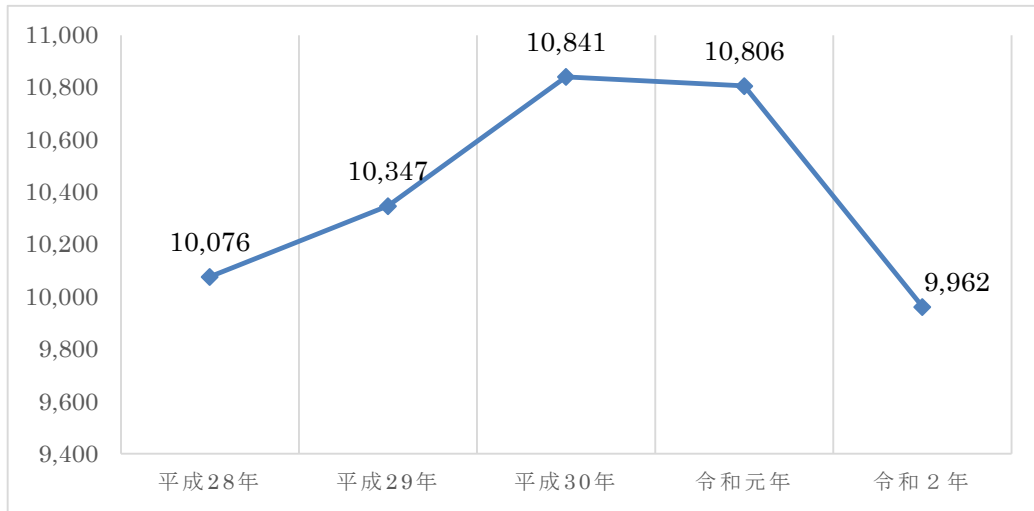
搬送された9,064人の傷病程度の内訳は、死亡249人(2.7%)、重症1,801人(19.9%)、中等症4,069人(44.9%)、軽症2,933人(32.4%)、その他が12人(0.1%)となっている。

医療機関等へ搬送された9,064人のうち、98.5%にあたる8,932人が組合の管轄内の医療機関へ、残りの1.5%にあたる132人が管轄外の医療機関へ搬送されている。

## 署別救急出動件数の比較(対前年比)

署別	件数 年別	件 数		増 減
		令和2年	令和元年	
合 計		9,962	10,806	△ 844
弘 前 消 防 署		1,576	1,698	△ 122
藤 代 分 署		997	1,084	△ 87
西 北 分 署		254	248	6
西 分 署		540	570	△ 30
目 屋 分 署		90	113	△ 23
東 消 防 署		1,403	1,452	△ 49
枡 形 分 署		1,517	1,663	△ 146
南 分 署		437	438	△ 1
北 分 署		488	581	△ 93
黒 石 消 防 署		953	1,012	△ 59
田 舎 館 分 署		349	404	△ 55
山 形 分 署		121	147	△ 26
平 川 消 防 署		669	710	△ 41
碓 ヶ 関 分 署		129	141	△ 12
板 柳 消 防 署		439	545	△ 106

## 救急出動件数の推移（5ヶ年間）



年 別	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
出 件 動 数	10,076	10,347	10,841	10,806	9,962
対 前 年 増 減	29	271	494	△ 35	△ 844

## 市町村別救急出動件数の比較（対前年比）

市町村別 年別	合	弘	黒	平	藤	板	大	田	西	高	管
	計	前 市	石 市	川 市	崎 町	柳 町	鰐 町	舎 館 村	目 屋 村	速 道 路	外
令和2年	9,962	6,470	1,113	970	409	383	354	214	45	4	0
令和元年	10,806	6,931	1,172	1,054	517	479	334	254	57	8	0
増減	△844	△461	△57	△84	△108	△96	20	△40	△12	△4	0

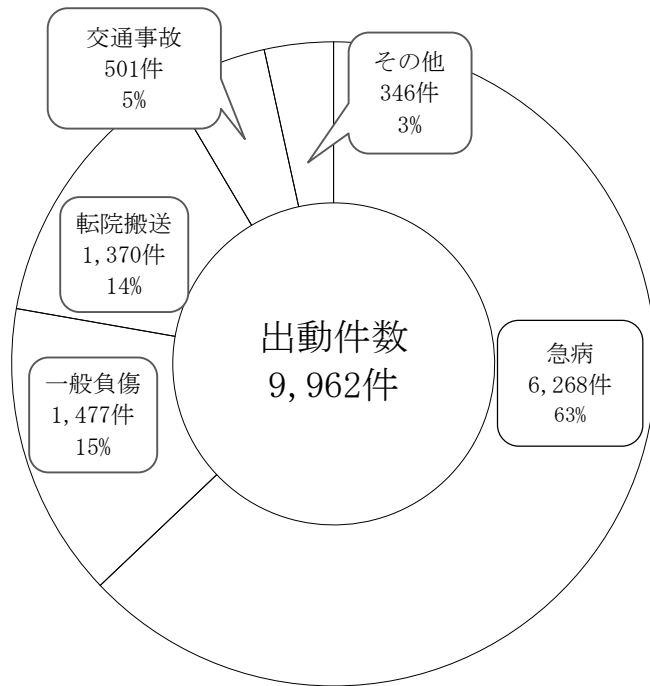
## 市町村別、事故種別救急出動件数及び搬送人員

市町村別	区分	合計	事故種別										その他		
			火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	転	医	そ
			災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	院	師	の
合計	出動件数	9,962	67			501	67	35	1,477	19	102	6,268	1,370	14	42
	搬送人員	9,064	8			472	64	36	1,377	15	59	5,663	1,370		
弘前市	出動件数	6,470	28			295	42	28	962	18	69	3,908	1,086	5	29
	搬送人員	5,898	3			275	41	28	895	14	40	3,515	1,087		
黒石市	出動件数	1,113	9			51	10	2	152	1	7	750	123	4	4
	搬送人員	1,009	2			46	10	2	138	1	2	686	122		
平川市	出動件数	970	12			60	8	4	154		13	687	27		5
	搬送人員	882	2			60	6	5	145		10	627	27		
藤崎町	出動件数	409	3			38	1	1	43		5	258	59		1
	搬送人員	372				36	1	1	40		2	233	59		
板柳町	出動件数	383	6			18	2		59		1	248	47	1	1
	搬送人員	339				13	2		56			221	47		
大鰐町	出動件数	354	6			14	2		62		4	249	13	3	1
	搬送人員	326				15	2		61		3	232	13		
田舎館村	出動件数	214	3			20	2		37		2	134	15		1
	搬送人員	194	1			23	2		34		1	118	15		
西目屋村	出動件数	45				1			8		1	34		1	
	搬送人員	41				1			8		1	31			
高速道路	出動件数	4				4									
	搬送人員	3				3									
管外	出動件数														
	搬送人員														

## 署別、事故種別救急業務実施状況

署別	事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
	区分	合計											転院搬送	医師搬送	その他
合計	出動件数	9,962	67			501	67	35	1,477	19	102	6,268	1,370	14	42
	搬送人員	9,064	8			472	64	36	1,377	15	59	5,663	1,370		
弘前消防署	出動件数	1,576	8			77	2	11	227	8	17	911	296	9	10
	搬送人員	1,419				72	2	11	212	6	7	813	296		
藤代分署	出動件数	997	9			43	18	2	148	2	6	651	112		6
	搬送人員	897	1			37	17	2	140	2	4	582	112		
西北分署	出動件数	254				10	1	2	48	1	2	186	4		
	搬送人員	231				9	1	2	45		2	168	4		
西分署	出動件数	540	1			19	6	4	96		18	361	33		2
	搬送人員	487	1			17	6	4	83		12	331	33		
目屋分署	出動件数	90	1			3			15		1	70			
	搬送人員	82				4			14		1	63			
東消防署	出動件数	1,403	6			75	8	6	178	1	16	765	339		9
	搬送人員	1,300	1			70	8	6	167	1	10	698	339		
枳形分署	出動件数	1,517	14			61	7	3	222	6	8	906	287		3
	搬送人員	1,378	1			58	7	3	204	5	5	807	288		
南分署	出動件数	437	1			26	5		67		8	300	27		3
	搬送人員	403				29	4		68		5	270	27		
北分署	出動件数	488	3			41	1	1	61		5	305	70		1
	搬送人員	445				41	1	1	59		2	271	70		
黒石消防署	出動件数	953	9			46	7	2	131	1	2	646	103	2	4
	搬送人員	861	1			38	7	2	119	1		591	102		
田舎館分署	出動件数	349	2			22	3		54		6	236	26		
	搬送人員	316	1			24	3		48		5	209	26		
山形分署	出動件数	121				6	2	1	22		2	85	3		
	搬送人員	110				5	2	1	21			78	3		
平川消防署	出動件数	669	13			47	5	3	113		9	453	21	2	3
	搬送人員	614	2			46	4	4	107		5	425	21		
碓ヶ関分署	出動件数	129				3	1		25		1	91	7	1	
	搬送人員	122				3	1		24		1	86	7		
板柳消防署	出動件数	439				22	1		70		1	302	42		1
	搬送人員	399				19	1		66			271	42		

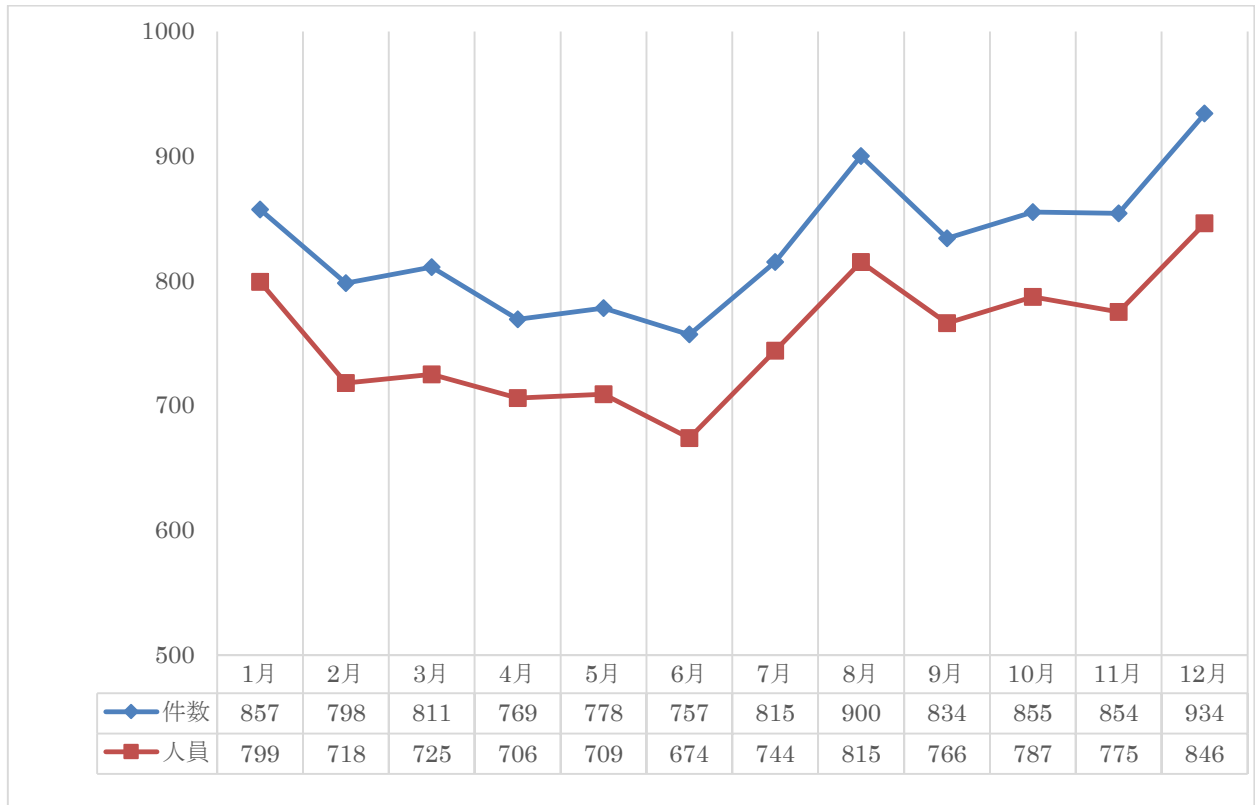
## 事故種別救急出動件数



その他 346 件の内訳

- |        |       |
|--------|-------|
| 1 火災   | 67 件  |
| 2 自損行為 | 102 件 |
| 3 運動競技 | 35 件  |
| 4 労働災害 | 67 件  |
| 5 その他  | 42 件  |
| 6 加害   | 19 件  |
| 7 医師搬送 | 14 件  |

## 月別救急出動件数及び搬送人員



## 事故種別、覚知方法別出動件数

事故種別 覚知別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	9,962	67			501	67	35	1,477	19	102	6,268	1,426
自己覚知	11	1			2			2			1	5
専用電話	8,148	56			361	65	34	1,386	11	71	5,935	229
加入電話	1,703	9			135	1	1	65	8	31	275	1,178
駆け付け	89	1			1	1		24			56	6
警察電話	1										1	
その他	10				2							8

## 現場到着所要時間別出動件数

現場到着所要時間 事故種別	合計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均所要時間 (分)
合計	9,962	157	1,216	6,596	1,884	109	8.1
急病	6,268	76	643	4,286	1,225	38	8.0
交通	501	3	69	303	107	19	8.9
一般負傷	1,477	24	174	942	314	23	8.3
その他	1,716	54	331	1,064	238	29	7.3

## 収容所要時間別、事故種別搬送人員

収容所要時間 事故種別	合計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	平均所要時間 (分)
合計	9,064	2	208	2,143	6,163	533	15	37.8
急病	5,663		43	1,056	4,221	337	6	39.3
交通	472		5	76	360	31		40.4
一般負傷	1,377		13	282	976	101	5	40.3
その他	1,552	2	147	729	606	64	4	31.3

## 事故種別、年齢区分別、傷病程度別搬送人員

年齢区分	事故種別 傷病程度	事故種別											
		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合 計	死 亡	249				1			18		11	217	2
	重 症	1,801	1			27	10	2	204		4	1,025	528
	中 等 症	4,069	3			125	30	14	555	4	29	2,525	784
	軽 症	2,933	4			319	24	20	598	11	15	1,890	52
	そ の 他	12							2			6	4
	計	9,064	8			472	64	36	1,377	15	59	5,663	1,370
新 生 児	死 亡	1										1	
	重 症	3											3
	中 等 症	15										1	14
	軽 症												
	そ の 他												
	計	19										2	17
乳 幼 児	死 亡												
	重 症	4										1	3
	中 等 症	54				2			5			34	13
	軽 症	151				12			40			96	3
	そ の 他												
	計	209				14			45			131	19
少 年	死 亡												
	重 症	8				1			2		1	4	
	中 等 症	67				5		7	11		6	25	13
	軽 症	117				24		16	21		5	49	2
	そ の 他												
	計	192				30		23	34		12	78	15
成 人	死 亡	38							4		5	29	
	重 症	321	1			10	9	1	24		2	148	126
	中 等 症	937	2			58	23	5	99	2	20	524	204
	軽 症	1,063	1			166	18	4	124	10	8	715	17
	そ の 他	5							1			3	1
	計	2,364	4			234	50	10	252	12	35	1,419	348
高 齢 者	死 亡	210				1			14		6	187	2
	重 症	1,465				16	1	1	178		1	872	396
	中 等 症	2,996	1			60	7	2	440	2	3	1,941	540
	軽 症	1,602	3			117	6		413	1	2	1,030	30
	そ の 他	7							1			3	3
	計	6,280	4			194	14	3	1,046	3	12	4,033	971

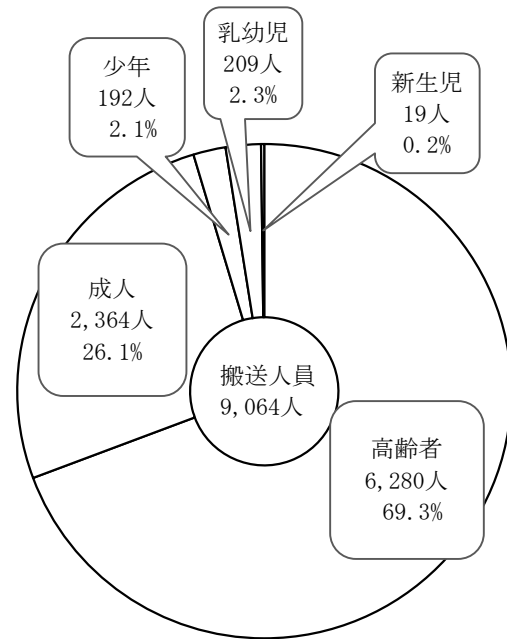
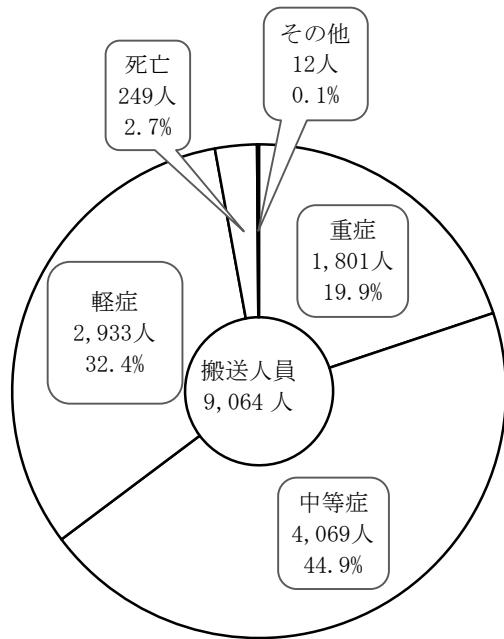
※○新生児・・・・・・生後 28 日未満  
 ○乳幼児・・・・・・生後 28 日以上満 7 歳未満  
 ○少年・・・・・・満 7 歳以上満 18 歳未満  
 ○成人・・・・・・満 18 歳以上満 65 歳未満  
 ○高齢者・・・・・・満 65 歳以上

※○死 亡・・・・・・初診時において死亡が確認されたもの  
 ○重 症・・・・・・3 週間以上の入院加療を必要とするもの  
 ○中等症・・・・・・入院を要するもので重症に至らないもの  
 ○軽 症・・・・・・入院加療を必要としないもの  
 ○その他・・・・・・医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの  
 (傷病程度は、初診時における医師の判断に基づく)



## 傷病程度別搬送人員

## 年齢区分別搬送人員



※○死 亡…初診時において死亡が確認されたもの  
 ○重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの  
 ○中等症…入院を要するもので重症に至らないもの  
 ○軽 症…入院加療を必要としないもの  
 ○その他…医師の診断がないもの、その他の場所へ搬送したもの  
 (傷病程度は、初診時における医師の診断に基づく)

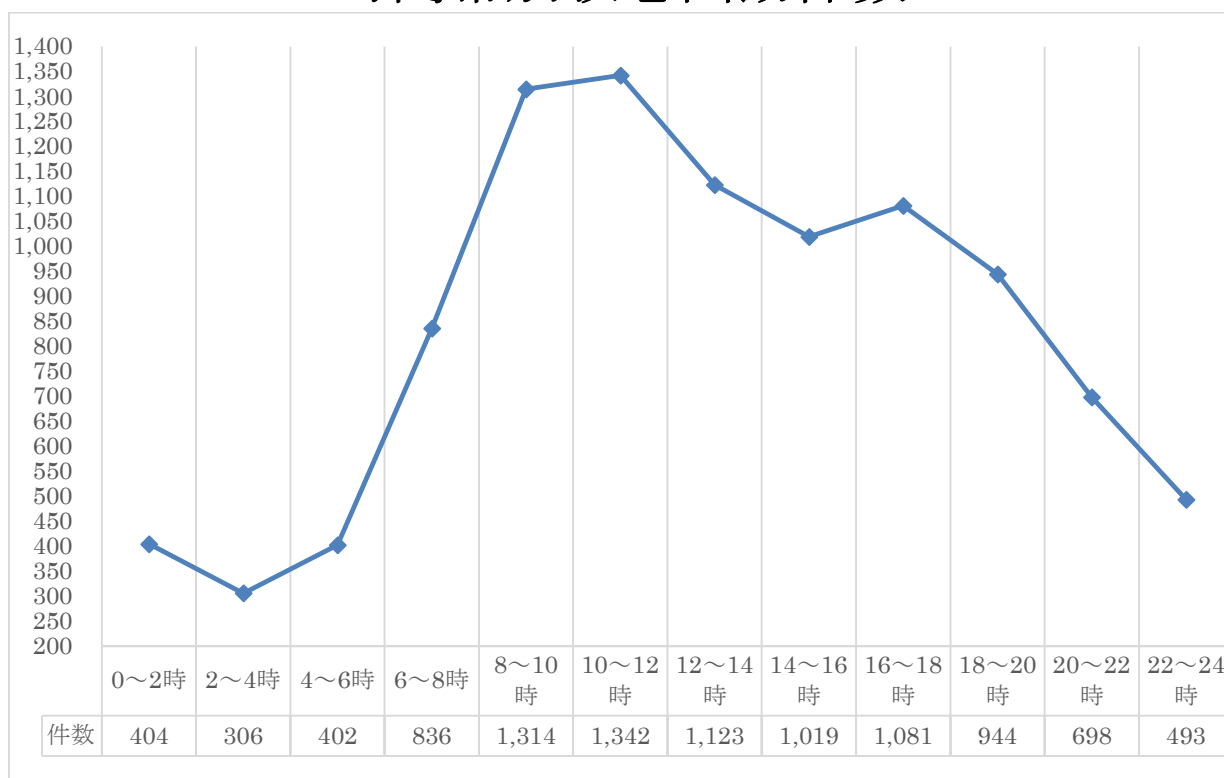
※○新生児…生後28日未満  
 ○乳幼児…生後28日以上満7歳未満  
 ○少 年…満7歳以上満18歳未満  
 ○成 人…満18歳以上満65歳未満  
 ○高齢者…満65歳以上

## 発生場所別搬送人員

発生場所 事故種別	発生場所					
	合 計	住 宅	公 衆 出 入 場 所	仕 事 場	道 路	そ の 他
合 計	9,064	4,906	2,995	189	784	190
急 病	5,663	4,036	1,274	119	169	65
交 通	472	2	15		449	6
一 般 負 傷	1,377	803	287	21	159	107
そ の 他	1,552	65	1,419	49	7	12

※ 住 宅…一般住宅及び高層住宅等で住居として使用している場所  
 公衆出入場所…多数の人が集まる場所  
 仕 事 場…工場、作業所、各種事業所等の仕事をしている場所  
 道 路…一般道路、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋等  
 そ の 他…公園、広場、空地等及び発生場所不明

## 時間帯別救急出動件数



## 応急手当の普及啓発活動の状況

令和2年中における地域住民を対象とした応急手当の方法等についての講習会は64回で、受講人員は、1,121名となっている。

(普通救命講習34回、390名が受講、上級救命講習2回、61名が受講)

また、昭和57年から、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む一週間を「救急医療週間」と定め、全国的にこの趣旨に沿った行事が行われている。

講習区分	上級救命講習	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅲ	救命入門コース	その他の講習
実施回数	2回	32回	2回	21回	7回
受講人数	61名	377名	13名	467名	203名

# 津軽圏域救急告示医療機関一覧表

(令和3年4月1日現在)

医療機関名	所在地	電話
○弘前大学医学部附属病院	弘前市大字 本町53番地	0172-33-5111
○独立行政法人国立病院機構弘前病院	弘前市大字 富野町1番地	0172-32-4311
○弘前市立病院	弘前市大字 大町三丁目8番地1	0172-34-3211
○津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字 扇町二丁目2番地2	0172-55-7717
○医療法人元秀会 弘前小野病院	弘前市大字 和泉二丁目19番地1	0172-27-1431
財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	弘前市大字 扇町一丁目2番地1	0172-28-8220
医療法人弘愛会 弘愛会病院	弘前市大字 宮川三丁目1番地4	0172-33-2871
医療法人北桜会 弘前メディカルセンター	弘前市大字 大町二丁目2番地9	0172-35-1511
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会 鳴海病院	弘前市大字 品川町19番地	0172-32-5211
一般財団法人医療と育成のための研究会 清明会 弘前中央病院	弘前市大字 吉野町3番地1	0172-36-7111
国民健康保険 黒石病院	黒石市北美町一丁目70番地	0172-52-2121
国民健康保険 板柳中央病院	北津軽郡板柳町 大字灰沼字岩井74番地2	0172-73-3231
医療法人ときわ会 ときわ会病院	南津軽郡藤崎町 大字榊字亀田2番地1	0172-65-3771
町立大鰐病院	南津軽郡大鰐町 大字蔵館字川原田40番地4	0172-48-2211

※ ○は、第二次輪番制参加病院等協議会参加病院を示す。

救急医療体制は、初期救急、二次救急、三次救急で構築されています。

初期救急医療は、入院治療の必要がなく外来診療を行う救急医療で弘前市急患診療所や休日在宅医が担っています。

入院救急医療とは、県が認定した救急医療機関が担っており、その中で、上記○印第二次輪番制参加病院等協議会参加病院である5病院が、休日・夜間において入院・手術を必要とする患者の内科・外科診療を毎月当番制で対応しております。また、入院救急医療で対応できない重篤な患者を弘前大学医学部附属病院高度救命救急センターが担っております。

※ 体制時間について

○初期救急医療

・弘前市急患診療所：内科、小児科（平日・土曜日19時～22時30分）（日曜・祝日10時～16時19時～22時30分）  
外科（日曜・祝日10時～16時）

・休日在宅：内科（日曜・祝日9時～12時）耳鼻科・眼科・歯科（日曜・祝日10時～16時）

○入院救急医療：第二次輪番制参加病院等協議会参加病院

○三次救急医療：弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター

# 津軽地域小児救急病院等一覧表

(令和3年4月1日現在)

医療機関名	所在地	電話
弘前市急患診療所	弘前市大字野田二丁目7番地1	0172-34-1131
○独立行政法人国立病院機構弘前病院	弘前市大字富野町1番地	0172-32-4311
○独立行政法人国立病院機構青森病院	青森市浪岡大字女鹿沢 字平野155番地	0172-62-4055
弘前市立病院	弘前市大字大町三丁目8番地1	0172-34-3211
○津軽保健生活協同組合 健生病院	弘前市大字扇町二丁目2番地2	0172-55-7717
弘前大学医学部附属病院	弘前市大字本町53番地	0172-33-5111

※ ○印は津軽地域小児救急二次輪番病院

弘前市を中心とする津軽地域8の市町村で、15歳未満あるいは中学三年生までの患者（交通事故による外傷など外科治療が必要な対象は除く）を対象に常時、小児科医が診療する「小児救急医療体制」が平成18年1月10日より開始されました。

この小児救急医療体制の仕組みにつきましては、弘前市急患診療所で外来診療を行い、万が一入院が必要になった場合には、小児科のある4病院（小児救急二次輪番病院）が交代で対応するとともに、重症な患者は、弘前大学医学部附属病院へ紹介するということとなっております。

※ 体制時間について

- 初期救急（外来）：弘前市急患診療所
  - ・平日、土曜日（19時～22時30分）
  - ・休日（10時～16時・19時～22時30分）
- 二次救急（入院）：小児救急二次輪番病院
  - ・平日（毎日17時～翌朝8時30分）
  - ・土曜日、休日（8時30分～翌朝8時30分）
- 三次救急（高度医療）：弘前大学医学部附属病院（小児科）
  - ・毎日24時間（二次病院では対応できない重症の患者）

## 医療機関別救急搬送状況

三次医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯以外	小計	転院搬送	合計
弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター	589	188	777	472	1,249
弘前市 二次輪番制参加医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯以外	小計	転院搬送	合計
国立病院機構弘前病院	1,460	464	1,924	196	2,120
弘前市立病院	433	90	523	31	554
健生病院	1,259	581	1,840	226	2,066
弘前小野病院	100	13	113	15	128
管内 救急告示医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯以外	小計	転院搬送	合計
弘前大学医学部附属病院	35	26	61	53	114
弘前脳卒中センター	279	141	420	117	537
弘愛会病院	36	72	108	10	118
弘前メディカルセンター	2	9	11	2	13
鳴海病院	16	8	24	14	38
弘前中央病院	60	19	79	27	106
黒石病院	651	317	968	69	1,037
ときわ会病院	111	72	183	7	190
板柳中央病院	104	53	157	4	161
町立大鱈病院	29	30	59	1	60
管外 救急告示医療機関	輪番時間帯	輪番時間帯以外	小計	転院搬送	合計
青森県立中央病院	5	6	11	22	33
八戸市立市民病院				1	1
その他医療機関 (診療所)	輪番時間帯	輪番時間帯以外	小計	転院搬送	合計
管内	145	235	380	61	441
管外	35	16	51	47	98
その他場所					
合計	5,349	2,340	7,689	1,375	9,064

# 救 助





## 事故種別救助業務実施状況（対前年比）

種別		年別	令和2年	令和元年	増 減
合 計		出動件数	148	142	6
		活動件数	98	97	1
		救助人員	89	111	△22
火 災	建 物	出動件数	13	5	8
		活動件数	13	5	8
		救助人員	1	0	1
	建 物 以 外	出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
交 通 事 故		出動件数	53	55	△2
		活動件数	30	30	0
		救助人員	35	31	4
水 難 事 故		出動件数	2	4	△2
		活動件数	2	3	△1
		救助人員	2	3	△1
風 水 害 等 害 自 然 災 害		出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
機 械 による 事 故		出動件数	7	7	0
		活動件数	4	5	△1
		救助人員	4	5	△1
建 物 等 に よ る 事 故		出動件数	43	35	8
		活動件数	32	27	5
		救助人員	29	39	△10
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
破 裂 事 故		出動件数	0	0	0
		活動件数	0	0	0
		救助人員	0	0	0
そ の 他 の 事 故		出動件数	30	28	2
		活動件数	17	19	△2
		救助人員	18	18	0

※ 出動件数とは、消防機関が救助活動を行う目的で出動した件数をいい、活動件数とは出動件数のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った件数をいう。



# 消防団





## 管内市町村の消防団長

(令和3年4月1日現在)

市町村名	団長名	就任年月日
弘前市	熊谷利一	平成31年 2月13日
黒石市	工藤清明	令和 2年11月 1日
平川市	今井紀夫	令和 2年 8月 1日
藤崎町	浅瀬石潤悦	令和 2年 3月 1日
板柳町	北畠憲一	令和 3年 3月23日
大鰐町	山崎高男	令和 2年 6月 1日
田舎館村	山本正志	平成29年 4月 1日
西目屋村	山崎清則	平成29年 3月 1日

# 管内市町村の消防副団長

(令和3年4月1日現在)

市町村名	副団長名	就任年月日
弘前市	稲部千賀男	平成26年7月10日
	久保順一	平成27年9月13日
	三上均	平成30年8月7日
	仲野浩二	令和2年3月1日
	舘田行雅	令和2年12月1日
黒石市	佐藤松男	平成29年11月1日
	村上禎亮	平成29年11月1日
	三浦実	令和2年11月1日
	工藤昭則	令和2年11月1日
	宇野秀行	令和2年11月1日
平川市	大湯春美	令和2年8月1日
	齋藤涉	令和3年4月1日
	白川秋徳	平成30年5月1日
藤崎町	奈良完治	平成24年12月6日
	古川哲美	平成26年4月1日
	三上鉄弘	平成26年12月1日
	福田隆寿	令和2年3月1日
板柳町	三上義勝	平成28年8月1日
	三戸康正	平成29年2月1日
	會津丞	平成29年4月1日
	村上一貴	令和3年3月23日
大鰯町	山内高信	平成30年4月1日
	小野光一	平成30年5月1日
	齋藤孝幸	令和2年6月1日
	外崎登	令和2年7月1日
田舎館村	工藤鑄逸	平成28年4月1日
	田澤隆	平成28年4月1日
	八木橋宣之	平成30年10月16日
	鈴木哲也	令和3年4月1日
西目屋村	大瀧学	平成22年12月21日
	熊谷孝夫	平成29年3月1日

# 管内市町村別消防団車両配備状況

(令和3年4月1日現在)

市町村	車種	合 計	普 通 消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	水 槽 付 ポ ン プ 自 動 車	警 備 車	司 令 車	そ の 他	小 型 動 力 ポ ン プ
合 計		287	104	163	1	8	3	8	16
弘 前 市		114	29	74		8	1	2	5
黒 石 市		50	17	31				2	
平 川 市		40	17	23					2
藤 崎 町		23		22			1		2
板 柳 町		18	13	4			1		4
大 鰐 町		17	11	5				1	2
田 舎 館 村		20		19				1	
西 目 屋 村		5	2		1			2	1

備考 小型動力ポンプは、合計に計上せず。

# 管内市町村階級別消防団員数

(令和3年4月1日現在)

階級 市町村	条 例 定 数	現 在 数	分 団 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
合 計	人 5,085	人 4,463 (112)	分団 205 (4)	人 13	人 62	人 257 (4)	人 217 (4)	人 283 (7)	人 660 (16)	人 2,969 (81)
弘前市	2,080	1,823 (21)	111 (1)	6	29	133 (1)	112 (1)	112 (1)	224 (2)	1,207 (16)
黒石市	860	730 (18)	9	1	5	14 (1)	11	50 (1)	123 (2)	526 (14)
平川市	680	638 (40)	20 (1)	1	9	20 (1)	20 (1)	42 (3)	84 (6)	464 (29)
藤崎町	411	337 (7)	22 (1)	1	4	33 (1)	22 (1)	22 (1)	66 (3)	167 (1)
板柳町	310	258 (7)	18	1	4	23	18	18	55 (1)	139 (6)
大鱈町	350	287 (17)	17 (1)	1	4	22 (1)	17 (1)	17 (1)	40 (2)	186 (12)
田舎館村	234	205	5	1	4	5	14	19	57	105
西目屋村	80	62	3	1	2	6	4	3	12	34

備考 ( ) については、女性団員で内書き。

## 管内市町村在職年数別消防団員数

(令和3年4月1日現在)

年数 市町村	人員 合計	平均 在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
			人	人	人	人	人	人	人
合計	4,463	12.1	931	984	909	785	489	233	132
弘前市	1,823	12.1	373	413	359	333	210	79	56
黒石市	730	11.6	140	163	172	134	71	35	15
平川市	638	13.0	136	108	127	112	79	46	30
藤崎町	337	13.6	58	73	68	69	35	23	11
板柳町	258	12.7	51	62	49	46	28	17	5
大鰐町	287	13.5	47	74	43	49	35	23	16
田舎館村	205	11.1	43	61	39	32	20	9	1
西目屋村	62	10.0	16	24	6	9	1	6	0

## 管内市町村別年齢別消防団員数

(令和3年4月1日現在)

年数 市町村	人員 合計	平均 年齢	18歳以上	26	31	36	41	46	51	56	61歳 以上
			25歳	30	35	40	45	50	55	60	人
合計	4,463	42.7	173	359	611	825	848	675	498	342	132
弘前市	1,823	42.6	67	123	233	362	356	273	227	141	41
黒石市	730	40.6	44	65	102	162	141	97	74	43	2
平川市	638	46.4	6	26	71	85	122	107	79	70	72
藤崎町	337	42.4	16	26	41	58	68	55	30	37	6
板柳町	258	41.9	2	23	37	55	39	56	26	16	4
大鰐町	287	43.7	7	35	29	46	46	42	34	31	17
田舎館村	205	39.9	8	18	34	44	58	25	13	4	1
西目屋村	62	46.8	1	4	8	5	12	10	5	7	10

## 管内市町村階級別消防団員年報酬

(令和3年4月1日現在 単位：円)

市町村	階級						
	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
弘 前 市	78,000	57,000 47,000	41,000 35,000	29,000	26,000	25,000	24,000
黒 石 市	51,700	44,000	26,400	22,500	16,000	15,000	13,200
平 川 市	62,000	52,000	39,000	33,000	31,000	27,000	25,000 10,000
藤 崎 町	60,000	49,000	40,000 36,000	25,000	23,000	21,000	19,000 9,500
板 柳 町	57,000	41,000	29,000 27,000	21,000	17,000	16,000	15,000
大 鰐 町	57,000	47,000	35,000	28,000	25,000	22,000	20,000 10,000
田 舎 館 村	52,800	45,000	30,000	23,600	20,000	16,500	14,500
西 目 屋 村	59,000	49,000	35,000	24,000	21,000	20,000	19,000 10,000

備考 弘前市の副団長上段は、方面副団長 下段は、地区団長、本部付隊長  
弘前市の分団長上段は、本部付分団長 下段は、地区副団長、分団長  
平川市の団員下段は、機能別団員  
藤崎町の分団長上段は、団付分団長 藤崎町の団員下段は、機能別団員  
板柳町の分団長上段は、団付分団長  
大鰐町の団員下段は、機能別分団員  
西目屋村の団員下段は、支援団員

## 管内市町村消防団員出動手当

(令和3年4月1日現在 単位：円)

市町村	区分	1 回 あ た り の 出 動 手 当 額			
		水 ・ 火 災 等	警 戒	訓 練	そ の 他
弘 前 市		2,000	2,000	2,000	2,000
黒 石 市		(定額)9,000 円/年			
平 川 市		1,500	1,500	1,500	1,500
藤 崎 町		2,000	2,000	2,000	2,000
板 柳 町		2,000	2,000	2,000	2,000
大 鰐 町		1,500	1,500	1,500	1,500
田 舎 館 村		(定額) 1 消防部 110,000 円/年		本部 90,000 円/年	
西 目 屋 村		2,000	2,000	2,000	2,000

※ その他は除雪作業等必要により特に招集した時の手当額



# 地域防災組織





## 幼・少年消防クラブと婦人(女性)防火クラブ

- 幼年消防クラブは、幼年期に正しい火の取扱いを教え、防災教育を通して家庭や周囲の人々の意識を高め、家族ぐるみ、地域ぐるみの防火の輪を広げることを目的としている。
- 少年消防クラブは、少年少女たちが火災を予防する方法や、火についての問題を身近な生活の中に見出し、それをお互いに研究実行し、周囲の人々に及ぼそうという少年少女たちの学習を基調とした社会、理科等の勉学の向上を図ることを目的とし、地域または学校単位で小学校1年生から中学校3年生の少年、少女の有志によって結成されており、Boys&Girls Fire Clubの頭文字をとってBFCともいう。
- 婦人(女性)防火クラブは、「火災の大半は住宅火災」であることから、常日頃の家庭の火気を取扱う機会をふまえて、火災予防の知識の習得と消火、避難等の行動知識の習熟を図り、家庭からの火災防止と地域の連帯感を高めるものである。

このように各クラブを通じて「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域に根ざした自主防災をめざし、恒久的で明るく安全な家庭づくり、地域づくりのため、今後も大いなる活躍が期待されます。

# 令和2年度の活動状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

## 幼年消防クラブの活動状況

活動内容	実施回数	参加人員
防火映画・防火教室・消防訓練	48	2,855
青森県中弘地区消防協会観閲式	0	0
巡回広報・街頭広報・防火パレード	35	1,185
視察研修・野外研修・指導者研修	9	203
合計 (A)	92 回	4,243 人

## 少年消防クラブの活動状況

活動内容	実施回数	参加人員
防火映画・防火教室・消防訓練	0	0
青森県中弘地区消防協会観閲式	0	0
巡回広報・街頭広報・防火パレード	1	2
視察研修・野外研修・指導者研修	1	43
合計 (B)	2 回	45 人

## 婦人(女性)防火クラブの活動状況

活動内容	実施回数	参加人員
防火映画・防火教室・消防訓練	1	4
青森県中弘地区消防協会観閲式	0	0
青森県南黒地区消防協会観閲式	0	0
巡回広報・街頭広報・防火パレード	26	103
視察研修・野外研修・指導者研修	21	66
合計 (C)	48 回	173 人

総合計 (A) + (B) + (C)	142 回	4,461 人
---------------------	-------	---------

# 幼年消防クラブの状況

(令和3年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員 数	結成年月日	代 表 者
弘 前 市	大沢保育園幼年消防クラブ	12名	H 4. 5. 11	△ 成 田 真 弓
〃	大開保育園幼年消防クラブ	15名	H 4. 7. 1	成 田 宣 子
〃	サムエル保育園幼年消防クラブ	28名	H 3. 7. 25	山 鹿 紀 夫
〃	城東保育園幼年消防クラブ	19名	H13. 9. 1	三 浦 テ ッ
〃	すみれ保育園幼年消防クラブ	36名	H 3. 7. 25	齋 藤 靈 一
〃	高杉保育園幼年消防クラブ	17名	H 4. 7. 1	下 山 京 子
〃	ダビデ保育園幼年消防クラブ	44名	H 3. 7. 25	山 鹿 徳 子
〃	致遠保育園幼年消防クラブ	38名	H 4. 7. 1	長 内 昭 子
〃	とよだ幼年消防クラブ	31名	H11. 4. 1	一町田 英子
〃	めぐみ保育園幼年消防クラブ	36名	H 3. 7. 25	黒沼忠由樹
〃	ようせい保育園幼年消防クラブ	75名	H 4. 7. 1	武 田 芳 子
〃	よつば保育園幼年消防クラブ	48名	H 3. 7. 25	吉 成 千 鶴 子
黒 石 市	あけぼのこども園幼年消防クラブ	13名	H5. 2. 1	谷 君 雄
〃	アリス保育園幼年消防クラブ	36名	H1. 12. 1	木 立 睦 子
〃	黒石若葉保育園幼年消防クラブ	42名	H3. 7. 1	明 本 謙 治
〃	幸成保育園幼年消防クラブ	66名	H10. 12. 5	福 士 富 美 子
〃	千徳保育園幼年消防クラブ	37名	H1. 12. 1	村 上 隆 昭
〃	つくし第一こども園幼年消防クラブ	26名	H2. 12. 1	工 藤 哲 悟 郎
〃	つくし第二こども園幼年消防クラブ	21名	H2. 12. 1	◎ 工 藤 悟
〃	中郷こども園幼年消防クラブ	18名	H1. 12. 1	山 口 優 美
〃	美郷こども園幼年消防クラブ	42名	H13. 4. 1	湯 瀬 久 美
平 川 市	尾上保育園幼年消防クラブ	25名	H2. 10. 1	藤 山 祐 一
〃	大坊こども園幼年消防クラブ	28名	H15. 4. 1	古 川 香

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ 数	結成年月日	代 表 者
平川市	はすね保育園幼年消防クラブ	41名	H15. 2. 1	小田桐 輝雄
〃	日の出こども園幼年消防クラブ	42名	H6. 4. 5	○ 小野 一治
〃	平賀あすなる保育園幼年消防クラブ	43名	S62. 7. 1	小笠原 勝則
〃	平賀幼稚園幼年消防クラブ	25名	H5. 5. 6	小山 セツ
藤崎町	小畑保育所幼年消防クラブ	15名	H24. 4. 1	阿保真紀子
〃	西中野目保育所幼年消防クラブ	16名	H24. 4. 1	太田 亜矢子
〃	藤崎保育所幼年消防クラブ	35名	H24. 4. 1	北 畠 富江
板柳町	板柳第一保育所鶴住幼年消防クラブ	84名	H21. 4. 1	泉 隆 子
〃	板柳第二保育所鶴住幼年消防クラブ	52名	H17. 4. 1	福岡 美紀子
〃	板柳第三保育所鶴住幼年消防クラブ	49名	H17. 4. 1	○ 新谷 直子
〃	小阿弥保育所鶴住幼年消防クラブ	67名	H17. 4. 1	△ 齊藤 育子
〃	畑岡保育所鶴住幼年消防クラブ	36名	H17. 4. 1	竹内 睦子
大鱈町	大鱈保育園幼年消防クラブ	20名	H16.12.14	村上 睦子
田舎館村	田舎館こども園幼年消防クラブ	39名	H18. 5. 1	小野 やす子
〃	光田寺保育園幼年消防クラブ	82名	H18. 5. 9	福士 敬博
計	38 クラ ブ	1,399名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

## 少年消防クラブの状況

(令和3年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日	幹 事 長
弘 前 市	大沢地区少年消防クラブ	56名	S52. 7. 5	△ 小田桐 誠一郎
〃	藤代地区少年消防クラブ	24名	S55. 3. 30	齊 藤 博
〃	千年地区少年消防クラブ	15名	S55. 3. 30	◎ 吉川 城人
〃	東目屋地区少年消防クラブ	80名	H 3. 7. 14	○ 竹内 由佳
黒 石 市	黒石小学校少年消防クラブ	93名	S52. 4. 11	阿 部 誠
弘 前 市	清水地区少年消防クラブ	活動休止中	S55. 12. 27	
計	6 ク ラ ブ	268名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。

## 婦人(女性)防火クラブの状況

(令和3年4月1日現在)

市町村別	ク ラ ブ 名	クラブ員数	結成年月日	委 員 長
弘 前 市	藤代地区婦人防火クラブ	14名	S55. 2. 3	浅原 雅子
〃	清水地区婦人防火クラブ	13名	S55. 3. 9	千葉千鶴子
〃	和徳地区婦人防火クラブ	21名	S55. 3.30	○ 小嶋 ルイ子
黒石市	黒石市女性防火クラブ	20名	H3. 4. 12	△ 鈴木 美香
平川市	平賀地区婦人防火クラブ	31名	S53. 4. 1	◎ 赤平 喜美子
〃	平川市碓ヶ関地区婦人防火クラブ	9名	H19.10. 1	△ 山田 泰子
田舎館村	田舎館村女性防火クラブ	29名	S58. 3.13	佐々木 久子
西目屋村	西目屋村婦人防火クラブ	20名	S55. 8.27	○ 檜山 玲子
計	8 ク ラ ブ	157名		

◎印 連絡協議会会長、 ○印 連絡協議会副会長、 △印 連絡協議会監事を示す。



## 弘前地区消防防災協会

当協会は、昭和43年7月10日に弘前市消防防災協会として設立され、昭和46年4月1日弘前地区消防事務組合発足に伴い協会も広域化し、昭和46年7月15日に名称を弘前地区消防防災協会と改められた。現在は3市3町2村、16部会36班で構成されている。

名 称	弘前地区消防防災協会
事 務 局	弘前地区消防事務組合消防本部内
目 的	本会は、消防防災に関する知識の向上と、各事業所の健全な発展を目指して、災害予防に努めるとともに会員相互の融和親睦を図り、もって社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。
事 業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 防火管理の研究</li> <li>2 消防関係法令の普及</li> <li>3 災害予防に関する知識の普及と広報</li> <li>4 災害発生時の相互協力</li> <li>5 会員の教養、研修</li> <li>6 災害予防及び自主防災技術の改善並びに本会の発展に特に功労のあった者に対する表彰</li> <li>7 災害発生時の会員死傷者に対する弔慰</li> <li>8 その他、本会の目的達成のため必要と認める事項</li> </ol>
会 員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 消防法に定める防火対象物の関係者</li> <li>2 消防法に定める危険物を製造、貯蔵又は取扱いをする関係者</li> <li>3 液化石油ガス又は圧縮アセチレンガス等の製造、貯蔵又は取扱いをする関係者</li> <li>4 その他、本会の目的に賛同する者</li> </ol>
役 員	会長1名 副会長3名 理事38名以内 監事3名 参与 若干名
会 費	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 会費 年額3,000円</li> <li>2 賛助費 1口以上(1口5,000円)</li> </ol>
令和3年度予算額	4,853,180円

# 弘前地区消防防災協会役員事業所名簿

(令和3年4月1日現在)

役職名	事業所名			
会長	(株)城東閣			
副会長	平山萬年堂 特別養護老人ホーム 大鱈ホーム (有)小野印刷所			
監事	(株)青森銀行弘前支店 東北電力ネットワーク(株)弘前電力センター 弘南バス(株)			
第1部会長	平山萬年堂	理事	(株)朝日会館	(有)すとう
第2部会長	(株)菊富士	理事	(株)角長	めん房たけや
第3部会長	ブロッサムホテル弘前	理事	津軽の宿弘前屋	弘前東栄ホテル
第4部会長	健生病院	理事	弘前市立病院	
第5部会長	東北女子大学	理事	弘前東高等学校	
第6部会長	長勝寺	理事	盛雲院	
第7部会長	弘前航空電子(株)	理事	やまと印刷(株)	
第8部会長	弘前市役所	理事	つがる弘前農業協同組合	
第9部会長	青森県石油商業組合中弘南支部	理事	(株)弘善商会	(株)角弘前地区石油支店
第10部会長	北興液化ガス(株)	理事	(株)工藤熊五郎商店	
第11部会長	サムエル保育園	理事	城東保育園	
第12部会長	(株)富士商会	理事	(株)産交	
南部会長	特別養護老人ホーム 大鱈ホーム	理事	(有)ハラコ流通	碓ヶ関開発(株)
北部会長	(株)藤菱	理事	青森リンゴ加工(株)	板柳町役場
西部会長	マエダ防災	理事	柴田自動車整備工場	
東部会長	(株)アップルランド南田温泉	理事	(株)ツガルサイコー (津軽伝承工芸館)	

# 弘前地区消防防災協会事業

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

年 月 日	事 業 内 容
令和2年4月13日	春の火災予防運動 消防訓練・街頭広報【中止】
令和2年5月22日	令和2年度定時総会（書面会議）
令和2年 5月14日 ） 令和2年 5月15日	危険物取扱者試験事前講習会実施（1回目）【中止】
令和2年 10月5日	秋の火災予防運動ポスターの送付(621事業所)
令和2年9月18日	自衛消防技術大会 於：運動公園駐車場 出場 12チーム
令和2年10月19日	秋の火災予防運動 消防訓練・街頭広報【中止】
	防火作品最優秀賞表彰式（表彰8名） 【中止】
令和2年10月19日 ） 令和2年11月1日	防火作品展開催 於：ヒロロ3F(ヒロロスクエア) 管内幼稚園、保育園・保育所、管内小学校（1～6年生） 応募作品数 1,035点 入賞作品 170点
令和2年10月15日 ） 令和2年10月16日	危険物取扱者試験事前講習会実施（2回目） 於：黒石消防署 受講者 20名
令和3年3月10日	防災ニュース第50号発行
令和3年3月10日	春の火災予防運動ポスターの送付(616事業所)
随 時	各部会の開催
	会員増強運動

# 議 会





1 概 要

(1) 定数及び現員数

定数 15人

現員数 15人

(2) 選出方法

ア 弘前市の議会の議員の互選による者 6人

イ 黒石市及び平川市の議会の議員の互選による者 各2人

ウ 関係市町村のうち町村の議会の議員の互選による者 各1人

(3) 任期

組合議員の属している関係市町村の議会の議員の任期による。

(4) 議員名簿

(令和3年4月1日現在)

議席番号	氏 名	組合議員職	選出議会
1	木 村 隆 洋	議会運営委員	弘前市議会
2	野 村 太 郎	議会運営委員	
3	松 橋 武 史	監査委員	
4	鶴ヶ谷 慶 市	議 長	
5	石 田 久		
6	三 上 秋 雄		
7	三 上 廣 大	議会運営委員	黒石市議会
8	大久保 朝 泰	副議長	
9	石 田 隆 芳	議会運営委員長	平川市議会
10	山 田 忠 利		
11	藤 林 公 正		藤崎町議会
12	今 浩 一		板柳町議会
13	成 田 元 英	議会運営委員	大鰐町議会
14	平 田 隆 人		田舎館村議会
15	三 浦 清 則	議会運営副委員長	西目屋村議会

(5) 正副議長（統合後）

就任年月日	議 長	副議長
H25.7.24	三 上 秋 雄（弘前市議会）	山 田 紘 一（黒石市議会）
H27.7.22	一 戸 兼 一（弘前市議会）	福 士 幸 雄（黒石市議会）
R元.7.9	鶴ヶ谷 慶 市（弘前市議会）	大久保 朝 泰（黒石市議会）

## 2 定例会

### (1) 回数

毎年2回（11月、2月）

### (2) 開催状況（直近5年間）

（単位：回）

	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年 令和元年	令和2年
定例会	2	2	2	2	2
臨時会	0	1	1	1	1
計	2	3	3	3	3

## 3 議会運営委員会

### (1) 定数 6人

### (2) 所管事項

- ア 会期に関する事。
- イ 議事日程に関する事。
- ウ 議事の進行に関する事。
- エ 議会関係例規の制定、改廃に関する事。
- オ 意見書その他議員発議の取り扱いに関する事。
- カ 請願及び陳情の取り扱いに関する事。
- キ その他議会運営及び議長の諮問に関する事項。

### (3) 正副委員長（統合後）

就任年月日	委員長	副委員長
H25. 7.24	山田尚人（平川市議会）	小野稔（藤崎町議会）
H26. 11.18	小野稔（藤崎町議会）	今浩一（板柳町議会）
H27. 11.25	山田忠利（平川市議会）	
H28. 11.15		内海繁勝（大鰐町議会）
H31. 2.20		山崎洋（田舎館村議会）
R元. 11.21	石田隆芳（平川市議会）	三浦清則（西目屋村議会）

4 議員派遣（統合後）

平成 25 年	目 的	大規模特殊災害の対応及び消防広域化の組合運営等に関する調査
	期 間	H25. 10. 2 ～ 10. 4
	場 所	湖北地域消防組合（滋賀県） 京都市市民防災センター（京都府）
	派遣議員数	1 2 人
平成 27 年	目 的	大規模特殊災害の対応及び消防広域化の組合運営等に関する調査
	期 間	H27. 8. 24 ～ 8. 26
	場 所	埼玉東部消防組合消防局（埼玉県） 千葉市消防局消防指令センター（千葉県） 東京消防庁第三消防方面本部（東京都）
	派遣議員数	1 2 人
平成 29 年	目 的	大規模な自然災害に対する国及び被災地消防機関の災害対応及び防災対策等の調査
	期 間	H29. 7. 19 ～ 7. 21
	場 所	東京臨海広域防災公園（東京都） 常総地方広域市町村圏事務組合（茨城県）
	派遣議員数	1 2 人
令和元年	目 的	広域化、多様化する災害への取り組み状況及び消防運営等の調査
	期 間	R 元. 10. 28 ～ 10. 30
	場 所	入間東部地区事務組合消防本部（埼玉県） 総務省消防庁危機管理センター（東京都） 川崎市消防局消防訓練センター（神奈川県）
	派遣議員数	1 4 人



# 付 録



# 明治以降の主な火災

(表中の平成 22 年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載)

明治 13 年 5 月 15 日	元寺町より出火し、本町、元大工町、元長町、親方町、元寺町、元寺町小路、上鞆師町、鉄砲町、一番町、百石町、下土手町、鍛冶町、新鍛冶町、北川端町、桶屋町にかけて、1,064 戸焼損。死者 3 名
明治 18 年 9 月 12 日	中郡公立中学校より出火し、同校及び東奥義塾全焼
10 月 21 日	和徳町より出火、代官町、茶畑町に延焼し、100 戸焼損
明治 22 年 10 月 25 日	東奥義塾より出火し、2 棟 400 坪全焼
明治 23 年 3 月 4 日	第一大成小学校全焼
明治 25 年 6 月 20 日	市役所、警察署、県尋常中学校焼損
明治 34 年 5 月 1 日	楮町より出火、松森町に延焼し、61 戸焼損
明治 36 年 5 月 8 日	元寺町の旅館より出火し、55 戸焼損
明治 39 年 4 月 21 日	弘前城北の郭の櫓、花火により焼損
5 月 25 日	輔重隊より出火し、大隊本部、1. 2 中隊舎 7 棟、332 坪焼損
8 月 23 日	弘前城西の郭の櫓(埋御門内側)焼損
9 月 28 日	土手町蓬莱橋際より出火し、38 戸焼損
明治 42 年 5 月 2 日	鞆師町より出火、百石町に延焼し、43 戸焼損、死者 3 名
明治 43 年 12 月 7 日	土手町の旅館より出火し、44 戸焼損、死者 1 名
大正 2 年 12 月 4 日	弘前裁判所全焼、4 棟 113 坪焼損
大正 6 年 5 月 18 日	清水村富田より出火、土手町、品川町、新品川町、松森町、楮町、新楮町、豊田村小比内、外崎一円が焼損。全焼 533 戸、半焼 8 戸、死者 1 名、郡役所、清水村役場、第二大成小学校焼損
昭和 2 年 5 月 29 日	北横町遊郭より出火し、和徳町、南横町、萱町、植田町、代官町、茶畑町、和徳町の一部を焼損、全焼 538 戸の外、和徳小学校焼損
昭和 3 年 4 月 18 日	富田町より出火、富田大通、偕行社通、住吉町、中土手町、上土手町、松森町、品川町、新品川町、楮町、代官町、上瓦ヶ町、和徳町、停車場通、豊田村の一部に及び全焼 610 戸、半焼 19 戸、死者 1 名、第一大成小学校、第二大成小学校焼損
11 月 8 日	富田小学校焼損
昭和 5 年 6 月 15 日	時敏小学校焼損
昭和 9 年 5 月 18 日	市立弘前病院焼損、4 棟 400 坪
昭和 22 年 2 月 5 日	紺屋町秩父宮殿下元御仮邸(菊池別邸)全焼、3 棟 1,386 m <sup>2</sup> 焼損
昭和 24 年 4 月 14 日	津軽病院全焼、8 棟焼損 (5,221 m <sup>2</sup> )、死者 5 名
4 月 18 日	弘前税務署(元師団経理部)全焼、3 棟焼損 (1,274 m <sup>2</sup> )
10 月 12 日	時敏小学校焼損
10 月 23 日	朝陽小学校全焼、塩分町、15 戸焼損
12 月 31 日	弘前裁判所全焼

昭和 27 年 5 月 4 日	土手町繁華街(蓬莱橋東側) 16 戸焼損
12 月 20 日	上白銀町 藤田別邸焼損(1,079 m <sup>2</sup> )
昭和 31 年 5 月 21 日	弘前市小比内地区、全焼(住家 10 戸、非住家 17 棟)、半焼(住家 1 戸、非住家 1 棟)
7 月 21 日	第一中学校一部焼損(832 m <sup>2</sup> )
昭和 35 年 5 月 13 日	柴田学園全焼、北瓦ヶ町 10 戸焼損(6,280 m <sup>2</sup> )
昭和 37 年 1 月 27 日	下白銀町 弘前大学教育学部西校舎焼損(3,098 m <sup>2</sup> )
昭和 39 年 4 月 6 日	土手町 Kデパート焼損(1,377 m <sup>2</sup> )
昭和 42 年 4 月 17 日	富田町印刷工場全焼(1,075 m <sup>2</sup> )
昭和 44 年 1 月 31 日	弘前高等学校焼損(1,130 m <sup>2</sup> )
1 月 31 日	津軽病院全焼(4,125 m <sup>2</sup> )
昭和 47 年 7 月 20 日	柴田女子高校全焼(2,460 m <sup>2</sup> )
昭和 50 年 10 月 12 日	西目屋中学校全焼(1,497 m <sup>2</sup> )
昭和 54 年 8 月 21 日	一野渡鷺ノ巣国有林 1,110a 焼損
昭和 59 年 10 月 18 日	相馬村、りんごパック製造工場全焼 (1,376 m <sup>2</sup> )、損害額 1 億 323 万円
昭和 60 年 6 月 29 日	一野渡鷺ノ巣国有林 620a 焼損
昭和 61 年 2 月 8 日	大森 知的障害者更生施設焼損(145 m <sup>2</sup> )、死者 2 名、負傷者 6 名
3 月 28 日	清水二丁目 缶詰工場焼損(1,524 m <sup>2</sup> )、損害額 1 億 9,682 万円
平成 8 年 11 月 1 日	碓ヶ関村 旅館 2 棟全焼(1,692 m <sup>2</sup> )、死者 1 名、負傷者 2 名、損害額 5,961 万円
平成 13 年 5 月 8 日	消費者金融支店 (Nビル 3 階)、96.30 m <sup>2</sup> のうち事務室及び管理室 85.16 m <sup>2</sup> 焼損、死者 5 名、負傷者 4 名
平成 16 年 1 月 3 日	大鱈町 住宅 1 棟焼損 (132 m <sup>2</sup> )、死者 5 名、負傷者 2 名
1 月 26 日	弘前市国吉 温泉旅館 1 棟焼損 (1,077 m <sup>2</sup> )、損害額 1 億 1,059 万円
平成 17 年 9 月 5 日	弘前市 連続 8 件火災(建物 6、車輛 1、その他 1)
12 月 25 日	常盤村 住宅 1 棟全焼(145 m <sup>2</sup> )、死者 3 名、負傷者 1 名
平成 21 年 3 月 8 日	弘前市 住宅等 7 棟焼損(1,667 m <sup>2</sup> )、負傷者 1 名
平成 22 年 11 月 20 日	弘前市 飲食店舗兼住宅等 6 棟焼損(505 m <sup>2</sup> )、死者 1 名、負傷者 10 名
平成 26 年 4 月 27 日	大鱈町 住宅等 18 棟焼損(1,012 m <sup>2</sup> )、死者 1 名
6 月 5 日	大鱈町 国有林 15.64ha 焼損
平成 27 年 8 月 4 日	大鱈町 作業所兼住宅等 14 棟焼損 (1,848 m <sup>2</sup> )、負傷者 4 名
9 月 18 日	黒石市 小学校 1 棟焼損 (48 m <sup>2</sup> )、死者 1 名、負傷者 7 名
平成 30 年 1 月 18 日	弘前市 写真館併用住宅 2 棟焼損 (287 m <sup>2</sup> )、損害額 5,953 万円
平成 31 年 3 月 10 日	弘前市 住宅 1 棟全焼 (243 m <sup>2</sup> )、死者 4 名、負傷者 1 名

## 明治以降の主な災害（火災を除く）

（表中の平成9年以前は、旧弘前地区消防事務組合管内で発生した災害のみ掲載）

明治 29 年 7 月 21 日	県下に大雨あり、土洩川氾濫、徒町川端一帯床上浸水
昭和 7 年 8 月 3 日 ） 5 日	津軽地方 30 年来の洪水、岩木川、土洩川氾濫、駒越町、新町、徒町川端町、北横町、品川町被害甚大、床上浸水 41 棟、床下 90 棟、南塘は鏡ヶ池再現
昭和 10 年 8 月 21 日 ） 24 日	豪雨により土洩川氾濫、床上浸水 73 棟、床下浸水 369 棟 平川の氾濫により大鰐町全町浸水、平川鉄橋流失、死者行方不明 25 名、負傷者 181 名
昭和 30 年 7 月 3 日 ） 4 日	津軽地方一帯豪雨となり、各河川が急激に増水し、岩木川氾濫 3 橋梁流失
8 月 20 日	中弘地方を襲った豪雨で、岩木川氾濫、目屋の 4 橋梁流失
昭和 33 年 8 月 11 日 ） 12 日	豪雨により岩木川氾濫、下町を中心に 51 町会 3,037 世帯被害、家屋全壊流失 45 棟、半壊 90 棟、床上浸水 1,435 棟、床下浸水 1,467 棟、死者 3 名、11 橋梁流出、損害合計 13 億 5 千万円
9 月 17 日 ） 18 日	台風 21 号の影響により、土洩川氾濫、唐金橋外 4 橋梁流出、家屋全壊流失 37 棟、半壊 7 棟、床上浸水 570 棟、床下浸水 988 棟
昭和 35 年 8 月 2 日 ） 3 日	津軽地方の豪雨により、平川氾濫、田町、三八町の外、和徳、千年、新和、石川地区被害、全壊流失 3 棟、半壊 6 棟、床上浸水 340 棟、床下浸水 600 棟、死者 3 名、損害合計 3 億 8,222 万円
昭和 50 年 8 月 5 日 ） 6 日	津軽地方を襲った豪雨は、弘前市をはじめ各地で大きな被害、なかでも岩木町百沢で蔵助沢の鉄砲水により死者 22 名、負傷者 45 名と局地災害では、県水害史上最大の被害となった。
8 月 20 日	津軽地方の大雨により、土洩川氾濫、小沢地区から平川合流点に至る 14.8 km の沿岸一帯被害、全壊流失 33 棟、半壊 29 棟、床上浸水 1,403 棟、床下浸水 2,072 棟、損害合計 46 億 6,459 万円

昭和 52 年 8 月 5 日

集中豪雨により土淵川、寺沢川氾濫、特に寺沢川上流の溜池決壊により急激な増水、死者 9 名、負傷者 20 名、人命救助 344 名、全壊流失 12 棟、半壊 76 棟、床上浸水 1,943 棟、床下浸水 2,972 棟、損害合計 71 億 1,234 万円

平成 3 年 9 月 28 日

台風 19 号の暴風により、組合管内で大きな被害を受けた。

		弘前市	大鰐町	藤崎町	岩木町	常盤村	碓ヶ関村	相馬村	西目屋村
人的被害(名)	死者	3			1				
	負傷者	重傷	2	5			1	1	
		軽傷	9	25	3	2	6	1	2
	合計	14	30	3	3	6	2	3	1
家屋被害(棟)	全壊	26	18		3	3		1	
	半壊	270	169	71	48	49	17	13	1
	一部損壊	4,948	668	402	351	210	152	60	44
	合計	5,244	855	473	402	262	169	74	45
損害額(万円)	建物関係	377,380	91,330	41,870	34,560	32,760	13,670	7,350	2,890
	農林関係	2,415,705	609,866	265,371	572,995	47,362	157,030	335,423	71,666
	合計	2,793,085	701,196	307,241	607,555	80,122	170,700	342,773	74,556

平成 9 年 5 月 7 日  
 )  
 9 日

発達した低気圧による風雨と目屋ダムの放水(最大放水量 792 m<sup>3</sup>/秒)により組合管内に大きな風雨被害を受けた。被害総額 3,237,640 千円

弘前市	住家一半壊 1 棟、一部損壊 1 棟、床上浸水 1 棟、床下浸水 3 棟
岩木町	住家一床下浸水 1 棟、浸水被害一水田 32 a 岩木川沿地区 256 戸に避難勧告
相馬村	住家一床上浸水 5 棟、床下浸水 7 棟、浸水被害一水田 20 a 紙漉沢、五所地区 39 戸に避難指示
大鰐町	宿川原橋損壊、虹貝地区道路陥没
藤崎町	浸水被害一りんご園 67ha
碓ヶ関村	土砂崩壊、林道決壊
西目屋村	村内電話不通 435 回線

平成 25 年 9 月 16 日

台風 18 号の影響により、県内は猛烈な雨に見舞われ、降り始めからの総雨量(気象庁の観測データ)は、大鰐町で 214 ミリ、弘前市で 202 ミリ、平川市で 201 ミリ、黒石市で 188 ミリを記録し、河川の氾濫や土砂崩れ、住宅の浸水、りんご園地等の浸水など津軽地方に甚大な被害をもたらした。

平成 28 年 4 月 17 日

発達した低気圧による暴風により組合管内に大きな被害を受けた。

		弘前市	黒石市	平川市	藤崎町	大鰐町	板柳町	田舎館村	西目屋村
人的被害 (名)	負傷者								
	重傷	1			1		1		
	軽傷								
	合計	1			1		1		
家屋・農業施設被害 (棟)	全壊	42	14	14	22	14	2	7	
	半壊	22	18		16	18	3	9	
	一部損壊	166	7	79	99	7	31	54	
	合計	230	39	93	137	39	36	70	
損害額(万円)		5,098	118	1,756	2,133	1,069	354	1,576	0

# 歴代消防長等

(令和3年4月1日現在)  
 ※各表の階級欄は就任時の階級

## 弘前地区消防事務組合消防長

旧弘前市消防本部 S24.4.1～S46.3.31  
 旧弘前地区消防事務組合 S46.4.1～H25.6.30  
 新弘前地区消防事務組合 H25.7.1～

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防長	岩淵 勉	S24. 4. 27		弘前市長兼任
2代	消防司令長	石川 源太	S24. 5. 31	S29. 2. 19	
3代	消防監補	桑田 善太郎	S29. 4. 1	S32.10.31	
4代	消防監	上田 勝夫	S32.11. 1	S37. 7. 8	
5代	〃	伴 一 衛	S37. 7. 9	S39. 8. 17	
6代	〃	桑田 貞一	S39. 8. 18	S50. 9. 30	
7代	〃	福井 正男	S50.10. 1	S55. 9. 30	(S55.4.1 消防正監)
8代	消防正監	工藤 富蔵	S55.10. 1	S56. 9. 30	
9代	〃	長津 仗	S56.10. 1	S60. 3. 31	
10代	〃	猪股 清市郎	S60. 4. 1	H元. 3. 31	
11代	〃	中村 昭雄	H元. 4. 1	H 4. 3. 31	
12代	〃	石戸谷 一弘	H 4. 4. 1	H 7. 3. 31	
13代	〃	相馬 達三	H 7. 4. 1	H12. 3. 31	
14代	〃	小山内 司	H12. 4. 1	H14. 3. 31	
15代	〃	成田 文英	H14. 4. 1	H19. 3. 31	
16代	〃	尾崎 善造	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
17代	〃	齋藤 則明	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
18代	〃	小田桐 伸一	H21. 4. 1	H23. 3. 31	
19代	〃	木村 誠二	H23. 4. 1	H26. 3. 31	
20代	〃	福士 文敏	H26. 4. 1	H30. 3. 31	
21代	〃	三浦 良樹	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
22代	〃	長尾 幸喜	H31. 4. 1	在職中	



### 旧黒石地区消防事務組合消防長

旧黒石町消防本部 S27. 4. 1～S29. 6. 30  
 旧黒石市消防本部 S29. 7. 1～S46. 3. 31  
 旧黒石地区消防事務組合 S46. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	岡崎良雄	S27. 4. 1	S33. 3. 31	
2代		鳴海清四郎	S33. 4. 1	S33. 8. 9	黒石市助役兼任
3代		高樋竹次郎	S33. 8. 10	S47. 3. 9	黒石市長、管理者兼任
4代	消防監	角田壮一	S47. 3. 10	S54. 7. 31	
5代	〃	山口勇蔵	S54. 8. 1	S56. 3. 31	
6代	〃	田中寿	S56. 4. 1	S60. 3. 31	
7代	〃	岡崎俊司	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	
8代	〃	中村民蔵	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	
9代	〃	工藤龍明	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
10代	〃	高樋浅光	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
11代	〃	工藤茂春	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	
12代	〃	佐藤信男	H 8. 4. 1	H13. 3. 31	
13代	〃	盛鐘治	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
14代	〃	中村寿	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
15代	〃	森勇一	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
16代	〃	丹羽仁吉	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
17代	〃	佐藤友昭	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
18代	〃	種市達男	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

### 旧平川市消防本部消防長

旧平賀・尾上地区消防事務組合 S44. 4. 1～H10. 7. 2  
 旧平賀・尾上地区消防等事務組合 H10. 7. 3～H17. 12. 31  
 旧平川市消防本部 H18. 1. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	水木強二	S44. 4. 1	S53. 12. 6	平賀町長
2代	〃	原田忠太郎	S53. 12. 7	S61. 12. 6	〃
3代	〃	奈良蓮雄	S61. 12. 8	H 2. 2. 21	〃
4代	〃	長内精四郎	H 2. 2. 22	H 3. 3. 31	
5代	〃	菊池今朝男	H 3. 4. 1	H 3. 8. 15	
6代	〃	木村丞	H 3. 8. 16	H 5. 3. 31	
7代	〃	船越暁穂	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
8代	〃	富谷正男	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
9代	〃	成田忠則	H10. 4. 1	H16. 3. 31	
10代	〃	三浦久	H16. 4. 1	H17. 12. 31	
	消防司令長	稲葉良三	H18. 1. 1	H18. 3. 31	職務代理者（次長）
11代	消防監	菊池吉郎	H18. 4. 1	H22. 3. 31	
12代	消防司令長	駒井祐正	H22. 4. 1	H25. 6. 30	

### 旧板柳町消防本部消防長

旧板柳町消防本部 S42. 4. 1～H25. 6. 30

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		木村定吉	S42. 4. 1	S42. 4. 29	板柳町長
2代		竹浪春夫	S42. 4. 30	S62. 4. 29	〃
3代		木村章一	S62. 4. 30	H元. 8. 31	〃
4代	消防監	阿保小東	H元. 9. 1	H 2. 3. 31	署長兼任
5代	〃	三浦得三郎	H 5. 4. 1	H11. 3. 31	
6代	〃	竹内秀次	H11. 4. 1	H15. 3. 31	
7代	〃	三上壽満	H15. 4. 1	H17. 3. 31	
8代	〃	三上秀治	H17. 4. 1	H21. 3. 31	
9代	消防司令長	中村徹	H21. 4. 1	H24. 3. 31	
10代	〃	阿保久	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

### 弘前地区消防事務組合消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	佐井 留太郎	S24. 5. 31	S27. 3. 2	
2代	消防司令長	小向 清之助	S27. 3. 3	S32. 10. 31	
3代	〃	対馬 庄一	S32. 11. 11	S37. 4. 8	
4代	〃	中村 忠治	S37. 4. 9	S42. 9. 30	
5代	消防司令	工藤 富蔵	S42. 10. 1	S43. 9. 30	
6代	〃	奈良 正美	S43. 10. 1	S44. 9. 27	
7代	〃	工藤 富蔵	S44. 10. 1	S44. 11. 30	
8代	消防司令長	福井 正男	S44. 12. 1	S50. 9. 30	
9代	〃	工藤 富蔵	S50. 10. 1	S52. 3. 31	
10代	〃	桜庭 達三	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
11代	〃	工藤 富蔵	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
12代	〃	宮崎 孝司	S55. 10. 1	S59. 3. 31	
13代	〃	竹内 實	S59. 4. 1	S63. 3. 31	
14代	〃	西沢 勝三	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
15代	〃	木村 悟	H 2. 4. 1	H 5. 3. 31	
16代	〃	相馬 達三	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
17代	〃	田村 勝照	H 7. 4. 1	H11. 3. 31	
18代	消防監	佐藤 正蔵	H11. 4. 1	H14. 3. 31	
19代	消防司令長	猪股 進三	H14. 4. 1	H16. 3. 31	(H15. 4. 1 消防監)
20代	消防監	笹田 将良	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
21代	〃	斎藤 伸夫	H18. 4. 1	H20. 3. 31	
22代	〃	小田 桐伸一	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
23代	〃	秋元 裕	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
24代	〃	木村 誠二	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
25代	〃	佐藤 健治	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
26代	〃	下山 俊光	H24. 4. 1	H26. 3. 31	
27代	〃	種市 達男	H26. 4. 1	H27. 3. 31	
28代	〃	阿保 弘毅	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
29代	〃	三浦 良樹	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
30代	〃	長尾 幸喜	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
31代	〃	川村 勝明	H31. 4. 1	R3. 3. 31	
32代	〃	中村 康司	R 3. 4. 1	在職中	

## 方面本部長

### 弘前方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	福士文敏	H25. 7. 1	H26. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	工藤弥司広	H26. 4. 1	H27. 3. 31	弘前消防署長兼任

### 黒石方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防監	種市達男	H25. 7. 1	H26. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	内山進一郎	H26. 4. 1	H27. 3. 31	黒石消防署長兼任

### 平川方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	石田英造	H25. 7. 1	H26. 3. 31	消防次長兼任
2代	消防監	阿保弘毅	H26. 4. 1	H27. 3. 31	平川消防署長兼任

### 板柳方面本部長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	阿保久	H25. 7. 1	H27. 3. 31	板柳消防署長兼任 (H26. 4. 1 消防監)

## 旧黒石地区消防事務組合消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		角田壮一	S39. 1. 1	S46. 3. 31	黒石市助役兼任
2代	消防司令長	岩谷克己	S51. 4. 1	S55. 3. 31	
3代	〃	工藤龍明	H元 4. 1	H 4. 3. 31	
4代	〃	高樋浅光	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
5代	〃	工藤茂春	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
6代	〃	佐藤信男	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	警防課長兼任
7代	〃	坂本吉雄	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
8代	〃	富谷勝徳	H10. 4. 1	H11. 3. 31	署長兼任
9代	〃	高田正志	H11. 4. 1	H12. 3. 31	〃
10代	〃	豊巻正夫	H12. 4. 1	H13. 3. 31	心得・総務課長
11代	〃	中村寿	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
12代	〃	森勇一	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
13代	〃	八木橋兼司	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
14代	〃	佐藤友昭	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
15代	〃	種市達男	H23. 4. 1	H24. 3. 31	総務課長兼任
16代	〃	内山進一郎	H24. 4. 1	H25. 6. 30	予防課長兼任

## 旧平川市消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	中畑忠三	S44. 4. 1	S48. 3. 31	署長兼任
2代	〃	古川清孝	S48. 4. 1	S49. 3. 31	〃
3代	〃	工藤専次郎	S49. 4. 1	S51. 6. 30	〃
4代	消防司令	船水永一郎	S51. 7. 1	S54. 3. 31	〃
5代	消防司令長	水木二郎	S54. 4. 1	S55. 3. 31	〃
6代	〃	阿部貞吉	S55. 4. 1	S57. 3. 31	〃
7代	〃	大川隆三	S57. 4. 1	S59. 12. 31	〃
8代	〃	三浦孝利	S60. 1. 1	S61. 3. 31	〃

歴代	階級	氏名	就任年月	退任年月	摘要
9代	消防司令	長内 精四郎	S61. 4. 1	H 2. 2. 22	署長兼任
10代	〃	菊池 今朝男	H 2. 2. 23	H 3. 3. 31	
11代	〃	工藤 文夫	H 3. 4. 1	H 8. 3. 31	
12代	〃	工藤 栄造	H 8. 4. 1	H14. 3. 31	
13代	〃	山本 一雄	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
14代	〃	稲葉 良三	H16. 4. 1	H19. 3. 31	
15代	〃	齋藤 満郎	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
16代	〃	山口 眞一	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
17代	〃	山口 勇一	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
18代	〃	工藤 義昭	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
19代	〃	石田 英造	H24. 4. 1	H25. 6. 30	

### 旧板柳町消防本部消防次長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		工藤 信一	S42. 4. 1	S42. 8. 31	総務課長兼任
2代		成田 勝俊	S42. 9. 1	S46. 3. 31	署長兼任
3代		桜庭 敏男	S46. 4. 1	S52. 3. 31	〃
4代		内山 富雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	〃
5代		中村 忠次郎	S54. 4. 1	S60. 3. 31	〃
6代	消防司令長	阿保 小東	S60. 4. 1	H元. 8. 31	〃
7代	〃	竹内 秀次	H 5. 4. 1	H11. 3. 31	〃
8代	〃	佐藤 廣美	H11. 4. 1	H16. 3. 31	〃
9代	〃	中村 徹	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
10代	消防司令	田中 諭	H21. 4. 1	H22. 6. 30	署長兼任
11代	〃	阿保 久	H22. 7. 1	H24. 3. 31	
12代	〃	三橋 一徳	H24. 4. 1	H25. 3. 31	
13代	〃	村上 毅	H25. 4. 1	H25. 6. 30	署長兼任

## 弘前消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	小向 清之助	S24. 5. 31	S27. 3. 2	
2代	消防監補	桑田 善太郎	S32. 5. 1	S32.10.31	消防長兼任
3代	消防監	上田 勝夫	S32.11. 1	S37. 7. 8	〃
4代	〃	伴 一 衛	S37. 7. 9	S39. 8.17	〃
5代	〃	桑田 貞一	S39. 8.18	S42. 9.30	〃
6代	消防司令長	中村 忠治	S42.10. 1	S43. 9.30	
7代	〃	福井 正男	S43.10. 1	S44.11.30	
8代	〃	工藤 富蔵	S44.12. 1	S50. 9.30	
9代	〃	白取 嘉四雄	S50.10. 1	S52. 3.31	
10代	〃	工藤 富蔵	S52. 4. 1	S54. 3.31	
11代	〃	白取 嘉四雄	S54. 4. 1	S55. 9.30	
12代	〃	建部 清五郎	S55.10. 1	S63. 3.31	
13代	〃	工藤 嘉久	S63. 4. 1	H 2. 3.31	
14代	〃	鈴木 督朗	H 2. 4. 1	H 4. 3.31	
15代	〃	佐藤 正蔵	H 4. 4. 1	H10. 3.31	
16代	〃	斎藤 昭雄	H10. 4. 1	H14. 3.31	
17代	消防監	笹田 将良	H14. 4. 1	H16. 3.31	
18代	〃	斎藤 伸夫	H16. 4. 1	H18. 3.31	
19代	〃	工藤 治	H18. 4. 1	H20. 3.31	
20代	消防司令長	長谷川 芳範	H20. 4. 1	H21. 3.31	
21代	消防監	成田 裕太郎	H21. 4. 1	H22. 3.31	
22代	〃	佐藤 健治	H22. 4. 1	H23. 3.31	
23代	〃	久保 豊	H23. 4. 1	H24. 3.31	
24代	〃	福士 文敏	H24. 4. 1	H25. 6.30	
25代	〃	工藤 弥司広	H25. 7. 1	H27. 3.31	方面本部長兼任
26代	〃	一町田 誠	H27. 4. 1	H27.10.29	
27代	〃	阿保 弘毅	H27.10.30	H27.11.30	消防次長兼任
28代	〃	三浦 良樹	H27.12. 1	H29. 3.31	
29代	〃	長尾 幸喜	H29. 4. 1	H30. 3.31	消防次長兼任
30代	〃	工藤 耕三	H30. 4. 1	H31. 2.11	消防次長兼任
31代	〃	長尾 幸喜	H31. 2.12	H31. 3.31	消防次長兼任
32代	〃	一戸 治	H31. 4. 1	R3. 3.31	消防次長兼任

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
33代	消防監	三浦直人	R 3. 4. 1	在職中	消防次長兼任

### 東消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	白取 嘉四雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	
2代	〃	建部 清五郎	S54. 4. 1	S55. 9. 30	
3代	〃	土岐 春雄	S55. 10. 1	S58. 3. 31	
4代	〃	工藤 嘉久	S58. 4. 1	S63. 3. 31	
5代	〃	鈴木 督朗	S63. 4. 1	H 2. 3. 31	
6代	〃	赤石 光雄	H 2. 4. 1	H 3. 3. 31	
7代	〃	小山 亮	H 3. 4. 1	H 4. 3. 31	
8代	〃	山田 俊昭	H 4. 4. 1	H 8. 3. 31	
9代	〃	斎藤 昭雄	H 8. 4. 1	H10. 3. 31	
10代	〃	佐藤 正蔵	H10. 4. 1	H11. 3. 31	
11代	〃	小山内 国晴	H11. 4. 1	H12. 3. 31	
12代	〃	山本 正弘	H12. 4. 1	H13. 3. 31	
13代	〃	猪股 進三	H13. 4. 1	H14. 3. 31	
14代	〃	斎藤 伸夫	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
15代	〃	工藤 昇	H16. 4. 1	H20. 3. 31	(H18. 4. 1 消防監)
16代	〃	成田 裕太郎	H20. 4. 1	H21. 3. 31	
17代	〃	佐藤 健治	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
18代	〃	成田 康晴	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
19代	消防監	福士 文敏	H23. 4. 1	H24. 3. 31	
20代	消防司令長	三上 吾郎	H24. 4. 1	H25. 3. 31	
21代	消防監	工藤 弥司広	H25. 4. 1	H25. 6. 30	
22代	〃	阿保 弘毅	H25. 7. 1	H26. 3. 31	
23代	〃	一町田 誠	H26. 4. 1	H27. 3. 31	

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
24代	消防監	村山潤一	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
25代	〃	山本新次	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
26代	〃	川村勝明	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
27代	〃	中村康司	H31. 4. 1	R3. 3. 31	
28代	〃	石田純	R 3. 4. 1	在職中	

### 黒石消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令	岡崎良雄	S27. 4. 1	S33. 3. 31	消防長兼任
2代	〃	工藤薫三	S33. 4. 3	S38. 12. 31	
3代		角田壮一	S39. 1. 1	S39. 3. 19	助役兼任
4代	消防司令	田村源五郎	S39. 3. 20	S42. 9. 30	
5代		角田壮一	S42. 10. 1	S43. 3. 31	助役兼任
6代	消防司令長	簾屋正三	S43. 4. 1	S44. 11. 30	
7代	〃	盛重徳	S44. 12. 1	S49. 3. 31	
8代	消防監	角田壮一	S49. 4. 1	S54. 7. 31	消防長兼任
9代	〃	山口勇蔵	S54. 8. 1	S55. 3. 31	〃
10代	消防司令長	岩谷克己	S55. 4. 1	S62. 3. 31	
11代	〃	高樋浅光	S62. 4. 1	H 4. 3. 31	
12代	〃	工藤茂春	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	
13代	〃	佐藤信男	H 5. 4. 1	H 7. 3. 31	
14代	〃	坂本吉雄	H 7. 4. 1	H 8. 3. 31	
15代	〃	富谷勝徳	H 8. 4. 1	H11. 3. 31	消防次長兼任
16代	〃	高田正志	H11. 4. 1	H12. 3. 31	〃
17代	〃	中村寿	H12. 4. 1	H13. 3. 31	
18代	〃	福士良衛	H13. 4. 1	H16. 3. 31	
19代	〃	豊巻正夫	H16. 4. 1	H18. 3. 31	
20代	〃	佐藤昭秀	H18. 4. 1	H21. 3. 31	
21代	〃	今清治	H21. 4. 1	H22. 3. 31	
22代	〃	山本茂夫	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
23代	〃	相馬義春	H23. 4. 1	H25. 3. 31	
24代	〃	村山潤一	H25. 4. 1	H26. 3. 31	

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
25代	消防監	内山 進一郎	H26. 4. 1	H29. 3. 31	方面本部長兼任 (H27. 4. 1 方面本部長兼任解除)
26代	〃	工藤 耕三	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
27代	〃	中村 康司	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
28代	〃	毛内 和幸	H31. 4. 1	R 2. 3. 31	
29代	〃	岩谷 和仁	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
30代	〃	今 教生	R 3. 4. 1	在職中	

### 平川消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代	消防司令長	中畑 忠三	S44. 4. 1	S48. 3. 31	消防次長兼任
2代	〃	古川 清孝	S48. 4. 1	S49. 3. 31	〃
3代	〃	工藤 専次郎	S49. 4. 1	S51. 6. 30	〃
4代	消防司令	船水 永一郎	S51. 7. 1	S54. 3. 31	〃
5代	消防司令長	水木 二郎	S54. 4. 1	S55. 3. 31	〃
6代	〃	阿部 貞吉	S55. 4. 1	S57. 3. 31	〃
7代	〃	大川 隆三	S57. 4. 1	S59. 12. 31	〃
8代	〃	三浦 孝利	S60. 1. 1	S61. 3. 31	〃
9代	〃	長内 精四郎	S61. 4. 1	H 2. 2. 22	〃
10代	〃	相馬 伊佐男	H 2. 2. 23	H 3. 3. 31	
11代	〃	工藤 文夫	H 3. 4. 1	H 5. 3. 31	消防次長兼任
12代	〃	工藤 栄造	H 5. 4. 1	H 8. 3. 31	
13代	〃	一戸 武二	H 8. 4. 1	H12. 3. 31	
14代	〃	福士 順蔵	H12. 4. 1	H14. 3. 31	
15代	〃	稲葉 良三	H14. 4. 1	H16. 3. 31	
16代	〃	齋藤 満郎	H16. 4. 1	H19. 3. 31	
17代	〃	山口 眞一	H19. 4. 1	H20. 3. 31	
18代	〃	山口 勇一	H20. 4. 1	H22. 3. 31	
19代	消防司令	工藤 義昭	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
20代	〃	一戸 武彦	H23. 4. 1	H26. 3. 31	(H25. 7. 1 消防司令長)
21代	消防監	阿保 弘毅	H26. 4. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任



歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
22代	消防監	山本新次	H27. 4. 1	H29. 3. 31	
23代	〃	山口金彦	H29. 4. 1	H30. 3. 31	
24代	〃	一戸治	H30. 4. 1	H31. 3. 31	
25代	〃	神孝行	H31. 4. 1	R 2. 3. 31	
26代	〃	石田純	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
27代	〃	三浦牧也	R 3. 4. 1	在職中	

### 板柳消防署長

歴代	階級	氏名	就任年月日	退任年月日	摘要
初代		工藤信一	S42. 4. 1	S42. 8. 31	総務課長兼任
2代		成田勝俊	S42. 9. 1	S46. 3. 31	消防次長兼任
3代		桜庭敏男	S46. 4. 1	S52. 3. 31	〃
4代		内山富雄	S52. 4. 1	S54. 3. 31	〃
5代		中村忠次郎	S54. 4. 1	S60. 3. 31	〃
6代	消防司令長	阿保小東	S60. 4. 1	H 2. 3. 31	〃
7代	〃	松山秀雄	H 2. 4. 1	H 4. 3. 31	消防長心得兼任
8代	〃	会津武志	H 4. 4. 1	H 5. 3. 31	〃
9代	〃	竹内秀次	H 7. 4. 1	H11. 3. 31	消防次長兼任
10代	〃	佐藤廣美	H11. 4. 1	H16. 3. 31	〃
11代	〃	会津静男	H16. 4. 1	H21. 3. 31	
12代	〃	田中諭	H21. 4. 1	H22. 3. 31	消防次長兼任
13代	〃	三橋一徳	H22. 4. 1	H23. 3. 31	
14代	〃	諏訪孝栄	H23. 4. 1	H25. 3. 31	
15代	〃	村上毅	H25. 4. 1	H25. 6. 30	
16代	〃	阿保久	H25. 7. 1	H27. 3. 31	方面本部長兼任 (H26. 4. 1 消防監)
17代	〃	大川欽三	H27. 4. 1	H29. 3. 31	(H28. 4. 1 消防監)
18代	〃	佐藤雅幸	H29. 4. 1	H31. 3. 31	(H30. 4. 1 消防監)
19代	消防監	下山進	H31. 4. 1	R 2. 3. 31	
20代	〃	三浦直人	R 2. 4. 1	R 3. 3. 31	
21代	消防司令長	櫻庭信人	R 3. 4. 1	在職中	

## 旧弘前地区消防事務組合の沿革

年 月	状 況
昭和 24 年 4 月	弘前市大字元寺町に弘前市消防本部及び消防署開設 職員 34 名
昭和 26 年 8 月	弘前市大字本町へ消防庁舎落成、元寺町から消防本部、消防署移転する。
昭和 27 年 3 月	消防署を廃止し、消防本部の一本化を図る。
昭和 30 年 2 月	消防職員定数改正により職員 68 名となる。
昭和 32 年 5 月	弘前市消防署再設、弘前市大字松森町に松森町分署開設する。
昭和 33 年 4 月	消防職員定数改正により職員 79 名となる。
昭和 38 年 9 月	消防職員定数改正により職員 81 名となる。
昭和 39 年 8 月	救急車を購入し、弘前市消防署で救急業務を開始する。
昭和 40 年 1 月	弘前市消防本部及び消防署庁舎落成、電話交換機、一斉指令装置を設置する。
昭和 42 年 10 月	消防長兼署長制から専任署長制となる。
昭和 43 年 12 月	弘前市大字豊田字豊原に枅形分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 44 年 12 月	弘前市大字鳥町字鳥町に藤代分署庁舎落成、消防業務を開始する。
昭和 45 年 10 月	枅形分署に 20m 級スノーケル車配備
昭和 46 年 4 月	一市二町二村（弘前市、大鰐町、藤崎町、常盤村、碓ヶ関村）により弘前地区消防事務組合発足する。
	弘前市消防職員 106 名、車両等弘前市から弘前地区消防事務組合へ移管
7 月	松森町分署に救急車配備、救急業務を開始する。
8 月	松森町分署に化学消防ポンプ自動車配備
10 月	広域消防業務を開始する。
	大鰐町大字大鰐字前田に南分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 10 名
	藤崎町大字水沼字浅田に北分署庁舎落成、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 12 名
	南分署碓ヶ関出張所（碓ヶ関村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 7 名
昭和 47 年 2 月	南分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	職員定数改正により職員 149 名となる。
7 月	南分署、北分署に普通消防ポンプ自動車各 1 台配備
昭和 48 年 2 月	北分署に救急車配備、救急業務を開始する。
4 月	中津軽郡一町二村（岩木町、相馬村、西目屋村）組合に加入
	職員定数改正により職員 169 名となる。
6 月	西分署（岩木町消防屯所借用）開設、消防、救急業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車、救急車配備、職員 12 名
	西分署目屋出張所（西目屋村消防屯所借用）開設、消防業務を開始する。
	・水槽付消防ポンプ自動車配備 職員 5 名

昭和 49 年	3 月	岩木町大字鳥井野字宮本に西分署庁舎落成移転する。
	7 月	弘前消防署に 35m 級はしご付消防ポンプ自動車配備
昭和 50 年	4 月	職員定数改正により職員 178 名となる。
	7 月	弘前地区消防事務組合に防災宣伝車配備（防災協会より寄贈）
昭和 51 年	8 月	南分署碓ヶ関出張所に救急車配備、救急業務を開始する。
昭和 52 年	1 月	弘前市大字外崎字豊田に東消防署庁舎落成
	4 月	職員定数改正により職員 182 名となる。 東消防署、消防、救急業務を開始する。 ・普通消防ポンプ自動車、水槽付消防ポンプ自動車、スノーケル車、救急車配備 職員 23 名 東消防署開設により 2 署 6 分署 2 出張所となる。
昭和 53 年	4 月	救助用訓練塔落成（東消防署構内）
	7 月	第 7 回全国消防救助技術大会県予選会開催（於東消防署）
	8 月	昭和 52 年 8 月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、消防庁長官より表彰状授与される。
	9 月	昭和 52 年 8 月の県下集中豪雨災害に際し、被害者の救援及び水防活動の功績により、内閣総理大臣より表彰状及び楯授与される。
	10 月	職員定数改正により職員 194 名となる。
昭和 54 年	4 月	職員定数改正により職員 200 名となる。
	8 月	弘前市からマイクロバス移管
	10 月	東北自動車道、青森 I C ～大鰐弘前 I C 供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 55 年	9 月	弘前消防署西分署目屋出張所を弘前消防署目屋分署に、東消防署南分署碓ヶ関出張所を東消防署碓ヶ関分署に改称 碓ヶ関村大字碓ヶ関字鯨森に碓ヶ関分署庁舎落成移転（碓ヶ関村消防屯所と合同使用）
	10 月	職員定数改正により職員 201 名となる。 東北自動車道、大鰐弘前 I C ～碓ヶ関 I C 供用開始に伴い、消防、救急業務を開始する。
昭和 57 年	1 月	東消防署松森町分署廃止 弘前市大字小友字神原に西北分署庁舎落成、消防、救急業務を開始する。 ・水槽付消防ポンプ自動車、救急車、広報連絡車配備 職員 10 名 目屋分署、碓ヶ関分署に広報連絡車配備
昭和 58 年	8 月	目屋分署救急業務を開始する。
昭和 61 年	3 月	大鰐町大字蔵館字金坂に南分署庁舎落成移転
	7 月	東北自動車道全線開通に伴い、十和田 I C まで所管となる。
	12 月	東消防署に 30m 級はしご付消防自動車配備（4WS） 救急医療情報システム運用開始する。
昭和 62 年	4 月	消防本部の組織規則改正により警防課通信指令室発足 室長ほか 10 名

	11月	東消防署に救助工作車配備
昭和63年	4月	通信指令室に通信第1係、通信第2係を設ける。
	12月	藤代分署庁舎新築
平成元年	4月	職員定数改正により職員207名となる。
平成2年	10月	東北自動車道小坂IC開通に伴い、小坂ICまで所管となる。
平成3年	2月	枅形分署庁舎新築（2月業務開始）
	4月	職員定数改正により職員214名となる。
	11月	枅形分署に救急車を配備、救急業務を開始する。
平成4年	4月	職員定数改正により職員226名となる。
平成5年	3月	弘前消防署に高規格救急自動車配備
平成6年	3月	弘前消防署に40m級はしご付消防自動車配備
	4月	職員定数改正により職員247名となる。
平成7年	3月	枅形分署に小型動力ポンプ付水槽車配備
平成8年	3月	東消防署に高規格救急自動車配備
	4月	職員定数改正により職員256名となる。
平成9年	4月	藤代分署に救急車を配備、救急業務を開始する。 職員定数改正により職員268名となる。
		弘前消防署及び東消防署に救急第1係、救急第2係を新設
平成10年	4月	消防本部の組織規則改正により消防本部総務課「庶務係」を「総務係」に改める。 消防署組織規程改正により分署の「消防係」を「消防第1係、消防第2係」に改める。
		北分署に高規格救急自動車配備
平成11年	1月	目屋分署庁舎新築（4月業務開始）
	3月	消防本部・弘前消防署仮設消防庁舎での業務開始
	5月	東消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成12年	3月	職員定数改正により職員270名となる。
	4月	女性消防吏員採用
		西分署に高規格救急自動車配備
平成13年	2月	消防本部、弘前消防署新消防庁舎での業務開始
	4月	消防本部の組織規則改正により「通信指令室」を「通信指令課」に改める。
	4月	南分署に高規格救急自動車配備
	12月	弘前消防署に救助工作車Ⅱ型配備
平成14年	2月	碓ヶ関分署に高規格救急自動車配備
	12月	枅形分署に高規格救急自動車配備
平成15年	1月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に係長兼務の主幹を設ける。
	4月	消防本部組織規則改正により消防本部警防課に救急救助係を新設
平成16年	4月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急係を救急救助係に改め、主幹兼警防係長の兼務を解除し新たに、警防係、予防係、救急救助係に専任主幹を配置

平成 17 年	1 月	東消防署にはしご付消防自動車（30m級）を更新配備
	3 月	藤代分署に高規格救急自動車配備
	3 月	市町村合併に伴い、3 月 27 日をもって藤崎町及び常盤村が脱退しその区域をもって、3 月 28 日から藤崎町が加入し、構成市町村が 1 市 3 町 3 村となる。
	4 月	消防本部組織規則改正により消防本部各課に課長補佐を設ける。
平成 18 年	1 月	市町村合併に伴い、平成 17 年 12 月 31 日をもって碓ヶ関村が脱退し、平成 18 年 1 月 1 日から平川市（旧碓ヶ関村の区域に限る）が加入し、構成市町村が 2 市 3 町 2 村となる。
	2 月	市町村合併に伴い、2 月 26 日をもって弘前市、岩木町及び相馬村が脱退し、その区域をもって、2 月 27 日から弘前市が加入し、構成市町村が 2 市 2 町 1 村となる。
平成 19 年	3 月	西北分署に高規格救急自動車配備
	4 月	消防署組織規程改正により弘前消防署及び東消防署の救急救助係を救急係に、警防係を警防救助係に改め、新たに総務係を新設し専任主幹を配置 藤代分署、西分署、柘形分署、南分署及び北分署の消防係を警防係に改め、新たに予防救急係を新設し、各分署に消防主幹を設ける。
平成 20 年	3 月	目屋分署に高規格救急自動車配備
	7 月	弘前地区消防事務組合に防火指導車配備（防災協会より寄贈）
平成 22 年	4 月	消防本部組織規則改正により「警防課 警防係」を「警防課 警防救助係」に、「警防課 救急救助係」を「警防課 救急係」に改める。
	12 月	弘前消防署に指揮隊車配備
平成 23 年	4 月	消防署組織規程改正により、分署の「主幹」を「副分署長」に改める。
	11 月	西分署新消防庁舎での業務開始（平成 24 年 4 月 1 日全面供用開始）
平成 24 年	9 月	弘前消防署に高規格救急車を更新配備（J A 共済より寄贈） 西分署に資機材搬送車配備（国有財産等無償使用）
平成 25 年	3 月	西北分署に燃料補給車配備（国有財産等無償使用）

# 旧黒石地区消防事務組合の沿革

(旧黒石地区消防事務組合平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 27 年 4 月	黒石町消防本部・署開設、職員 7 名
昭和 29 年 7 月	町村合併により黒石市消防本部・署となる。
昭和 37 年 8 月	温湯分署開設、職員 7 名
昭和 44 年 7 月	黒石市消防庁舎新築（鉄筋コンクリート造 2 階建）
昭和 46 年 4 月	黒石市と田舎館村により黒石地区消防事務組合発足 消防本部 1、消防署 1、分署 1、職員 38 名（条例定数 57 名）
10 月	田舎館分署開設
昭和 49 年 4 月	消防職員定数改正により職員 67 名となる。
昭和 52 年 4 月	消防職員定数改正により職員 77 名となる。
昭和 55 年 4 月	田舎館分署を田舎館消防署に昇格、1 本部、2 消防署、1 分署となる。 消防職員定数改正により職員 90 名となる。
昭和 55 年 12 月	温湯分署移転新築工事竣工、温湯分署を山形分署に名称変更 （鉄骨造平屋建 291.0 m <sup>2</sup> ）
昭和 57 年 1 月	田舎館消防署車庫増築（鉄骨造平屋建 25.92 m <sup>2</sup> ）
昭和 58 年 7 月	消防本部課制を施行する。
平成 6 年 10 月	消防職員定数改正により職員 95 名となる。
平成 7 年 10 月	黒石地区消防事務組合消防庁舎竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建 2,958.83 m <sup>2</sup> ）
11 月	田舎館消防署竣工（鉄骨造平屋建 417.81 m <sup>2</sup> ）
平成 9 年 4 月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈）
平成 12 年 1 月	田舎館消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）配備
4 月	消防本部に通信指令課を置く。
7 月	山形分署に広報車配備
12 月	山形分署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）配備
平成 14 年 1 月	黒石消防署に化学消防ポンプ自動車（化－Ⅱ型）配備
平成 16 年 3 月	田舎館消防署に高規格救急車配備
4 月	黒石消防署に高規格救急車配備（日本損害保険協会から寄贈）
7 月	田舎館消防署に広報車配備 黒石消防本部に査察車配備
平成 19 年 1 月	山形分署に救急車（2 B 型）配備
4 月	消防職員定数改正により職員 100 名となる。
平成 24 年 3 月	黒石消防署に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（Ⅰ－B 型）配備 （C A F S : 圧縮空気泡装置搭載）
10 月	消防本部に連絡車配備
12 月	黒石消防署に救助工作車（Ⅱ型）配備

# 旧平川市消防本部の沿革

(旧平川市消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 44 年 4 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防本部及び平賀消防署開設 職員 36 名（条例定数 38 名）
10 月	尾上分署開設
昭和 45 年 4 月	消防職員定数改正により職員 41 名となる。
昭和 47 年 4 月	消防職員定数改正により職員 44 名となる。
平成 2 年 2 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防庁舎竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建） 消防本部課制を施行する。 平賀消防署と尾上分署を廃止、名称を平賀尾上消防署とする。
平成 4 年 4 月	消防職員定数改正により職員 46 名となる。
平成 5 年 4 月	消防職員定数改正により職員 48 名となる。
平成 6 年 4 月	消防職員定数改正により職員 50 名となる。
平成 7 年 2 月	水槽付消防ポンプ自動車を配備
4 月	消防職員定数改正により職員 54 名となる。
12 月	救助工作車を配備
平成 8 年 4 月	消防職員定数改正により職員 58 名となる。 勤務制度を 2 部制から 3 部制とする。 高規格救急車を配備
平成 9 年 4 月	消防職員定数改正により職員 62 名となる。 消防本部 2 課（総務課、予防課）から 3 課（総務課、予防課、警防課）とする。
10 月	平賀・尾上地区消防事務組合消防署庁舎増築
平成 10 年 3 月	救急車（2 B 型）配備（J A 共済より寄贈）
4 月	消防職員定数改正により職員 65 名となる。
7 月	「平賀・尾上地区消防等事務組合」に名称を改める。
平成 11 年 4 月	消防職員定数改正により職員 68 名となる。 消防署通信係を消防本部通信指令室とする。
平成 13 年 4 月	消防本部通信指令室を消防署通信指令室とする。
9 月	化学消防ポンプ自動車を配備
平成 17 年 6 月	指揮車を配備
平成 18 年 1 月	平川市消防本部・平川市消防署発足 広報 2 号車を配備
平成 19 年 1 月	消防ポンプ自動車を配備
平成 20 年 12 月	高規格救急車を配備（日本損害保険協会より寄贈）
平成 22 年 10 月	広報 1 号車を配備

# 旧板柳町消防本部の沿革

(旧板柳町消防本部平成 24 年版消防年報から主な状況を抜粋)

年 月	状 況
昭和 42 年 4 月	板柳町消防本部及び板柳町消防署開設 職員 16 名
昭和 50 年 12 月	板柳町消防庁舎竣工（鉄骨造 2 階建） 職員 30 名
昭和 52 年 4 月	板柳少年消防クラブ結成
昭和 54 年 11 月	板柳町少年婦人防火委員会発足（後に板柳町幼少年婦人防火委員会に変更） 板柳婦人防火クラブ結成
昭和 60 年 1 月	幼年消防クラブ結成
平成元年 5 月	資機材搬送車配備
平成 2 年 5 月	司令車配備
平成 4 年 8 月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）配備（損害保険協会より寄贈）
平成 9 年 2 月	救急車（2 B 型）配備
平成 15 年 12 月	高規格救急車配備
平成 21 年 9 月	消防ポンプ自動車配備（CD-I 型、CAFS：圧縮空気泡装置搭載） 消防職員定数 38 名



# 消 防 年 報

～令和2年版～

編 集：弘前地区消防事務組合消防本部 警防課

所在地：〒036-8203 青森県弘前市大字本町2番地1

TEL：0172-32-5103

FAX：0172-33-9117